

第 V 部 要介護高齢者

第1章 要介護高齢者(本人) 調査結果

1. あて名のご本人について

「1. あて名のご本人について」は、回答者の属性を把握するための項目となっています。

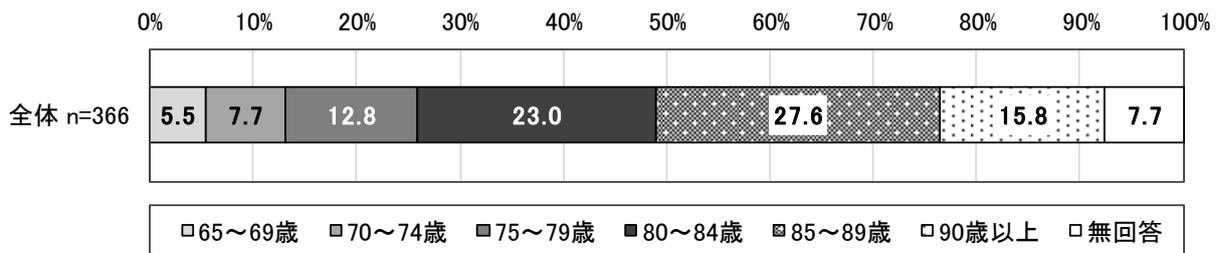
問1. 以下はあて名のご本人についてお答えください。(令和2年1月1日現在)

年齢については、「85～89歳」が27.6%で最も高く、次いで「80～84歳」が23.0%、「90歳以上」が15.8%となっています。

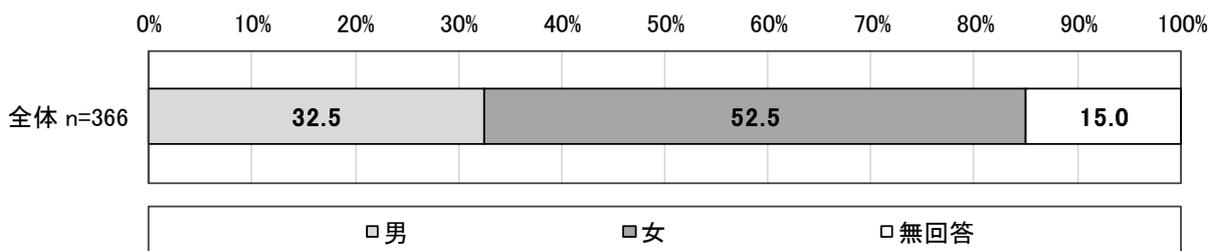
性別については、「男」が32.5%、「女」が52.5%となっています。

介護度については、「要介護1」が33.3%、「要介護2」が22.4%、「要介護3」が15.0%となっています。

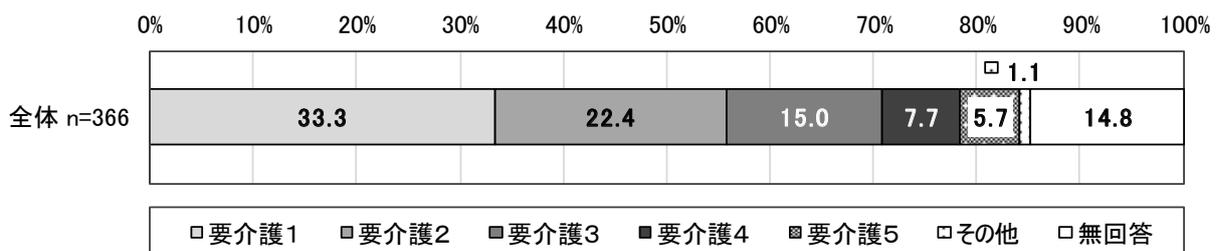
【年齢】



【性別】

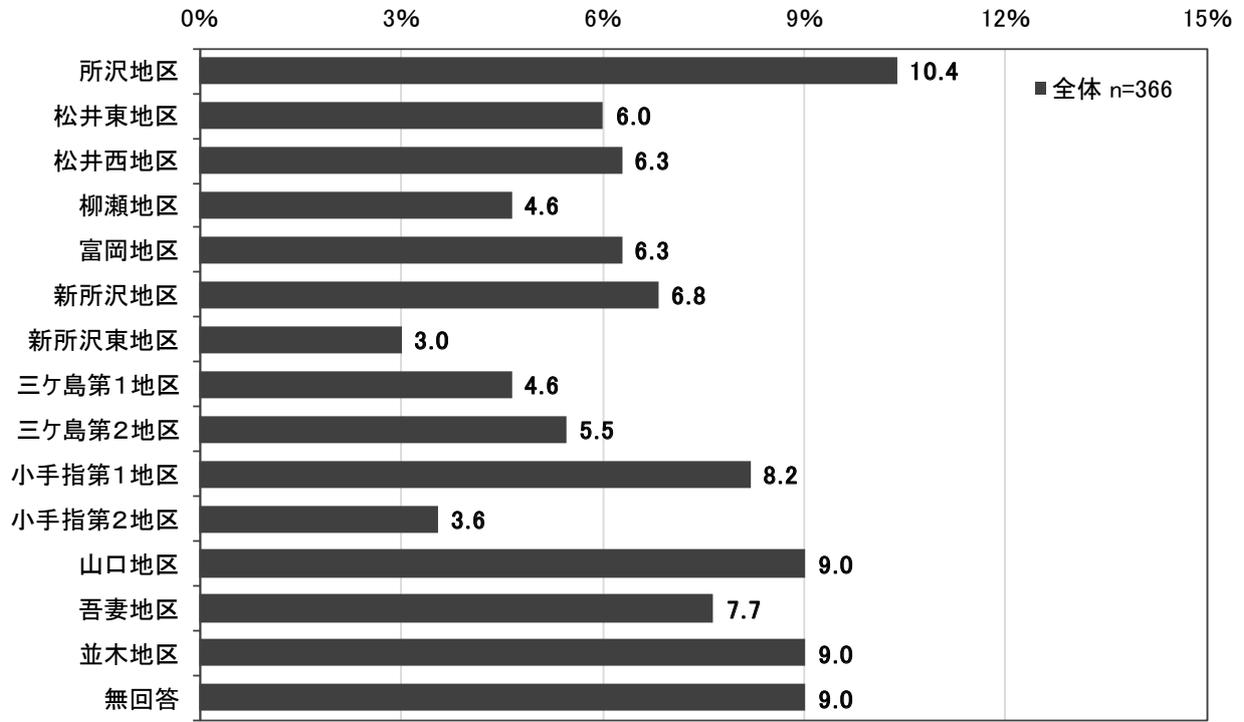


【介護度】

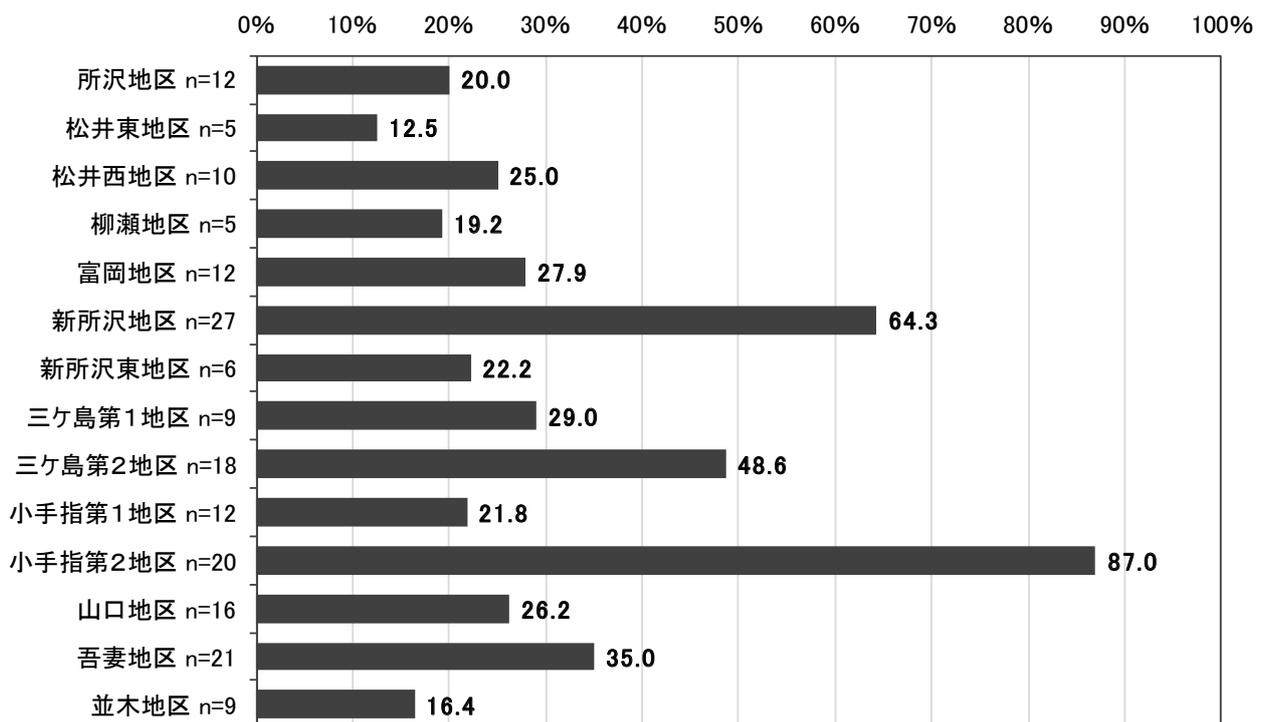


問2. お住まいの地区についてお答えください。

居住地区については、「所沢地区」が10.4%で最も高く、次いで「山口地区」「並木地区」がともに9.0%、「小手指第1地区」が8.2%となっています。



居住地区別の発送数から回答率をみると、「小手指第2地区」が87.0%で最も高く、次いで「新所沢地区」が64.3%、「三ヶ島第2地区」が48.6%となっています。

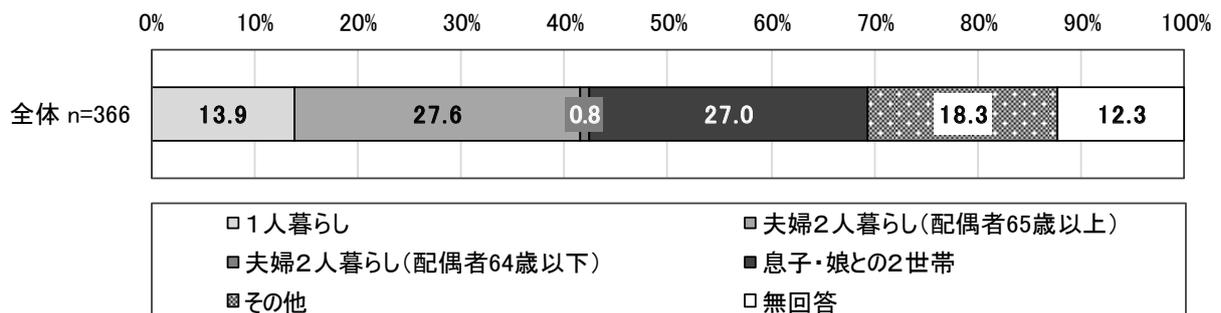


2. あなたのご家族や生活状況について

「2. あなたのご家族や生活状況について」は、家族構成や居住状況、普段の生活において介護・介助が必要な状況、暮らしの経済状況、紙おむつの利用状況を把握するための項目となっています。

問3. 家族構成を教えてください。(回答は1つ) ★

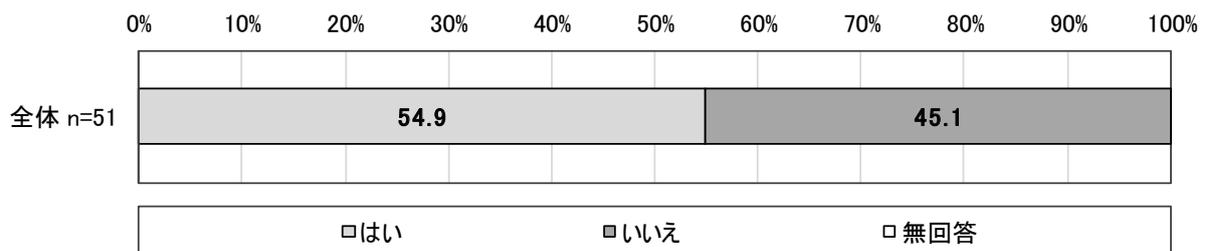
家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が27.6%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が27.0%、「その他」が18.3%となっています。



問3-1. 【問3で「1人暮らし」と回答した方におたずねします。】

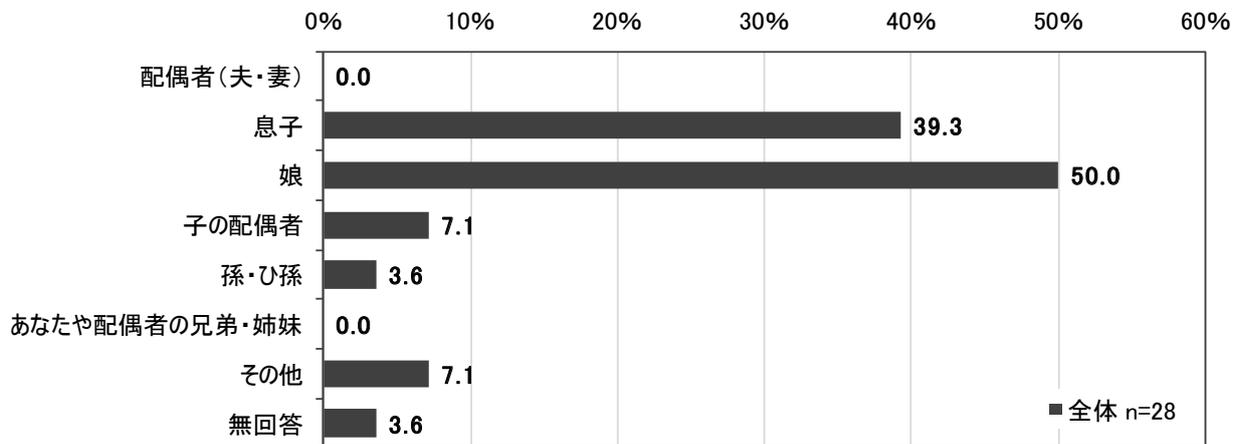
市内又はお住まいの近く(30分以内程度)に、ご家族はいますか。(回答は1つ)

市内又は住まいの近くに家族がいるかについては、「はい」が54.9%、「いいえ」が45.1%で、「はい」が9.8ポイント上回っています。



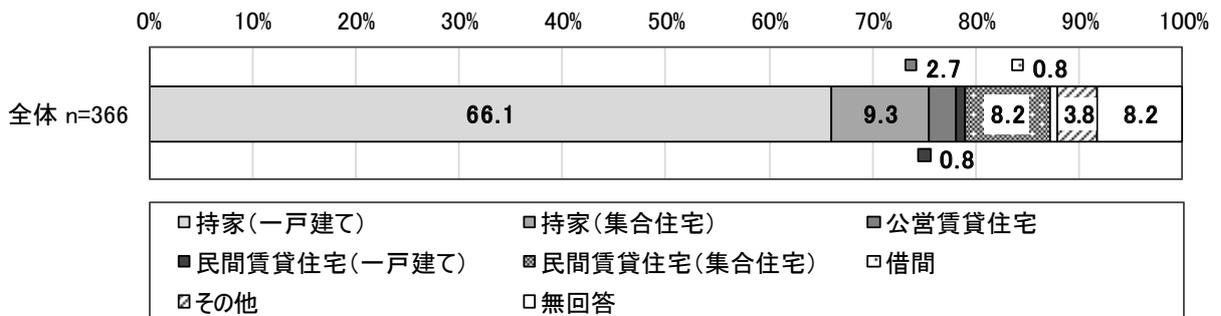
**問3-2. 【問3-1で「はい」と回答した方におたずねします。】
それはどなたですか。（あてはまるものすべてに回答）**

市内又は住まいの近くにいる家族については、「娘」が50.0%で最も高く、次いで「息子」が39.3%、「子の配偶者」「その他」がともに7.1%となっています。



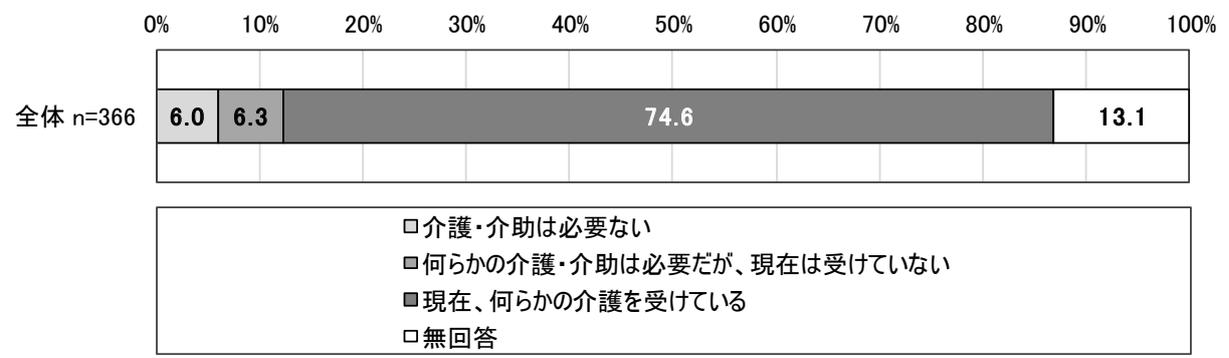
問4. お住まいは一人建て、または集合住宅のどちらですか。（回答は1つ） ★

住まいの種類については、「持家（一人建て）」が66.1%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が9.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.2%となっています。



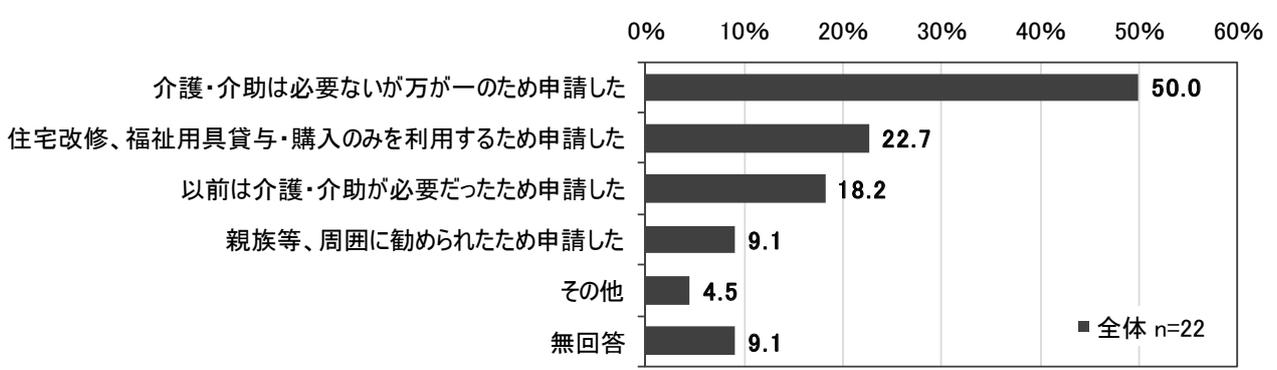
問5. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(回答は1つ) ★

普段の生活での介護・介助の必要性については、「現在、何らかの介護を受けている」が74.6%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「介護・介助は必要ない」が6.0%となっています。



**問5-1. 【問5で「介護・介助は必要ない」と回答した方におたずねします。】
要介護認定の申請をした理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)**

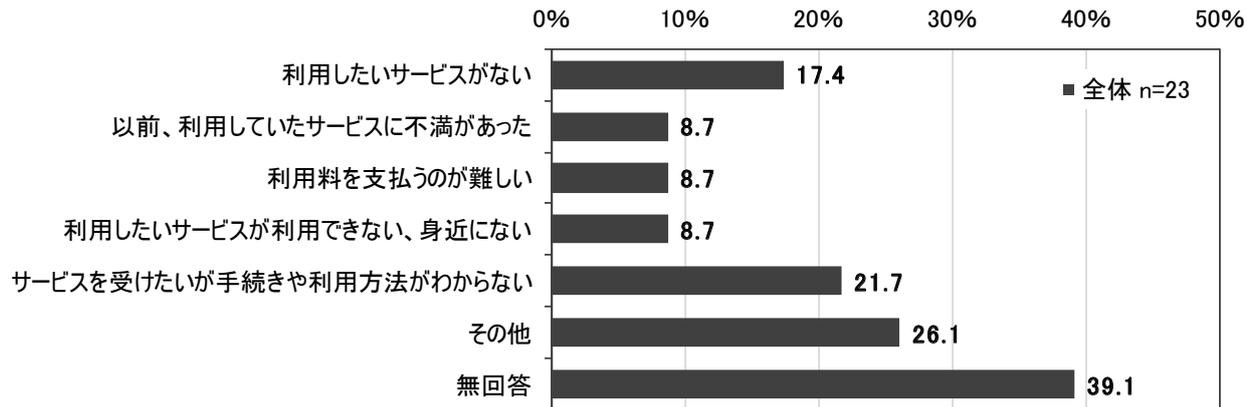
要介護認定の申請をした理由については、「介護・介助は必要ないが万が一のため申請した」が50.0%で最も高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため申請した」が22.7%、「以前は介護・介助が必要だったため申請した」が18.2%となっています。



問5-2.【問5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した方におたずねします。】

介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答） ★

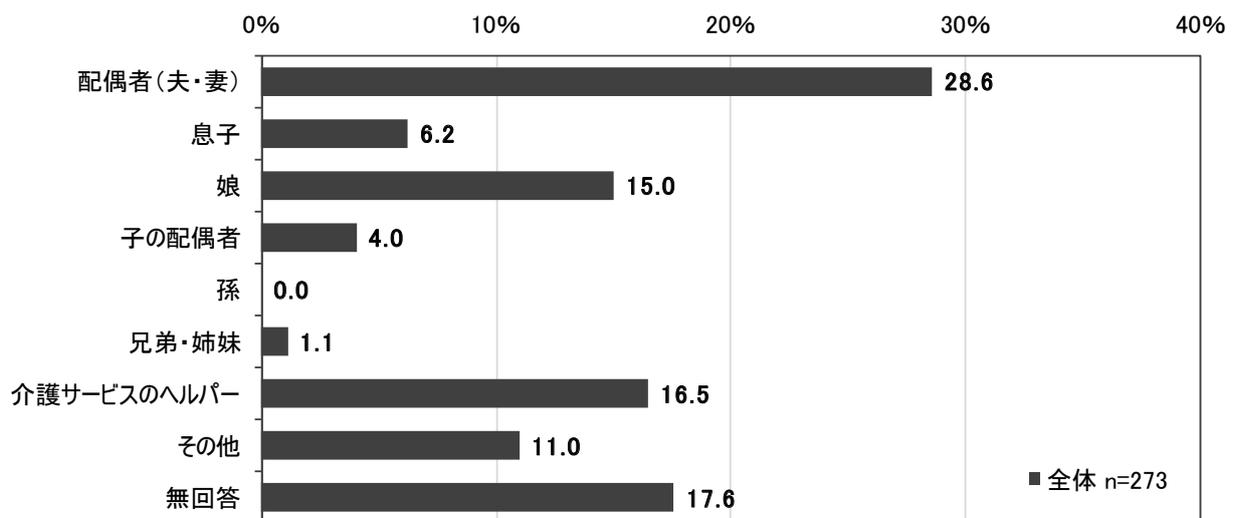
介護保険サービスを利用していない理由については、「その他」が26.1%で最も高く、次いで「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」が21.7%、「利用したいサービスがない」が17.4%となっています。



問5-3.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

主にどなたの介護を受けていますか。（回答は1つ） ★

主にどなたの介護を受けているかについては、「配偶者（夫・妻）」が28.6%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が16.5%、「娘」が15.0%となっています。

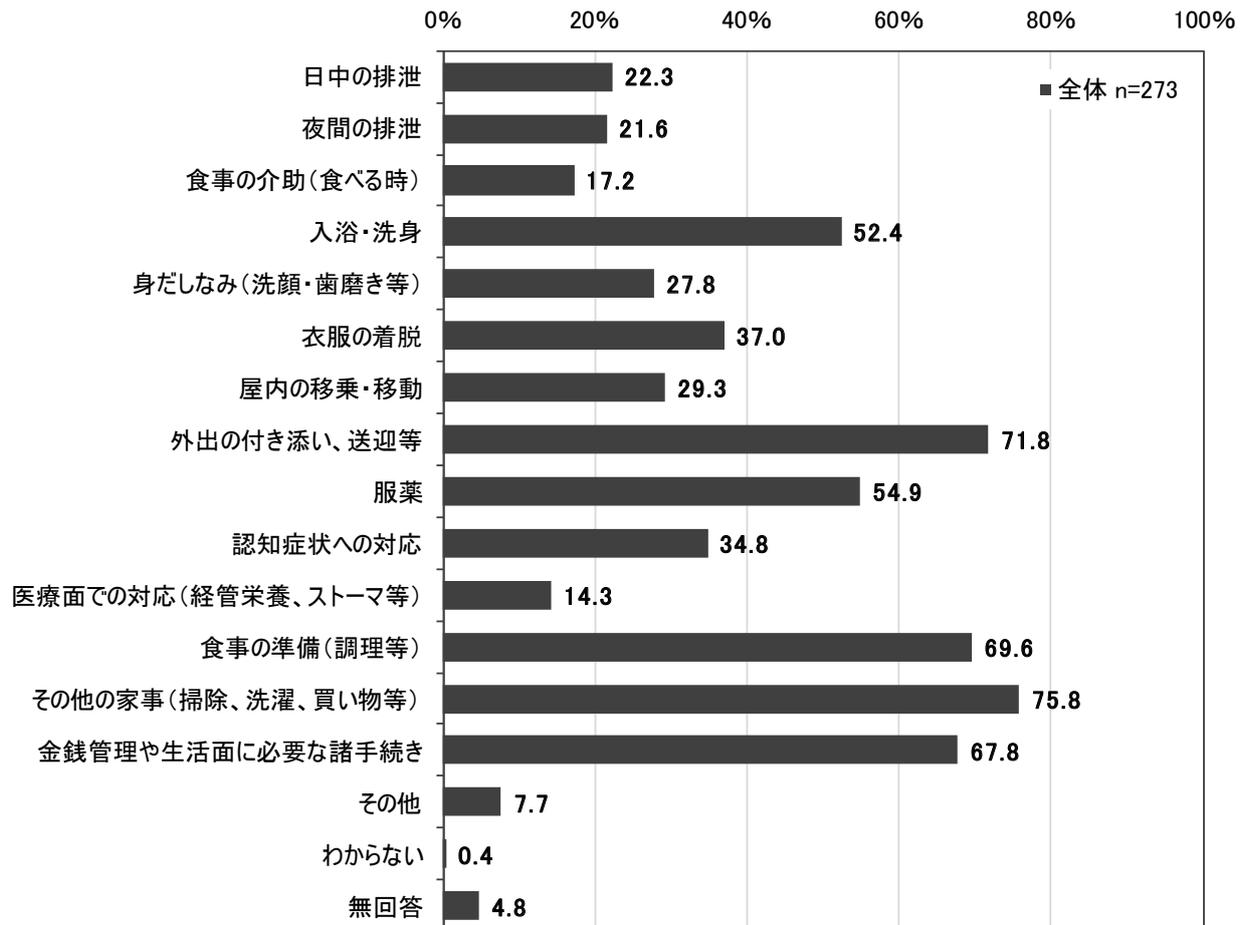


問5-4.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

主な介護者の方が行っている介護等について、お答えください。

(あてはまるものすべてに回答) ★

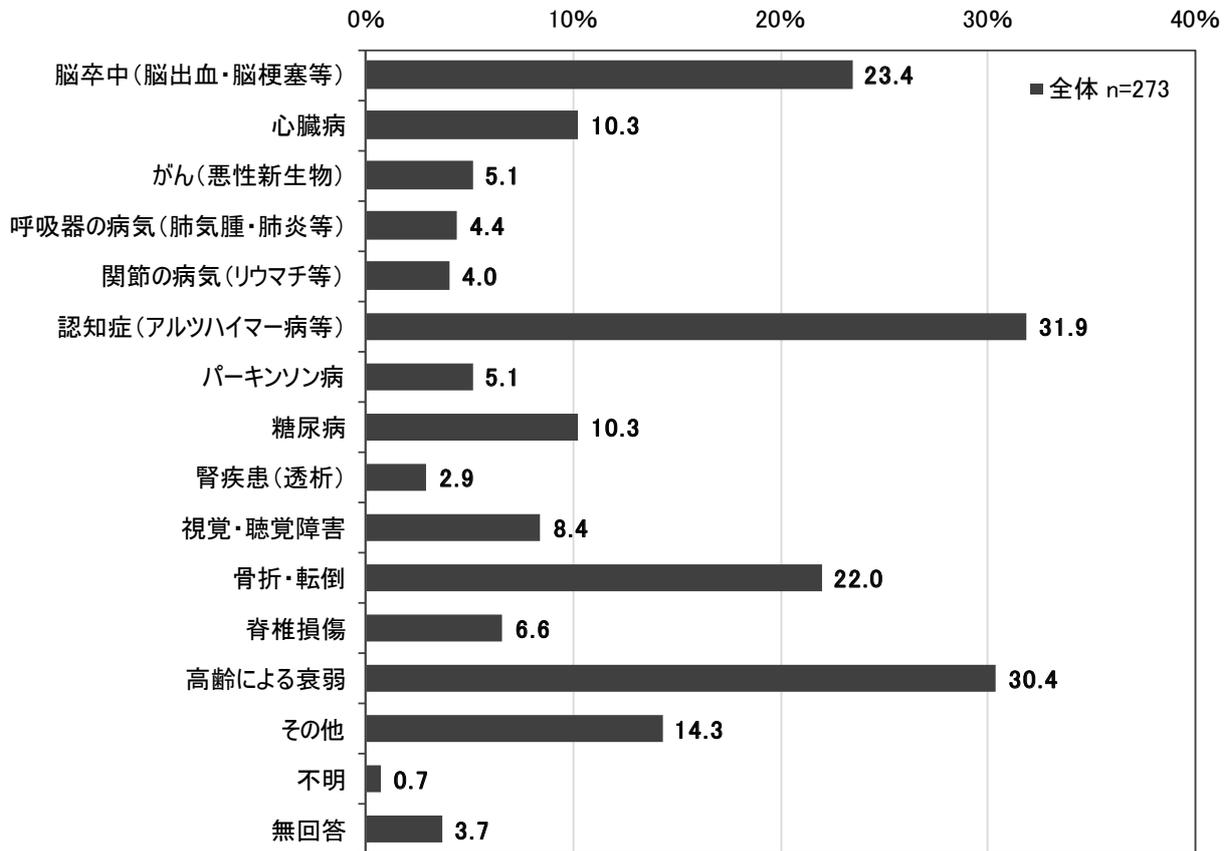
主な介護者の方が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が75.8%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が71.8%、「食事の準備（調理等）」が69.6%となっています。



問5-5.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

介護・介助が必要になった主な原因については、「認知症（アルツハイマー病等）」が31.9%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が30.4%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が23.4%となっています。

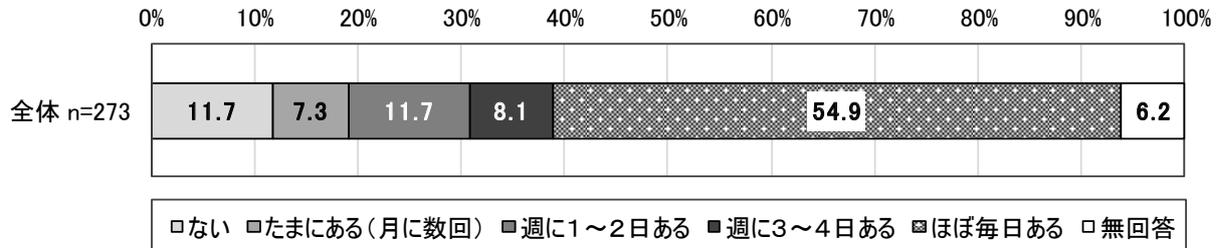


問5-6.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

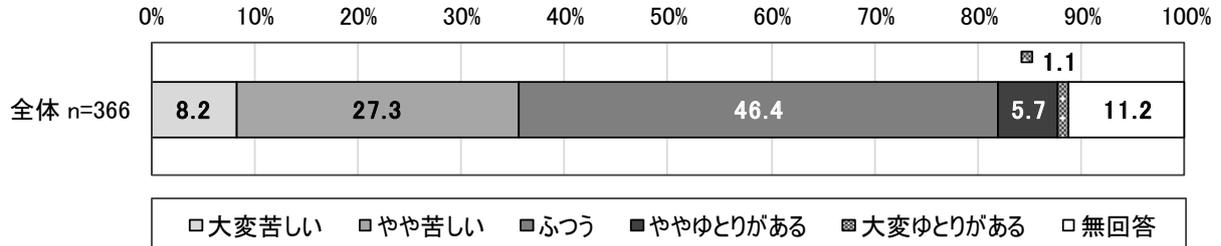
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (回答は1つ) ★

家族や親族の方からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が54.9%で最も高く、次いで「ない」「週に1～2日ある」がともに11.7%、「週に3～4日ある」が8.1%となっています。



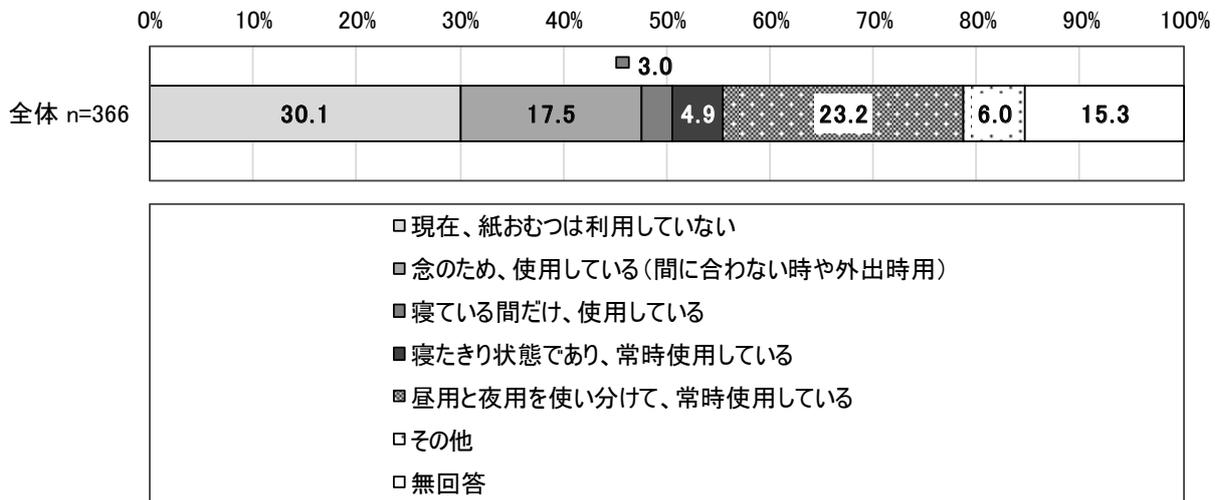
問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ) ★

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」が46.4%で最も高く、次いで「やや苦しい」が27.3%、「大変苦しい」が8.2%、「ややゆとりがある」が5.7%となっています。



問7. 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)

大人用紙おむつの利用状況については、「現在、紙おむつは利用していない」が30.1%で最も高く、次いで「昼用と夜用を使い分けて、常時使用している」が23.2%、「念のため、使用している(間に合わない時や外出時用)」が17.5%となっています。

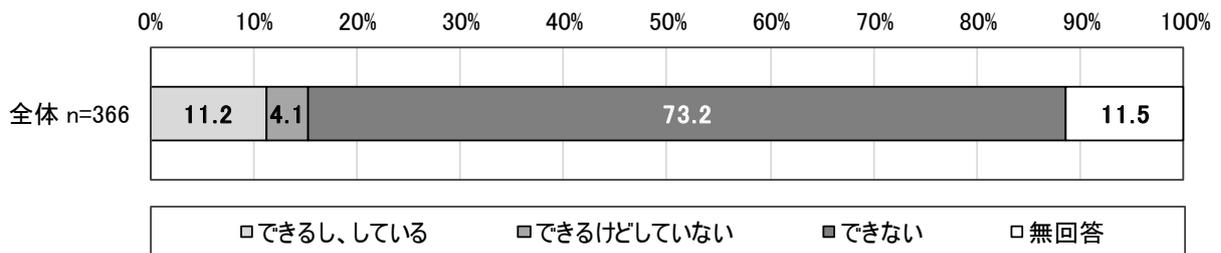


3. からだを動かすことについて

「3. からだを動かすことについて」は、日常生活動作の状況から運動機能の評価を行うための設問が設けられています。また、外出状況、外出時の移動手段を把握するための項目となっています。

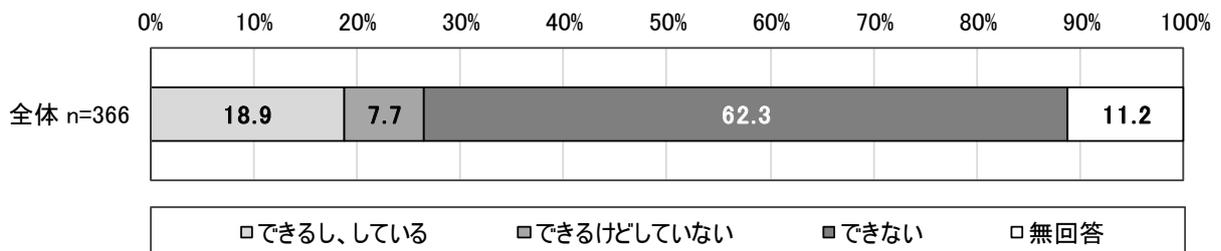
問8. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(回答は1つ) ★

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できない」が73.2%で最も高く、次いで「できるし、している」が11.2%、「できるけどしていない」が4.1%となっています。



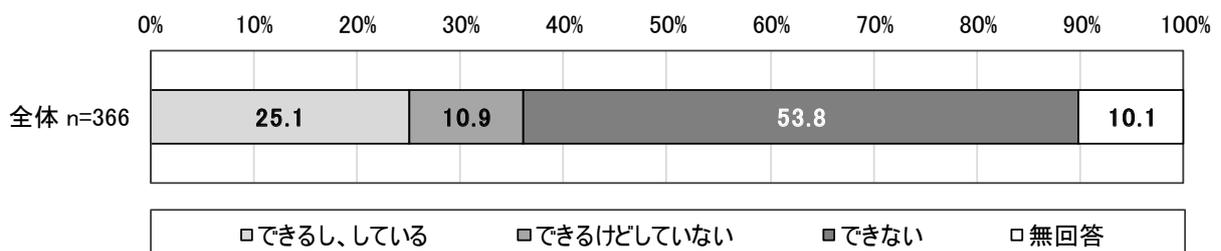
問9. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ) ★

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できない」が62.3%で最も高く、次いで「できるし、している」が18.9%、「できるけどしていない」が7.7%となっています。



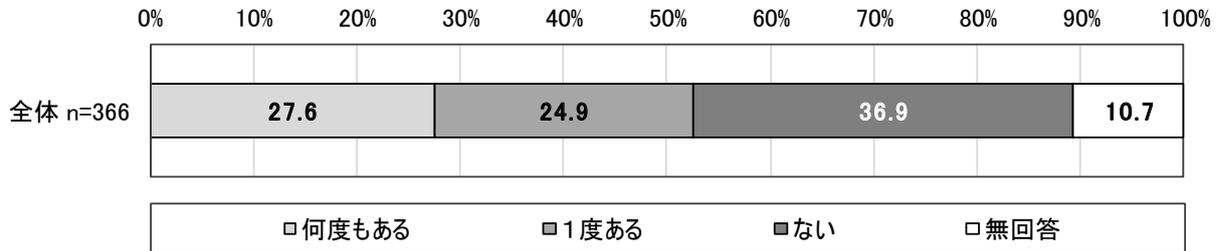
問10. 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ) ★

15分位続けて歩いているかについては、「できない」が53.8%で最も高く、次いで「できるし、している」が25.1%、「できるけどしていない」が10.9%となっています。



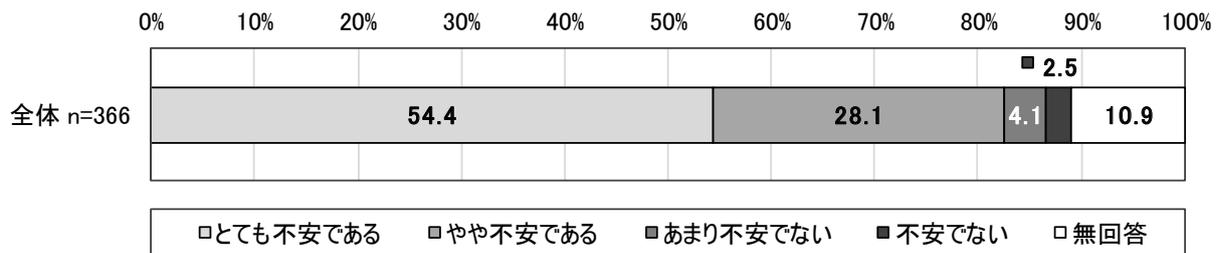
問 11. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ) ★

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が36.9%で最も高く、次いで「何度もある」が27.6%、「1度ある」が24.9%となっています。



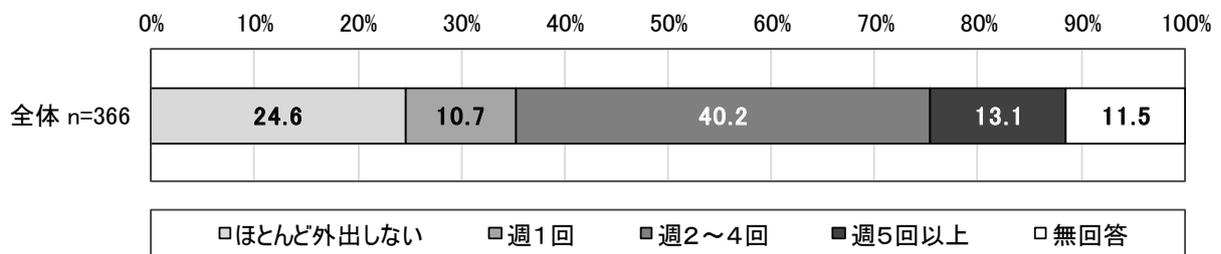
問 12. 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ) ★

転倒に対する不安は大きいかについては、「とても不安である」が54.4%で最も高く、次いで「やや不安である」が28.1%、「あまり不安でない」が4.1%、「不安でない」が2.5%となっています。



問 13. 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ) ★

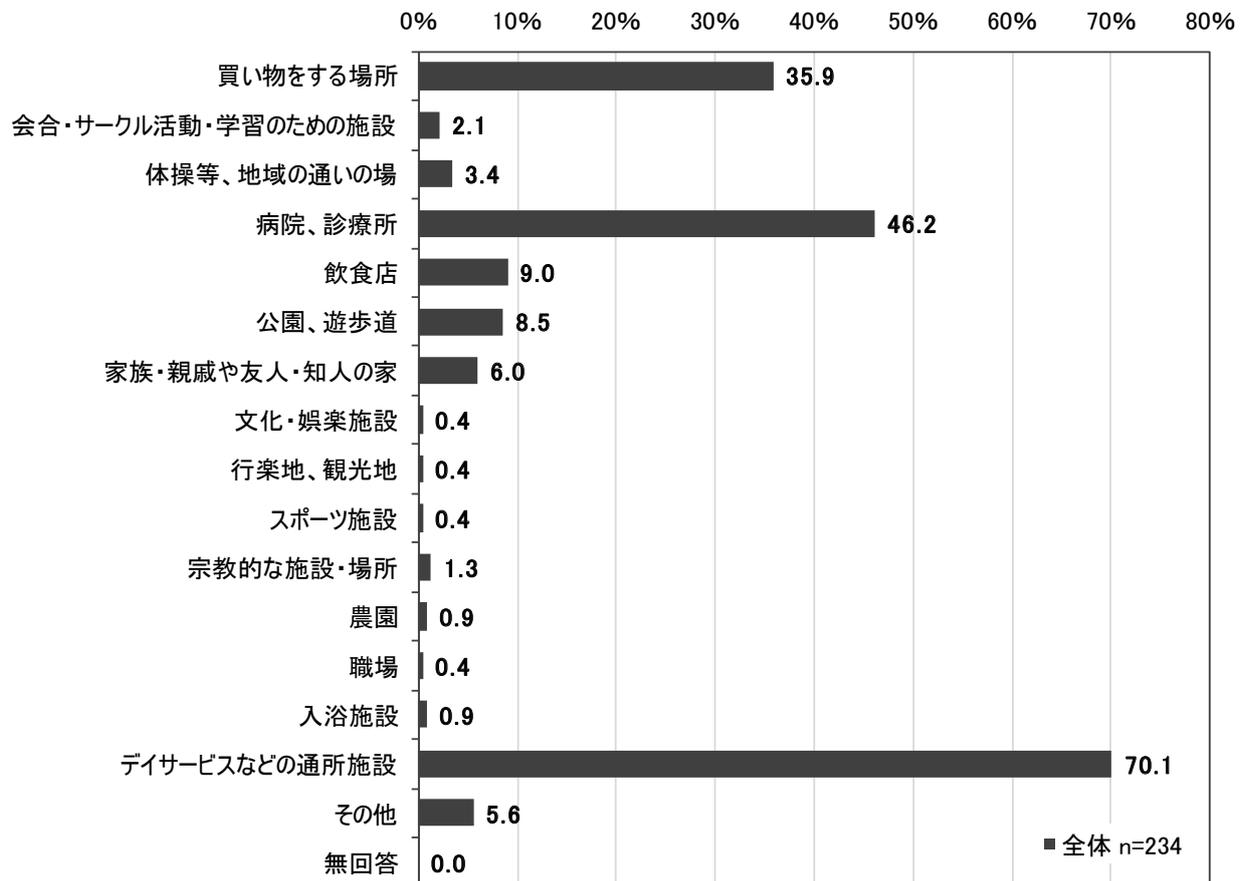
週に1回以上は外出しているかについては、「週2～4回」が40.2%で最も高く、次いで「ほとんど外出しない」が24.6%、「週5回以上」が13.1%、「週1回」が10.7%となっています。



問 13-1. 【問 13 で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。】

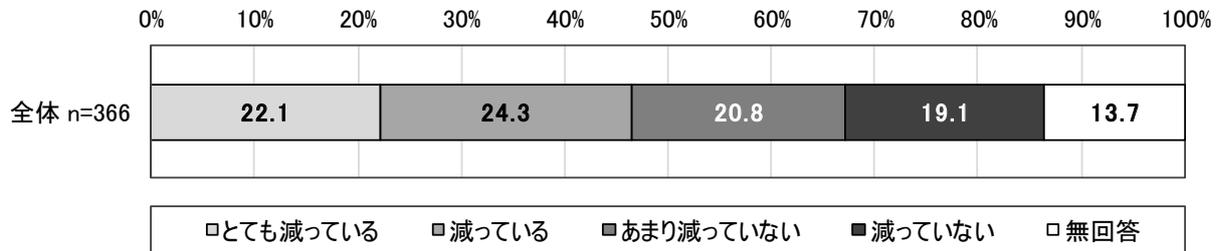
外出をする際の主な行先は次のどちらですか。(回答は3つまで)

外出する際の主な行き先については、「デイサービスなどの通所施設」が 70.1%で最も高く、次いで「病院、診療所」が 46.2%、「買い物をする場所」が 35.9%となっています。



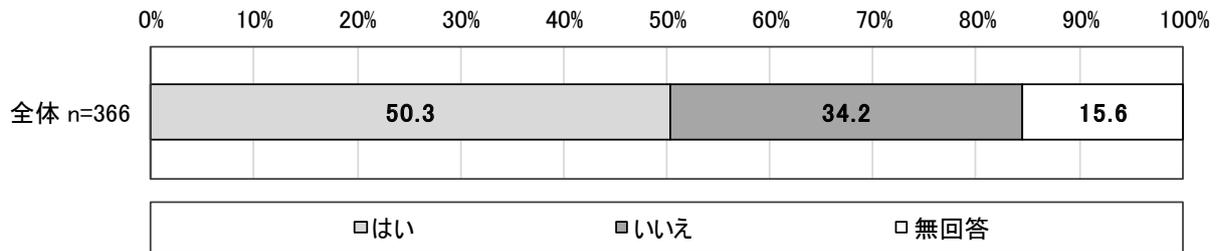
問 14. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ) ★

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っている」が 24.3%で最も高く、次いで「とても減っている」が 22.1%、「あまり減っていない」が 20.8%、「減っていない」が 19.1%となっています。



問 15. 外出を控えていますか。(回答は1つ) ★

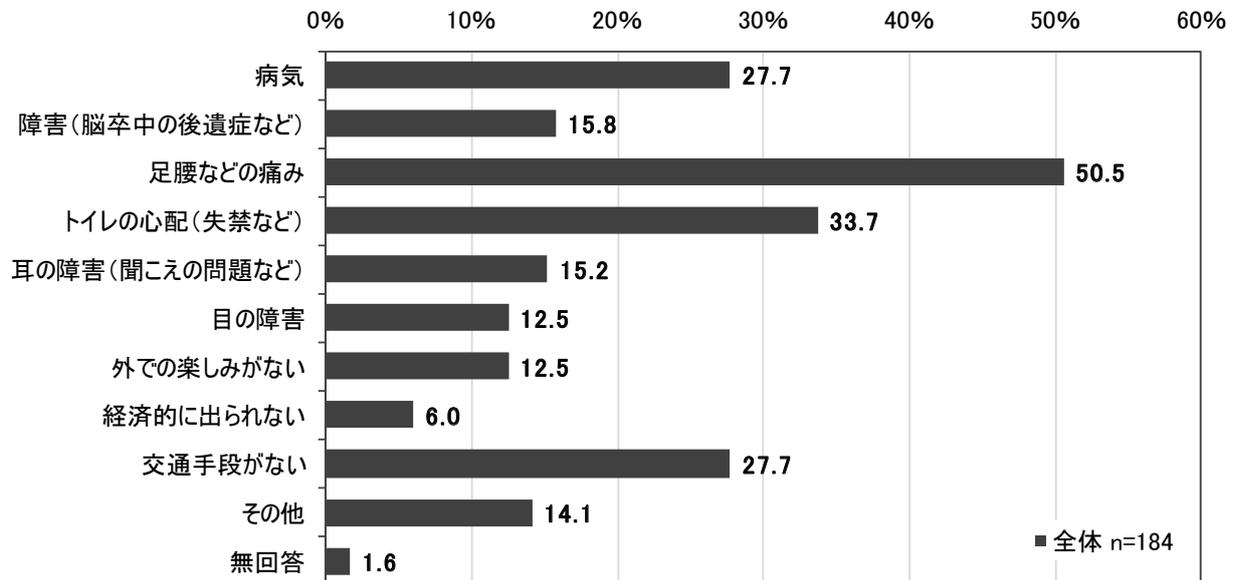
外出を控えているかについては、「はい」が 50.3%、「いいえ」が 34.2%で、「はい」が 16.1ポイント上回っています。



問 15-1. 【問 15 で「はい」と回答した方におたずねします。】

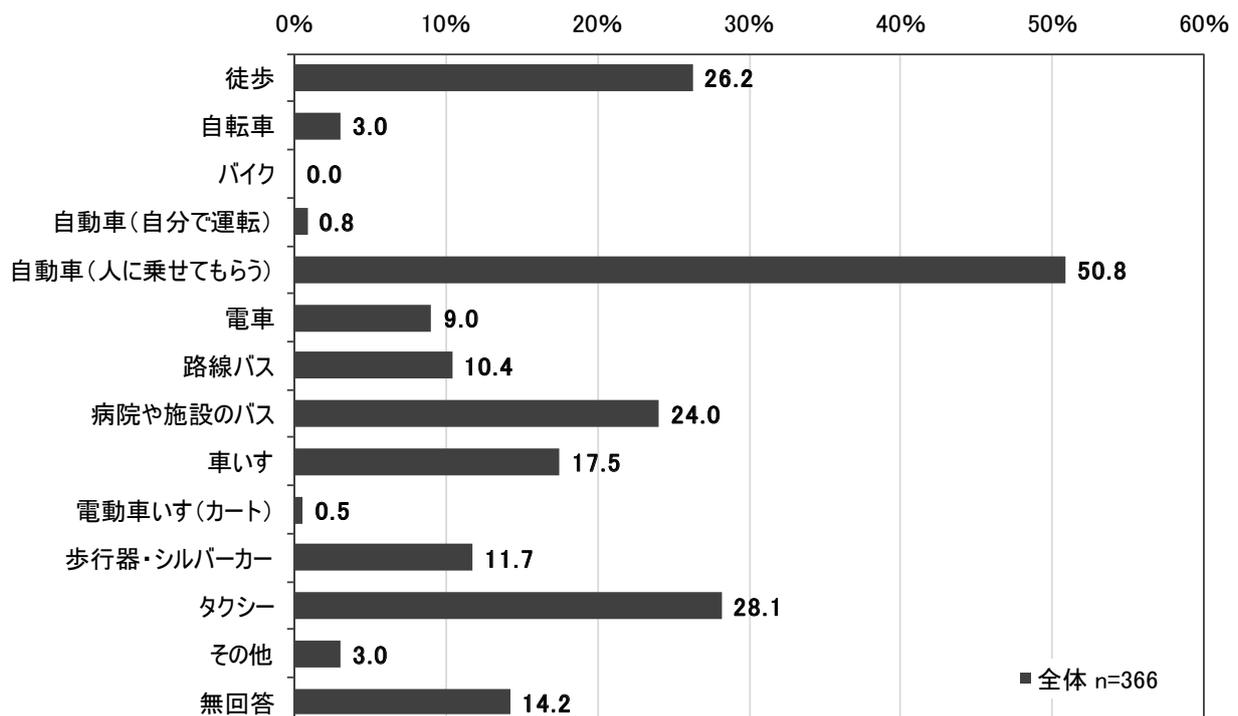
外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 50.5%で最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が 33.7%、「病気」「交通手段がない」がともに 27.7%となっています。



問 16. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出する際の移動手段については、「自動車(人に乗せてもらう)」が 50.8%で最も高く、次いで「タクシー」が 28.1%、「徒歩」が 26.2%となっています。

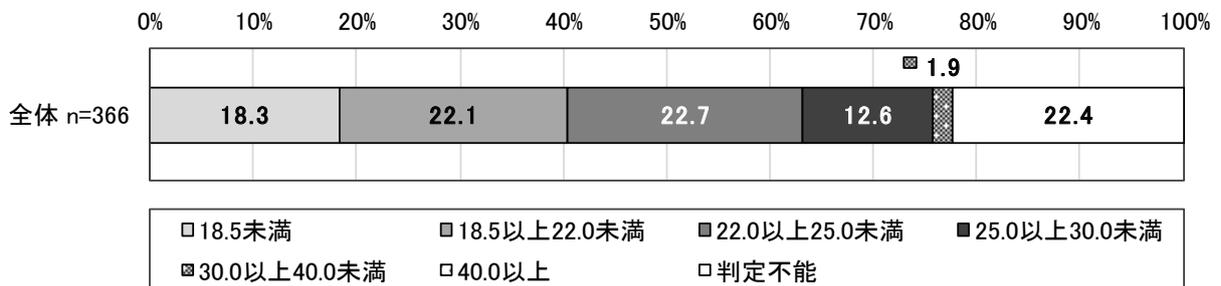


4. 食べることについて

「4. 食べることについて」は、身長・体重からBMIを算出し、肥満度の構成を把握するとともに、口腔機能の状況、歯の数と入れ歯の利用状況、だれかと食事をする機会を把握するための項目となっています。

問 17. 身長・体重を記入してください。 ★

身長・体重から算出されるBMIについてみると、「22.0以上25.0未満」が22.7%で最も高く、次いで「18.5以上22.0未満」が22.1%、「18.5未満」が18.3%となっています。



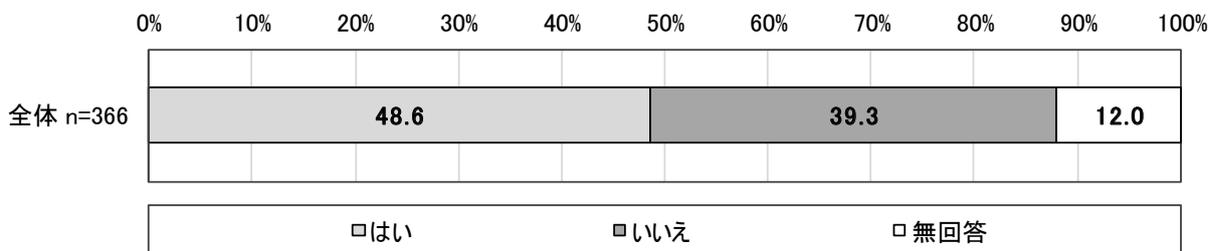
※BMIとは、体重と身長の関係から肥満度を示す体格指数であり、下記の計算式で算出します。

【計算式】 $BMI = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)})$

- ◆「18.5未満」…………… 『低体重』
- ◆「18.5以上25.0未満」…………… 『普通体重』
- ◆「25.0以上」…………… 『肥満』

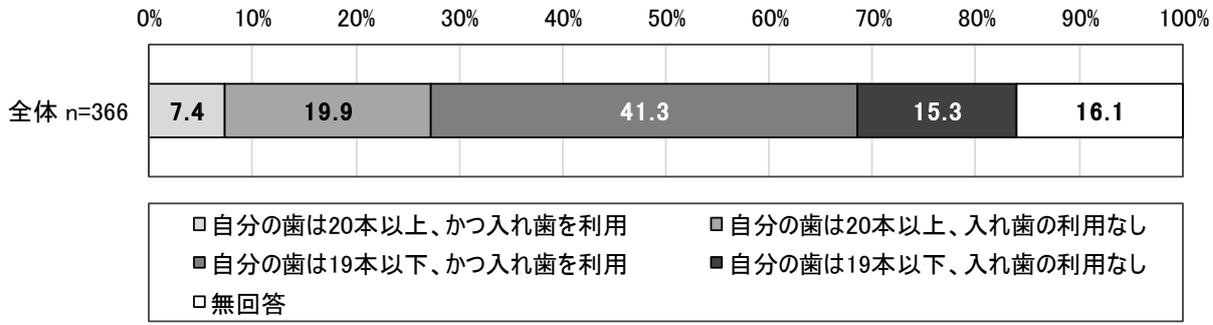
問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ) ★

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が48.6%、「いいえ」が39.3%で、「はい」が9.3ポイント上回っています。



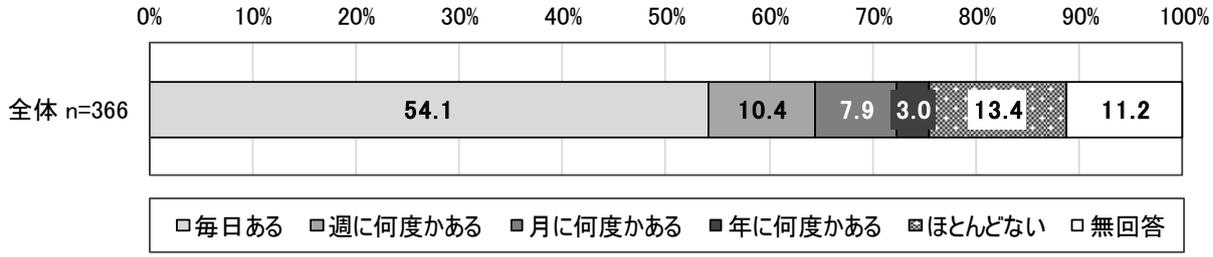
問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(回答は1つ) ★

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.3%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が19.9%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が15.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が7.4%となっています。



問 20. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(回答は1つ) ★

どなたかと食事をとにもする機会があるかについては、「毎日ある」が54.1%で最も高く、次いで「ほとんどない」が13.4%、「週に何度かある」が10.4%となっています。

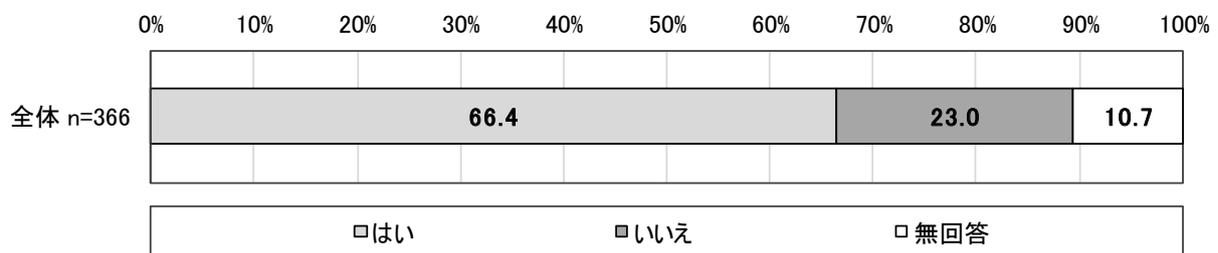


5. 毎日の生活について

「5. 毎日の生活について」は、物忘れの状況から認知機能を評価する設問が設けられているとともに、日常生活動作の設問から、手段的自立度（IADL）を評価するための設問が設けられています。また、日常生活において困ったことや今後の生活で心配なことを把握するための項目となっています。

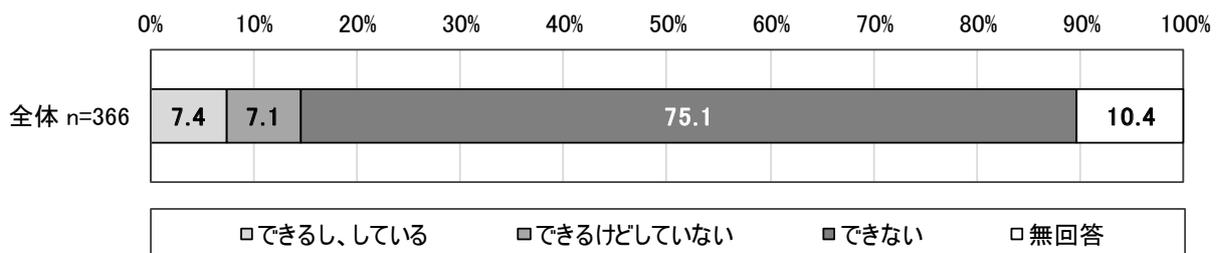
問 21. 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ) ★

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が66.4%、「いいえ」が23.0%で、「はい」が43.4ポイント上回っています。



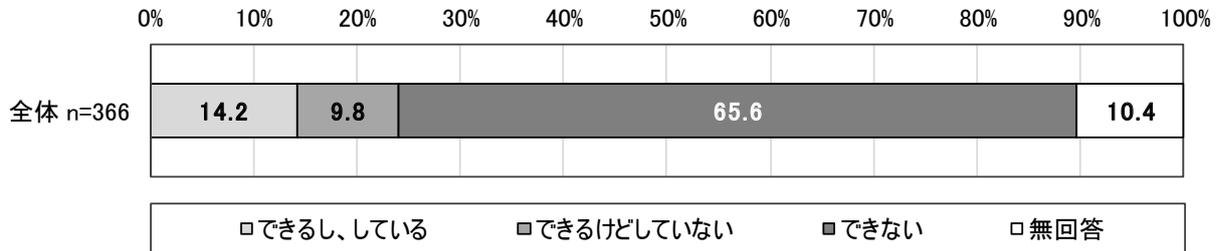
問 22. バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可) (回答は1つ) ★

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できない」が75.1%で最も高く、次いで「できるし、している」が7.4%、「できるけどしていない」が7.1%となっています。



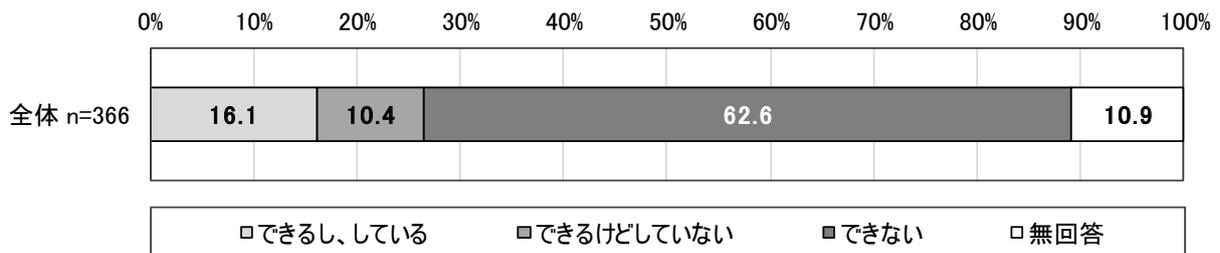
問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(回答は1つ) ★

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できない」が 65.6%で最も高く、次いで「できるし、している」が 14.2%、「できるけどしていない」が 9.8%となっています。



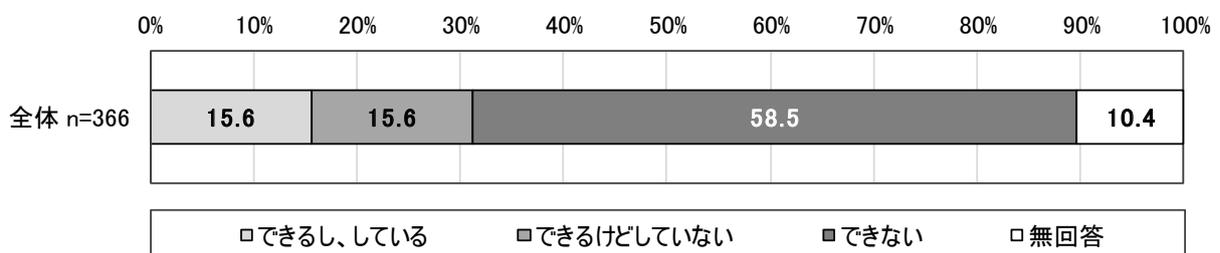
問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ) ★

自分で食事の用意をしているかについては、「できない」が 62.6%で最も高く、次いで「できるし、している」が 16.1%、「できるけどしていない」が 10.4%となっています。



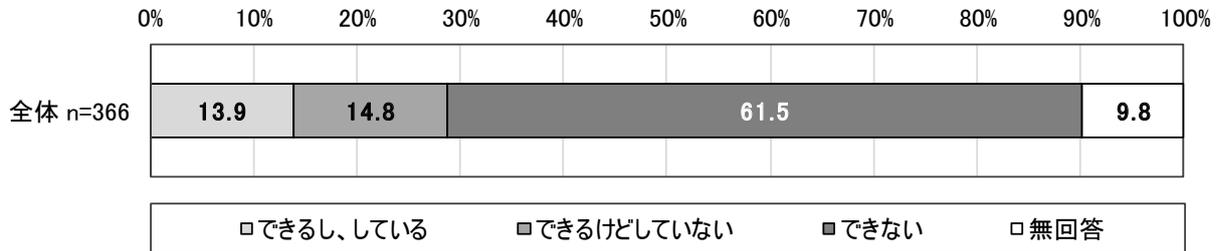
問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ) ★

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できない」が 58.5%で最も高く、次いで「できるし、している」「できるけどしていない」がともに 15.6%となっています。



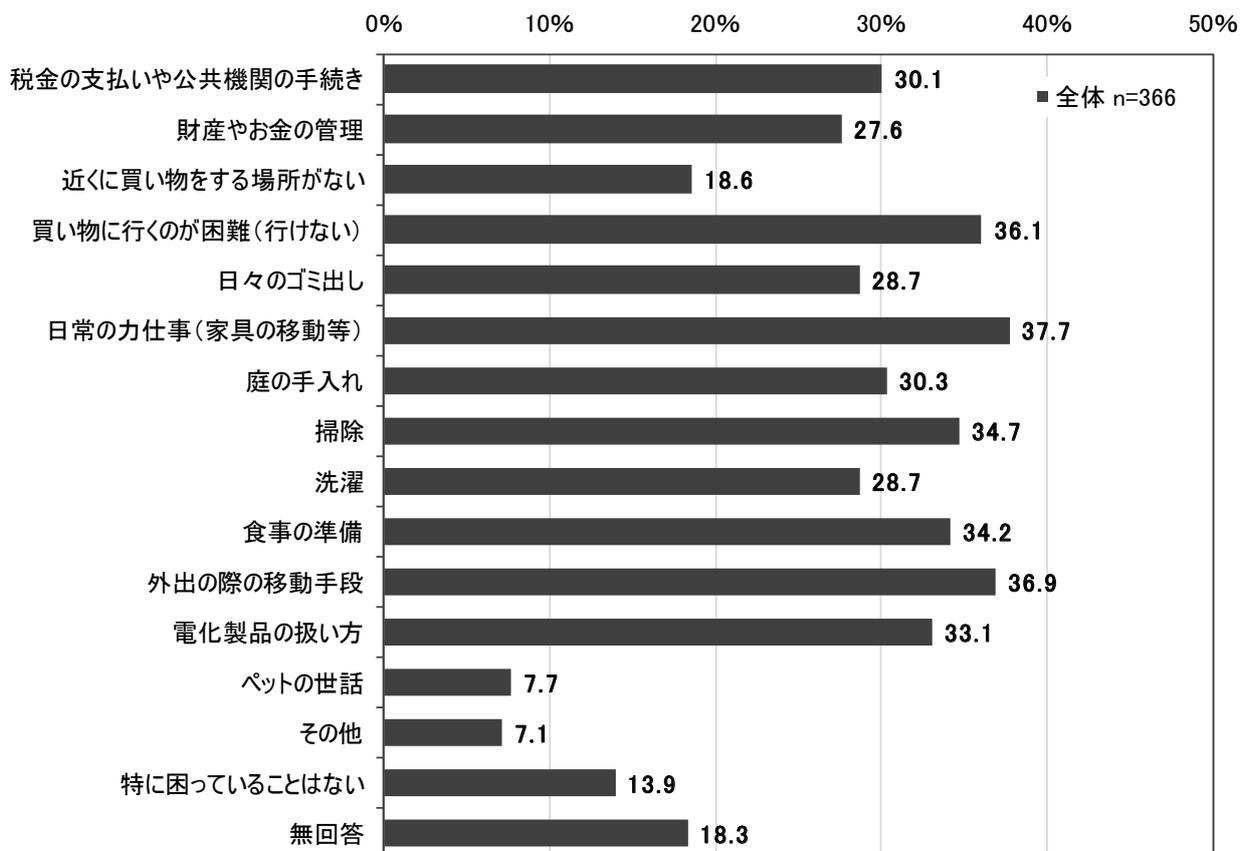
問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ) ★

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できない」が 61.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 14.8%、「できるし、している」が 13.9%となっています。



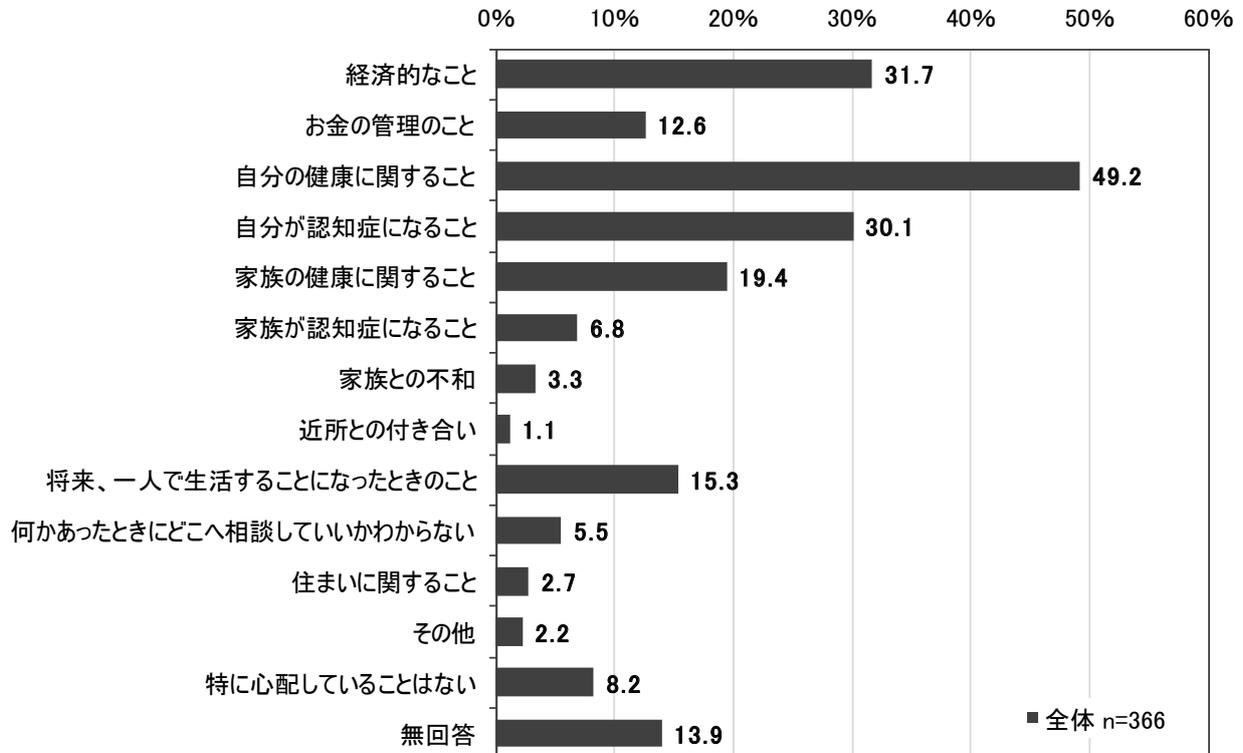
問 27. 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

日常生活の中で困ったことがあるかについては、「日常の力仕事(家具の移動等)」が 37.7%で最も高く、次いで「外出の際の移動手段」が 36.9%、「買い物に行くのが困難(行けない)」が 36.1%となっています。



問 28. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分の健康に関すること」が49.2%で最も高く、次いで「経済的なこと」が31.7%、「自分が認知症になること」が30.1%となっています。



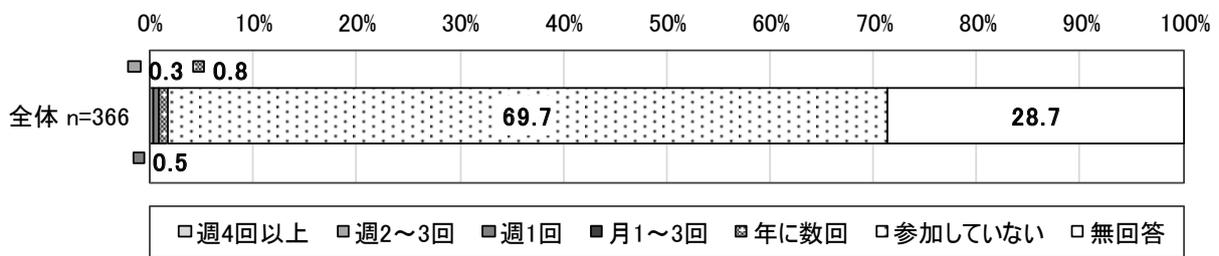
6. 地域の活動について

「6. 地域の活動について」は、地域の活動への参加状況、地域の活動へ参加者として参加する意向、地域の活動へ企画・運営として参加する意向、地域との関係に対する考え方を把握するための項目となっています。

問 29. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ★

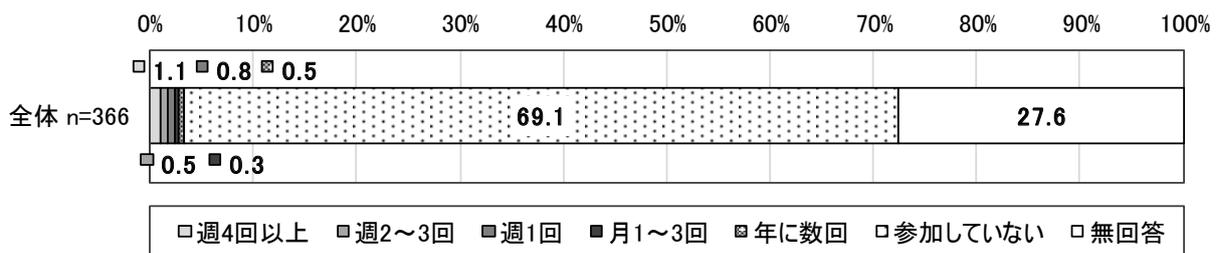
①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況については、「参加していない」が 69.7%で最も高く、次いで「年に数回」が 0.8%、「週1回」が 0.5%となっています。



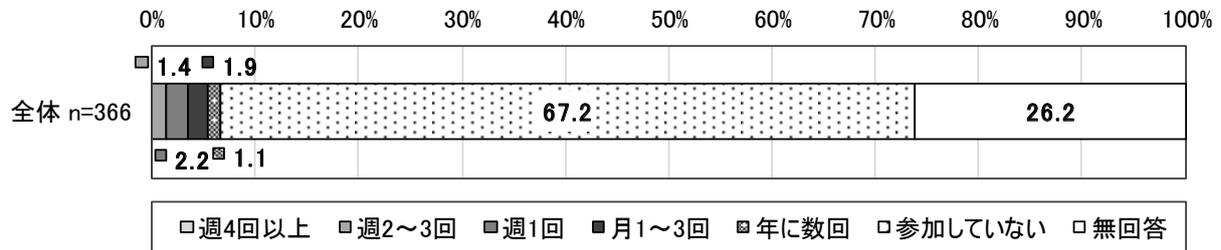
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況については、「参加していない」が 69.1%で最も高く、次いで「週4回以上」が 1.1%、「週1回」が 0.8%となっています。



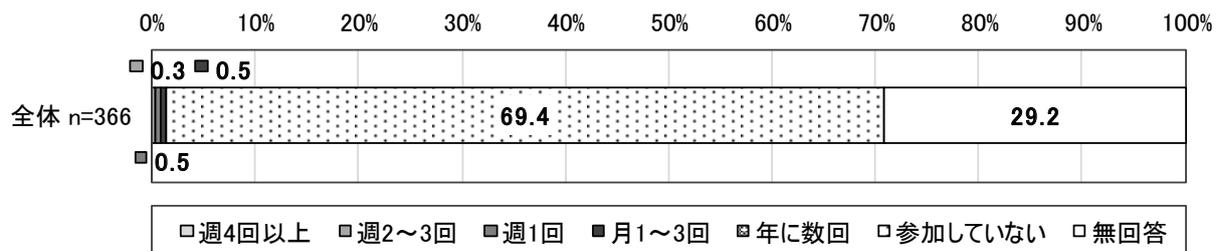
③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況については、「参加していない」が67.2%で最も高く、次いで「週1回」が2.2%、「月1～3回」が1.9%となっています。



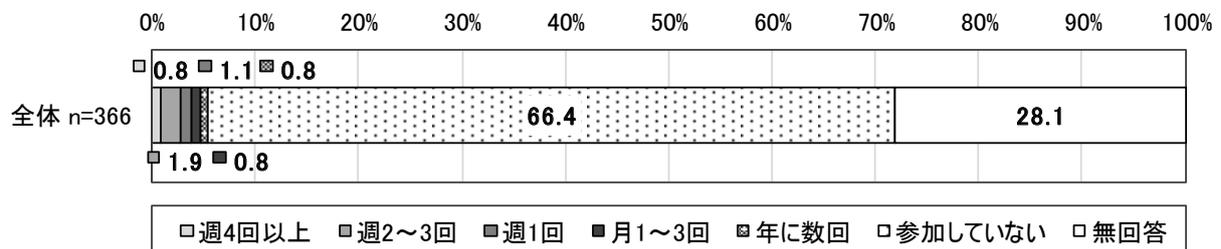
④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況については、「参加していない」が69.4%で最も高く、次いで「週1回」「月1～3回」がともに0.5%、「週2～3回」が0.3%となっています。



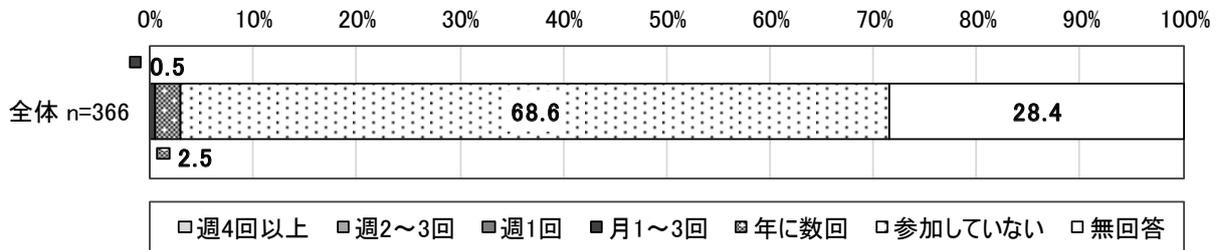
⑤介護予防のための通いの場（ところん元気百歳体操、お達者倶楽部など）

介護予防のための通いの場への参加状況については、「参加していない」が66.4%で最も高く、次いで「週2～3回」が1.9%、「週1回」が1.1%となっています。



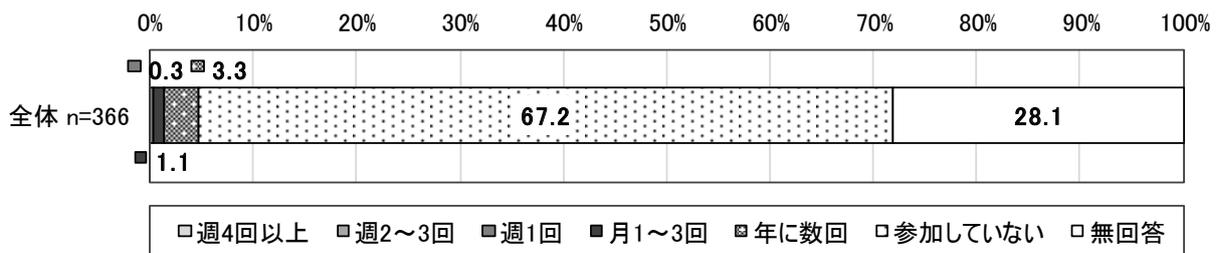
⑥長生クラブ

長生クラブへの参加状況については、「参加していない」が68.6%で最も高く、次いで「年に数回」が2.5%、「月1～3回」が0.5%となっています。



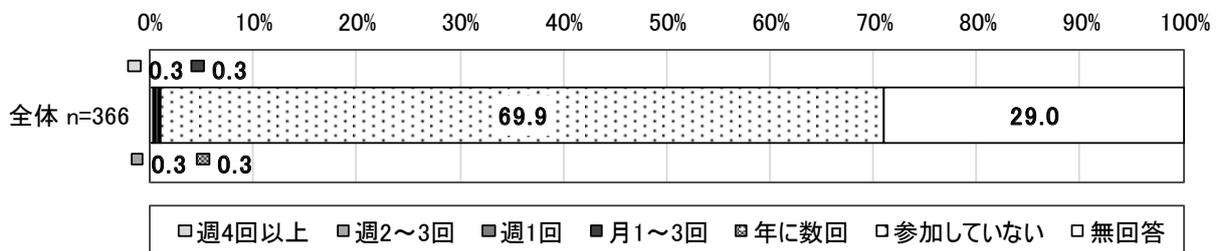
⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況については、「参加していない」が67.2%で最も高く、次いで「年に数回」が3.3%、「月1～3回」が1.1%となっています。



⑧収入のある仕事

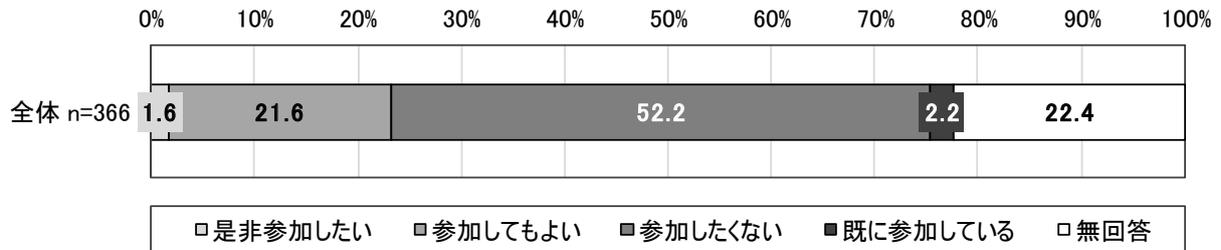
収入のある仕事への参加状況については、「参加していない」が69.9%で最も高く、次いで「週4回以上」「週2～3回」「月1～3回」「年に数回」がともに0.3%となっています。



問 30. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

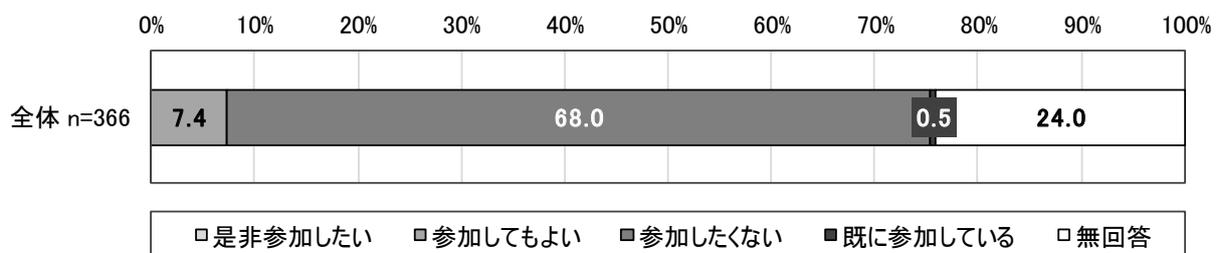
(回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が52.2%で最も高く、次いで「参加してもよい」が21.6%、「既に参加している」が2.2%となっています。



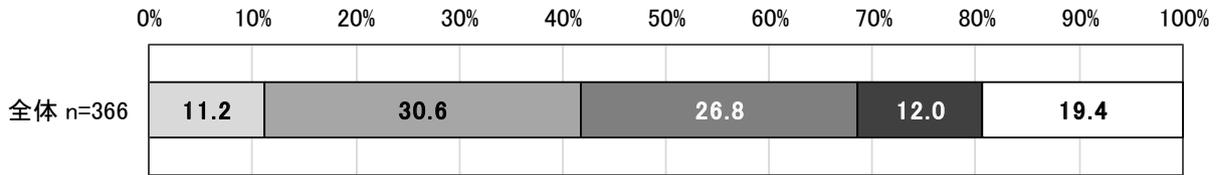
問 31. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が68.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が7.4%、「既に参加している」が0.5%となっています。



問 32. 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

地域との関係性については、「いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい」が 30.6%で最も高く、次いで「お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい」が 26.8%、「かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい」が 12.0%となっています。



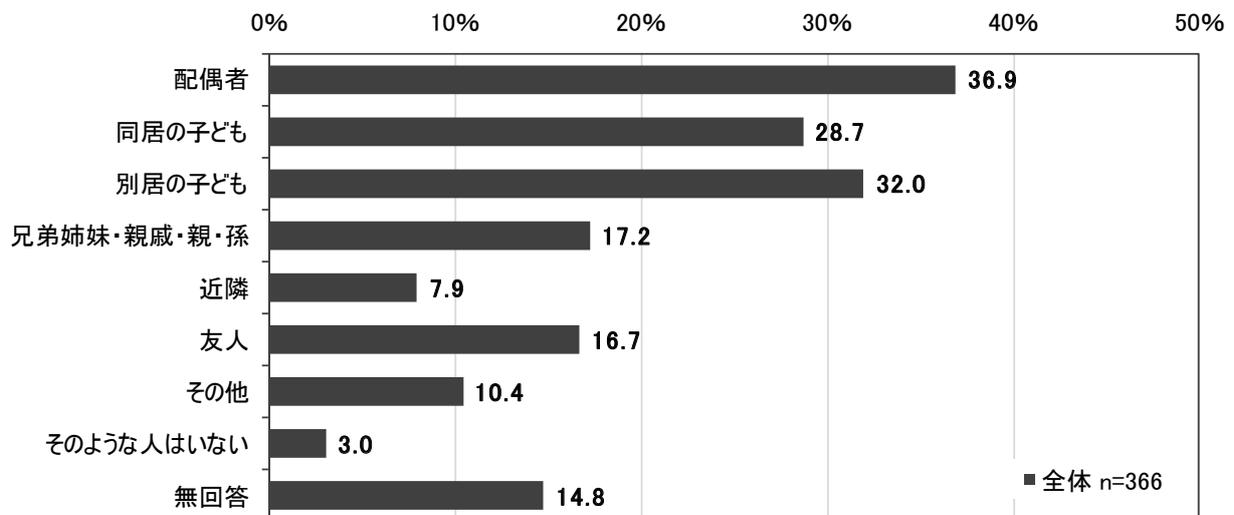
- お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい
- いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい
- お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい
- かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい
- 無回答

7. たすけあいについて

「7. たすけあいについて」は、心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、看病や世話をしてくれる人、してあげる人を把握するための項目となっています。

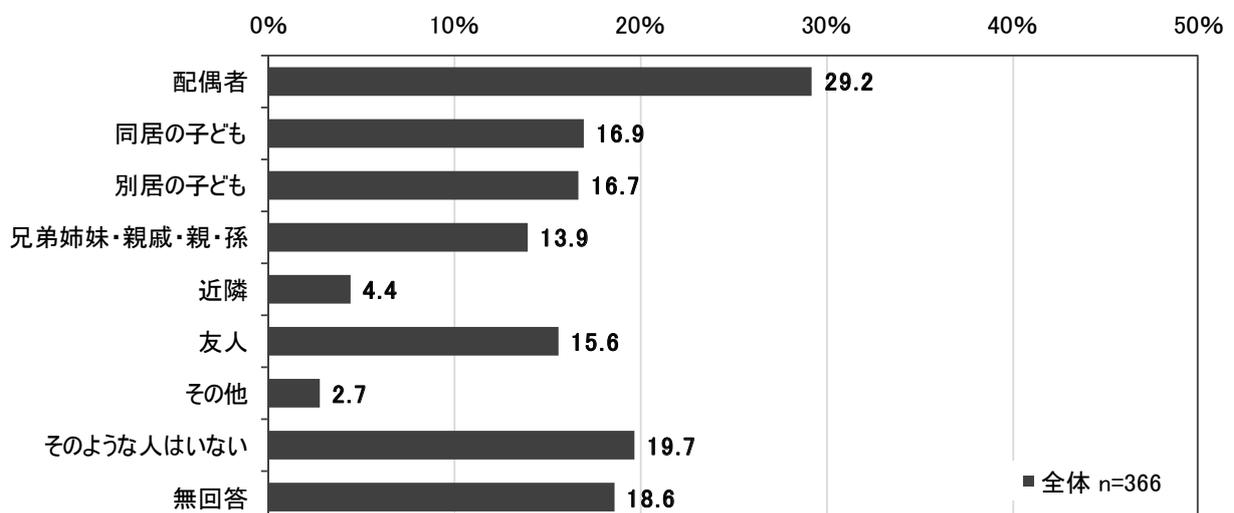
問 33. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、どのような人ですか。
（あてはまるものすべてに回答） ★

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 36.9%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 32.0%、「同居の子ども」が 28.7%となっています。



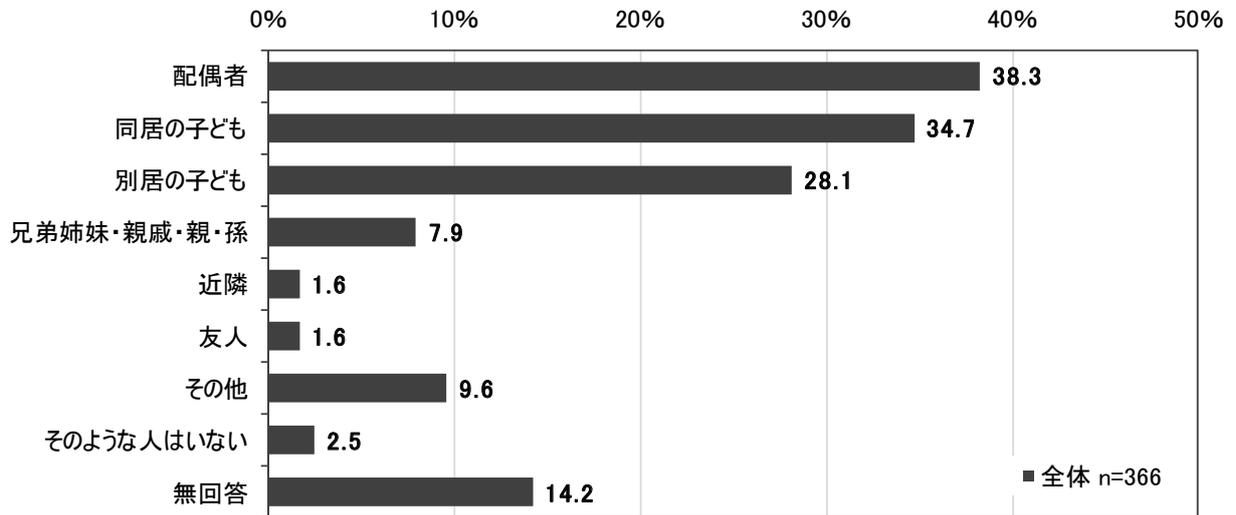
問 34. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、どのような人ですか。
（あてはまるものすべてに回答） ★

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 29.2%で最も高く、次いで「そのような人はいない」が 19.7%、「同居の子ども」が 16.9%となっています。



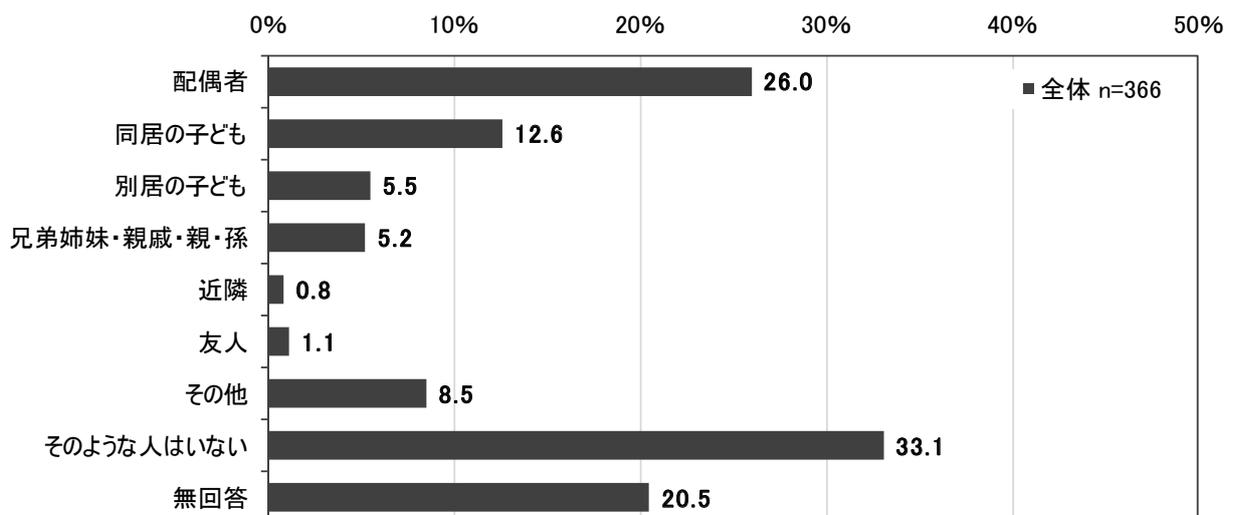
問 35. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答) ★

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が38.3%で最も高く、次いで「同居の子ども」が34.7%、「別居の子ども」が28.1%となっています。



問 36. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答) ★

あなたが看病や世話をしてあげる人については、「そのような人はいない」が33.1%で最も高く、次いで「配偶者」が26.0%、「同居の子ども」が12.6%となっています。

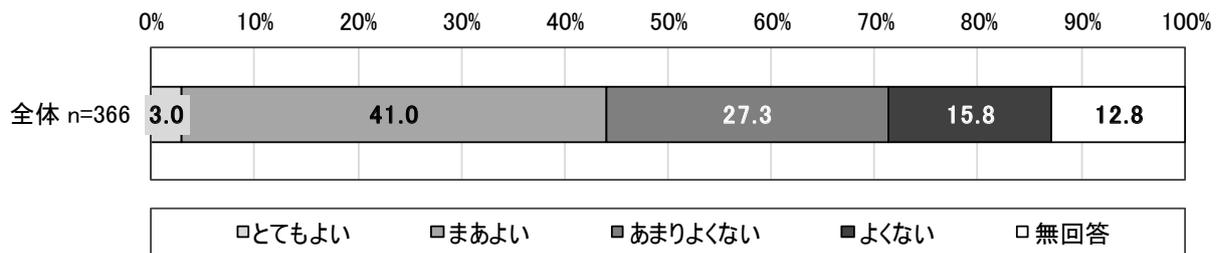


8. 健康について

「8. 健康について」は、現在の健康状態、現在の幸福感、現在の心の状況、喫煙状況、病気の有無、かかりつけ医等の有無、終末期の意向を把握するための項目となっています。

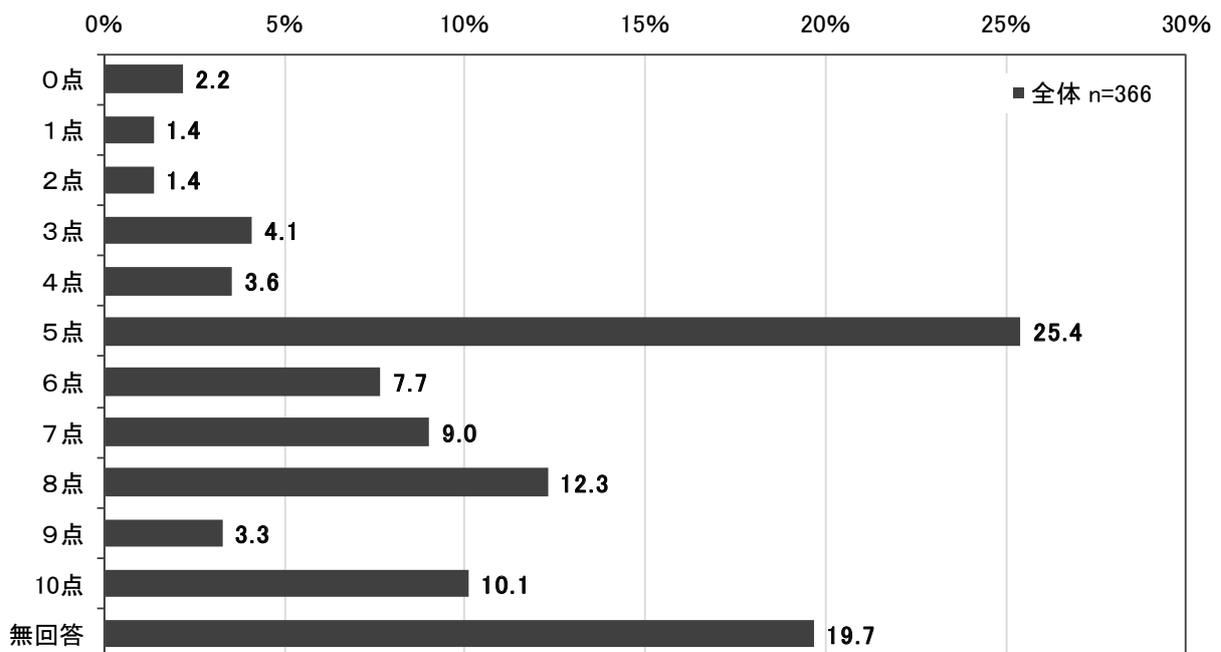
問 37. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ) ★

現在の健康状態については、「まあよい」が41.0%で最も高く、次いで「あまりよくない」が27.3%、「よくない」が15.8%、「とてもよい」が3.0%となっています。



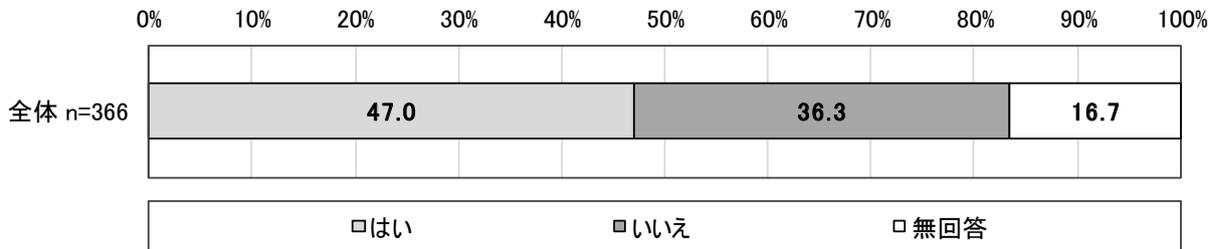
問 38. あなたは、現在どの程度幸せですか。(回答は1つ) ★

現在の幸福感については、「5点」が25.4%で最も高く、次いで「8点」が12.3%、「10点」が10.1%、「7点」が9.0%、「6点」が7.7%となっています。「5点」～「10点」の合計値で67.8%の割合を占めています。



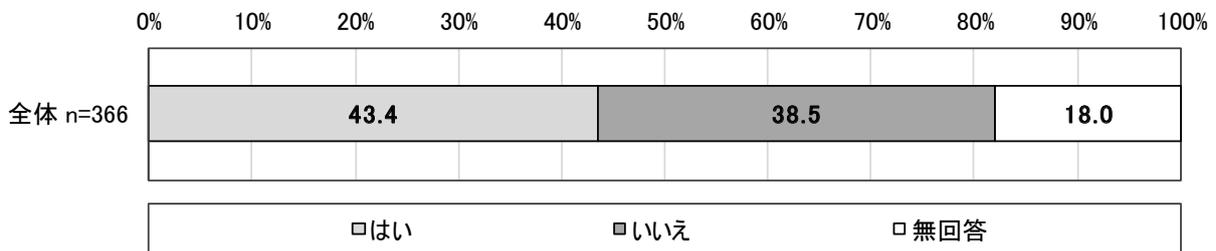
**問 39. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(回答は1つ) ★**

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が47.0%、「いいえ」が36.3%で、「はい」が10.7ポイント上回っています。



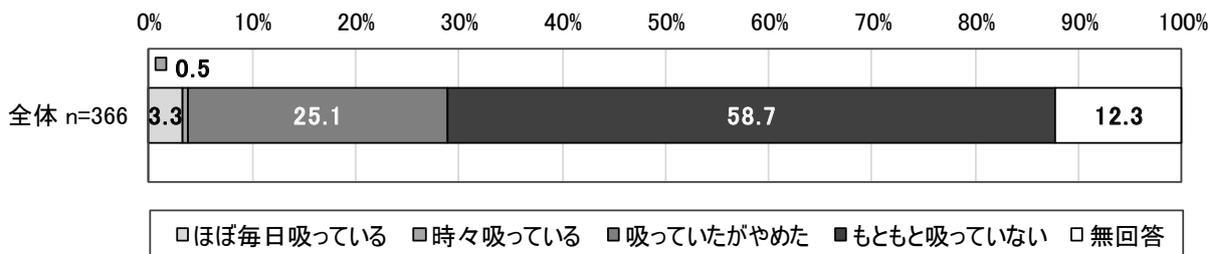
問 40. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(回答は1つ) ★

この1か月間、物事に対して興味がわかない、楽しめない感じがあったかについては、「はい」が43.4%、「いいえ」が38.5%で、「はい」が4.9ポイント上回っています。



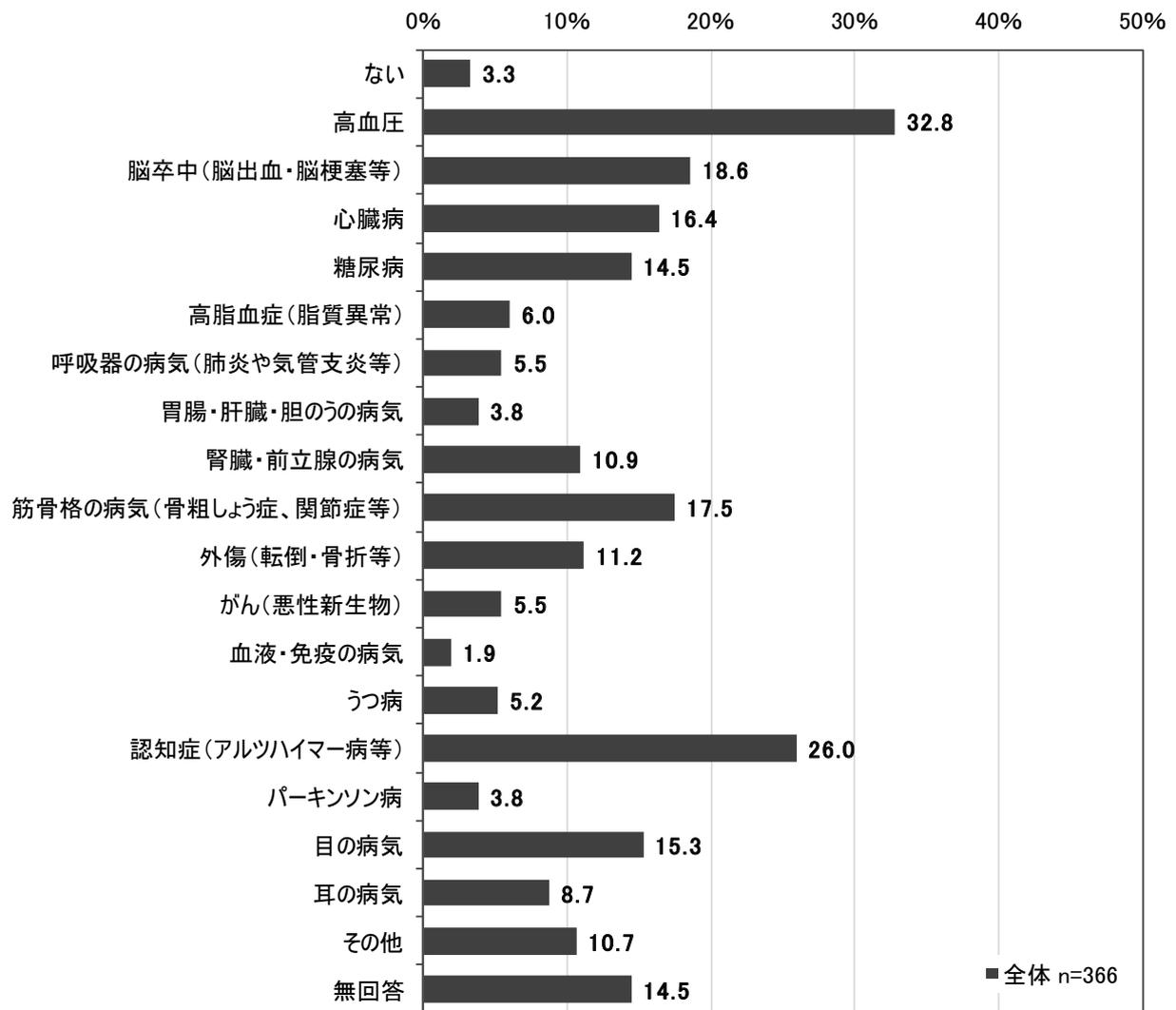
問 41. タバコは吸っていますか。(回答は1つ) ★

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が58.7%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が25.1%、「ほぼ毎日吸っている」が3.3%、「時々吸っている」が0.5%となっています。



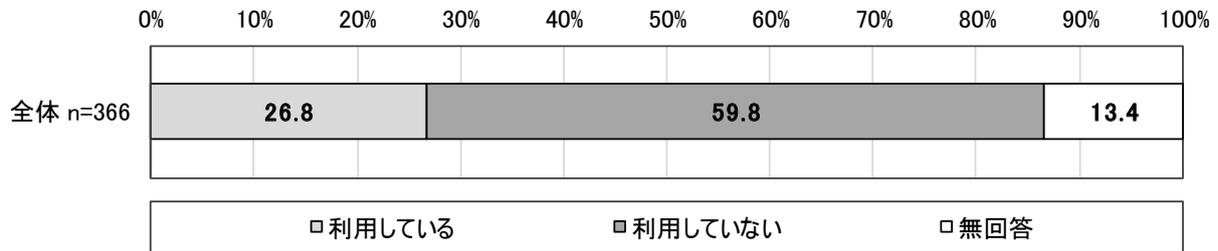
問 42. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに回答) ★

現在治療中、または後遺症のある病気があるかについては、「高血圧」が 32.8%で最も高く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」が 26.0%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 18.6%となっています。



問 43. 現在、訪問診療を利用していますか。(回答は1つ) ★

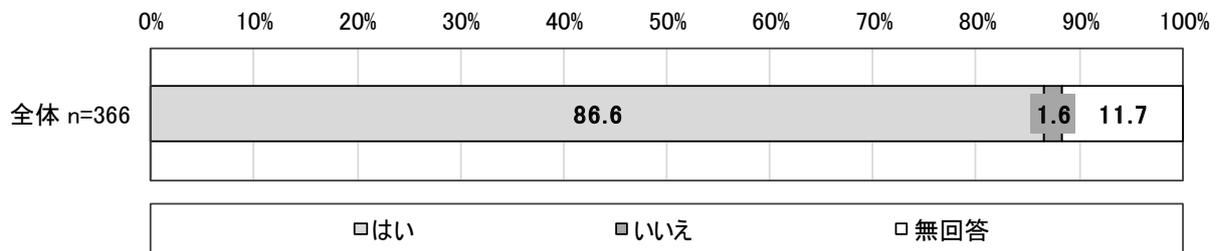
訪問診療の利用状況については、「利用している」が26.8%、「利用していない」が59.8%で、「利用していない」が33.0ポイント上回っています。



問 44. かかりつけの医療機関について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

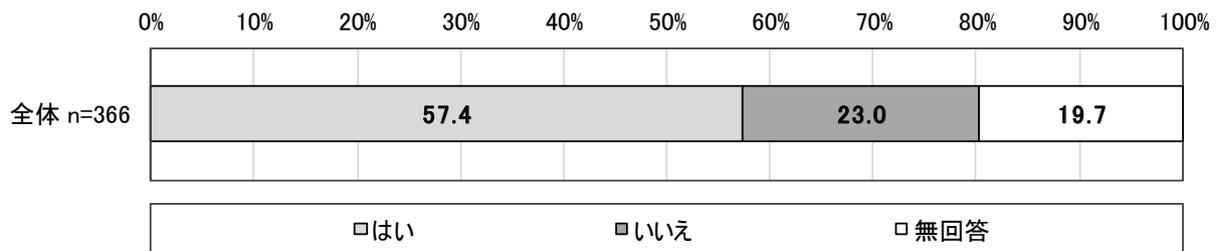
①かかりつけの医師はいますか

かかりつけの医師がいるかについては、「はい」が86.6%、「いいえ」が1.6%で、「はい」が85.0ポイント上回っています。



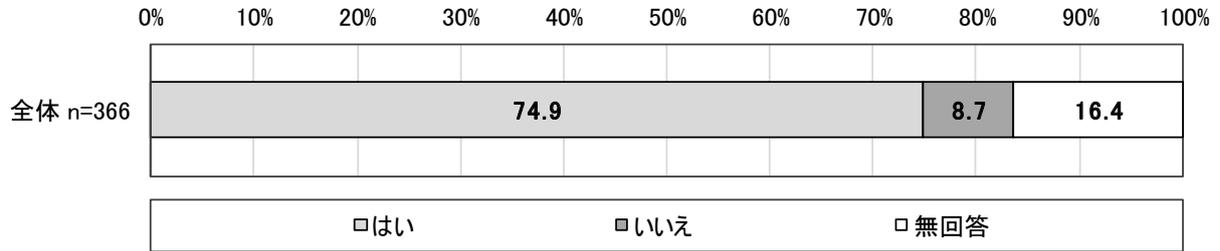
②かかりつけの歯科医はいますか

かかりつけの歯科医がいるかについては、「はい」が57.4%、「いいえ」が23.0%で、「はい」が34.4ポイント上回っています。



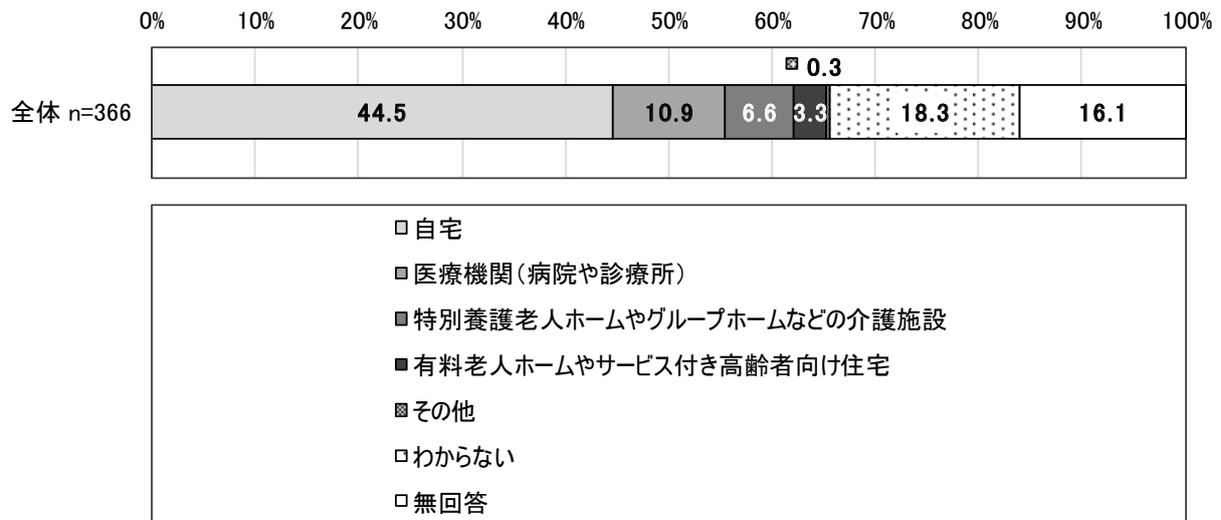
③かかりつけの薬局はありますか

かかりつけの薬局があるかについては、「はい」が74.9%、「いいえ」が8.7%で、「はい」が66.2ポイント上回っています。



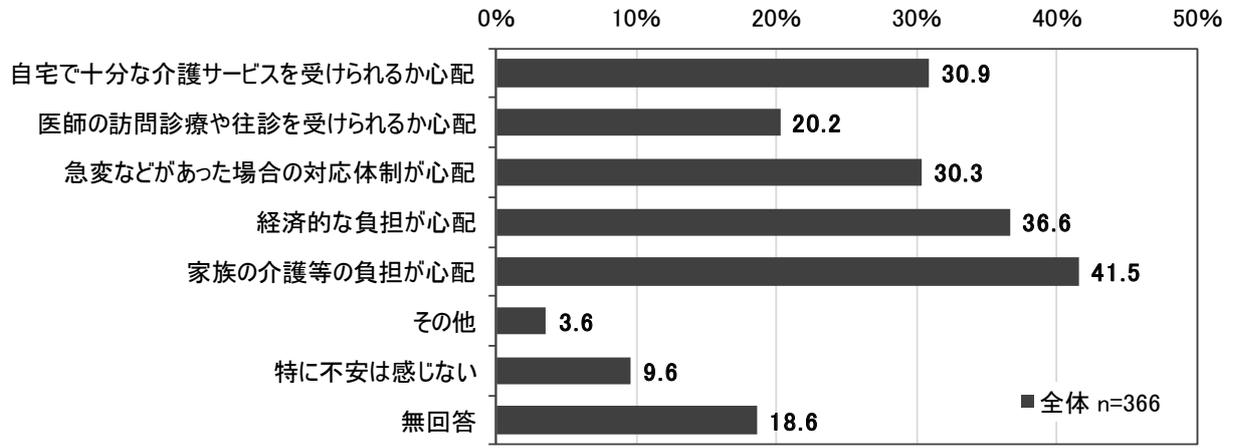
問 45. あなたは、終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）をどこで過ごしたいと思いますか。（回答は1つ）

終末期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が44.5%で最も高く、次いで「わからない」が18.3%、「医療機関（病院や診療所）」が10.9%となっています。



問 46. 終末期について、どのようなことに不安を感じますか。(あてはまるものすべてに回答)

終末期について、どのようなことに不安を感じるかについては、「家族の介護等の負担が心配」が41.5%で最も高く、次いで「経済的な負担が心配」が36.6%、「自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配」が30.9%となっています。



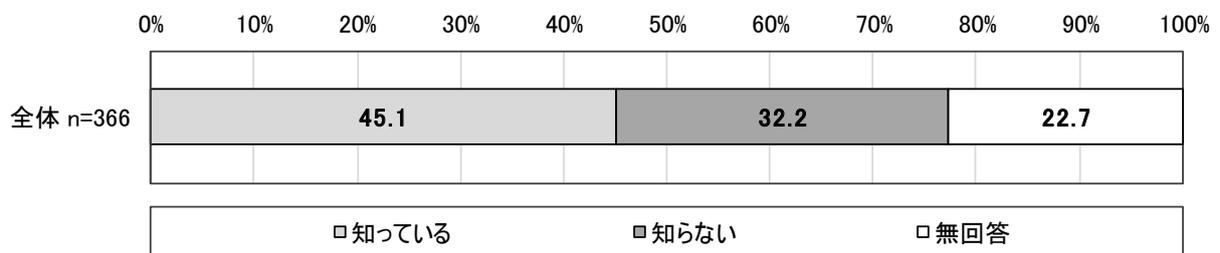
9. 認知症施策について

「9. 認知症施策について」は、各種認知症施策等に係る認知度や認知症の状況を把握するための項目となっています。

問 47. 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(それぞれ回答は1つ)

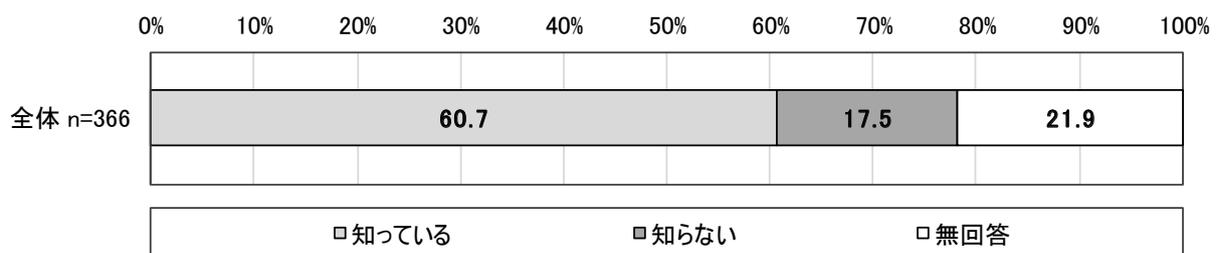
①自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができること

自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができることについては、「知っている」が45.1%、「知らない」が32.2%で、「知っている」が12.9ポイント上回っています。



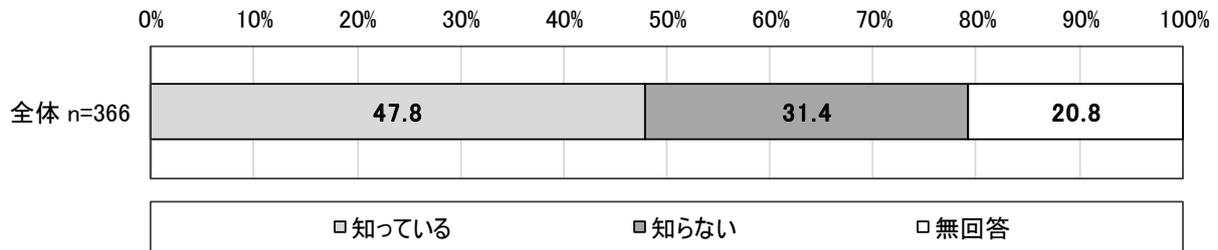
②認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いこと

認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いことについては、「知っている」が60.7%、「知らない」が17.5%で、「知っている」が43.2ポイント上回っています。



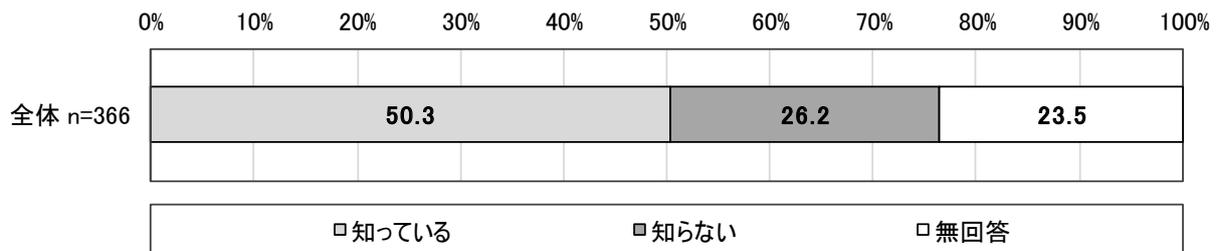
③認知症の方が入所する介護施設があること

認知症の方が入所する介護施設があることについては、「知っている」が 47.8%、「知らない」が 31.4%で、「知っている」が 16.4 ポイント上回っています。



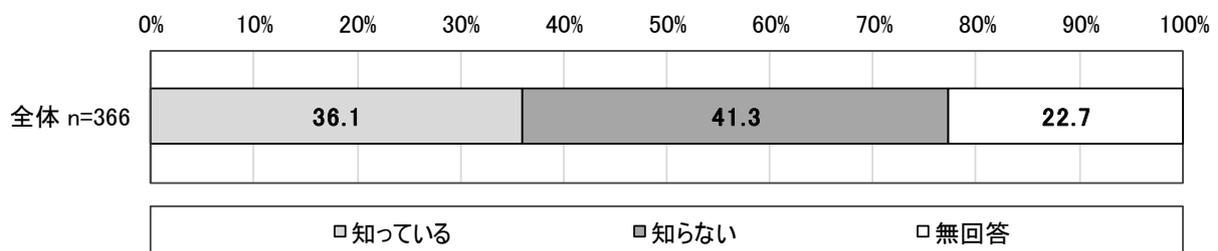
④家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なこと

家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なことについては、「知っている」が 50.3%、「知らない」が 26.2%で、「知っている」が 24.1 ポイント上回っています。



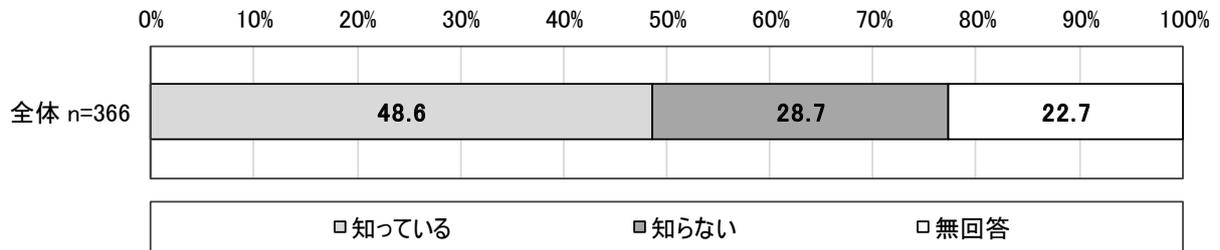
⑤消費者被害に関する相談窓口があること

消費者被害に関する相談窓口があることについては、「知っている」が 36.1%、「知らない」が 41.3%で、「知らない」が 5.2 ポイント上回っています。



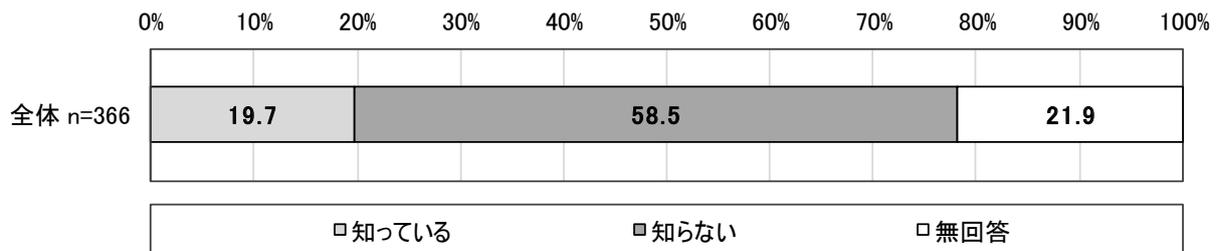
⑥ 「成年後見制度」

成年後見制度については、「知っている」が48.6%、「知らない」が28.7%で、「知っている」が19.9ポイント上回っています。



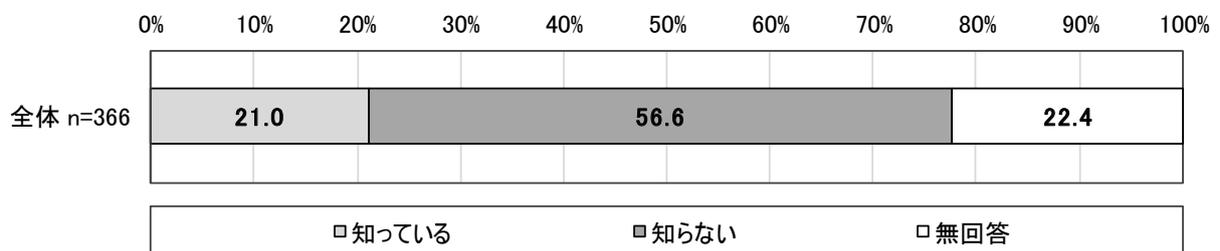
⑦ 「みんなのカフェ（認知症カフェ）」

みんなのカフェ（認知症カフェ）については、「知っている」が19.7%、「知らない」が58.5%で、「知らない」が38.8ポイント上回っています。



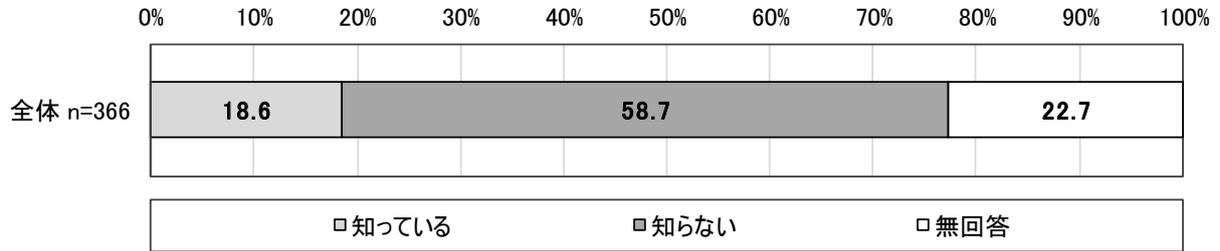
⑧ 「認知症サポーター」

認知症サポーターについては、「知っている」が21.0%、「知らない」が56.6%で、「知らない」が35.6ポイント上回っています。



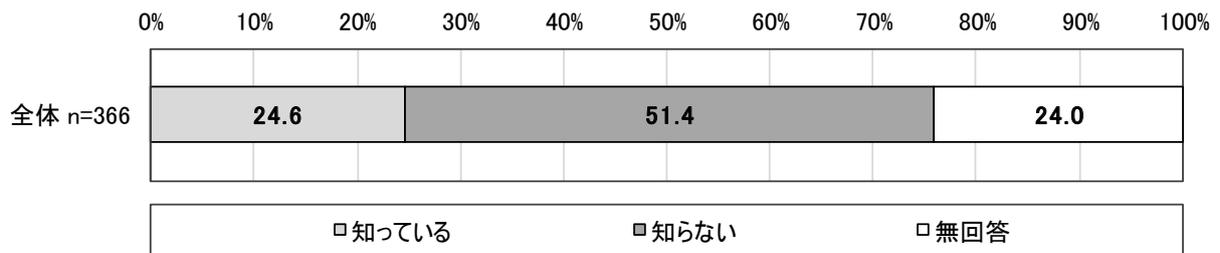
⑨ 「GPSの貸出」

GPSの貸出については、「知っている」が18.6%、「知らない」が58.7%で、「知らない」が40.1ポイント上回っています。



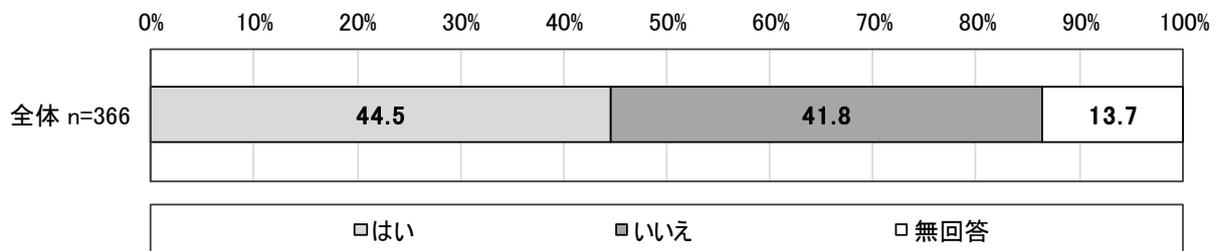
⑩ 「もの忘れ相談医」

もの忘れ相談医については、「知っている」が24.6%、「知らない」が51.4%で、「知らない」が26.8ポイント上回っています。



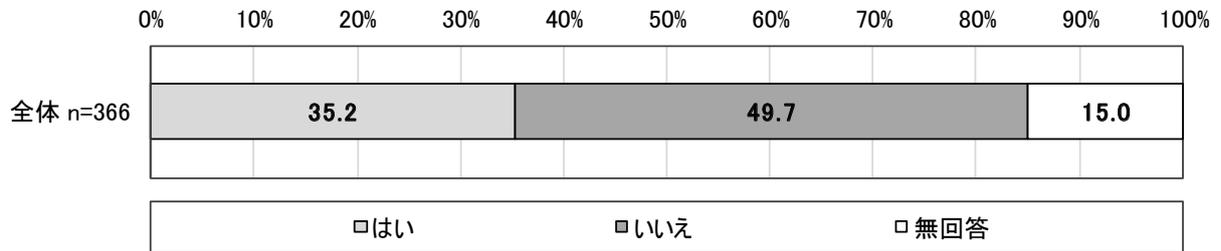
問 48. あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいますか。
 (回答は1つ) ★

自身に認知症の症状又は家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が44.5%、「いいえ」が41.8%で、「はい」が2.7ポイント上回っています。



問 49. 認知症に関する相談窓口をご存知ですか。(回答は1つ) ★

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が 35.2%、「いいえ」が 49.7%で、「いいえ」が 14.5 ポイント上回っています。



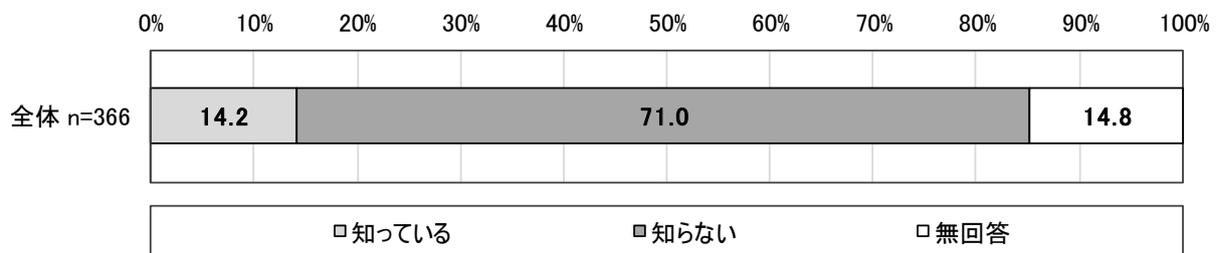
10. 市の施策・事業、介護保険制度について

「10. 市の施策・事業、介護保険制度について」は、避難行動要支援者支援事業の認知度、介護保険施設への意向、介護保険料の段階、介護保険料への負担感、介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況、在宅生活の継続に必要な支援・サービス、市が行っている高齢者福祉サービスへの利用意向、市の独自制度に対する意向を把握するための項目となっています。

問 50. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

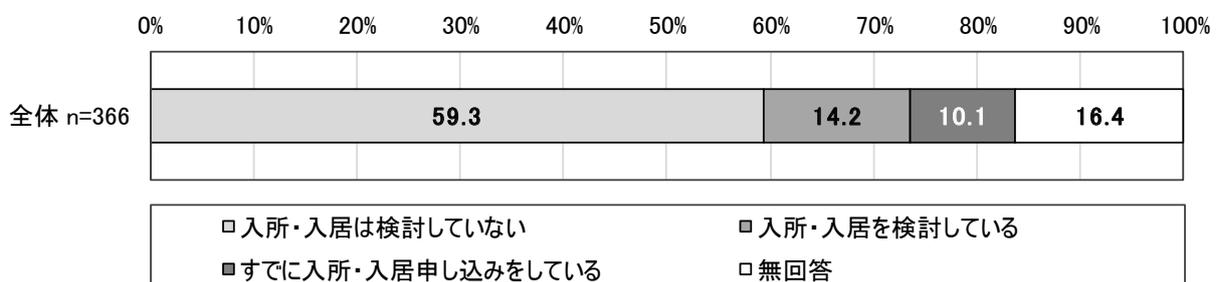
あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。（回答は1つ）

避難行動要支援者支援事業の認知度については、「知っている」が 14.2%、「知らない」が 71.0%で、「知らない」が 56.8 ポイント上回っています。



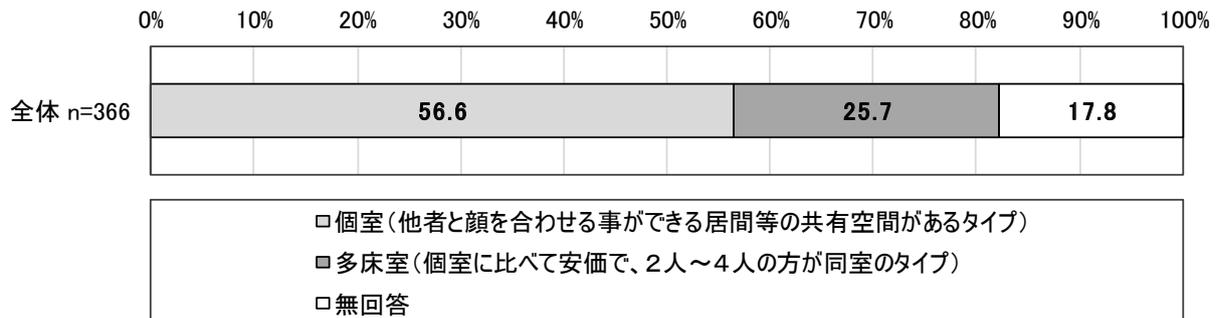
問 51. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてお答えください。（回答は1つ） ★

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 59.3%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 14.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 10.1%となっています。



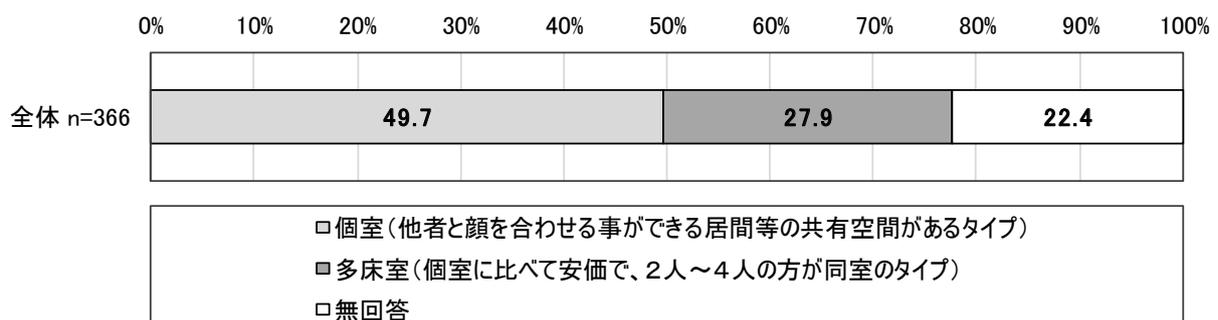
問 52. あなた自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 56.6%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 25.7%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 30.9 ポイント上回っています。



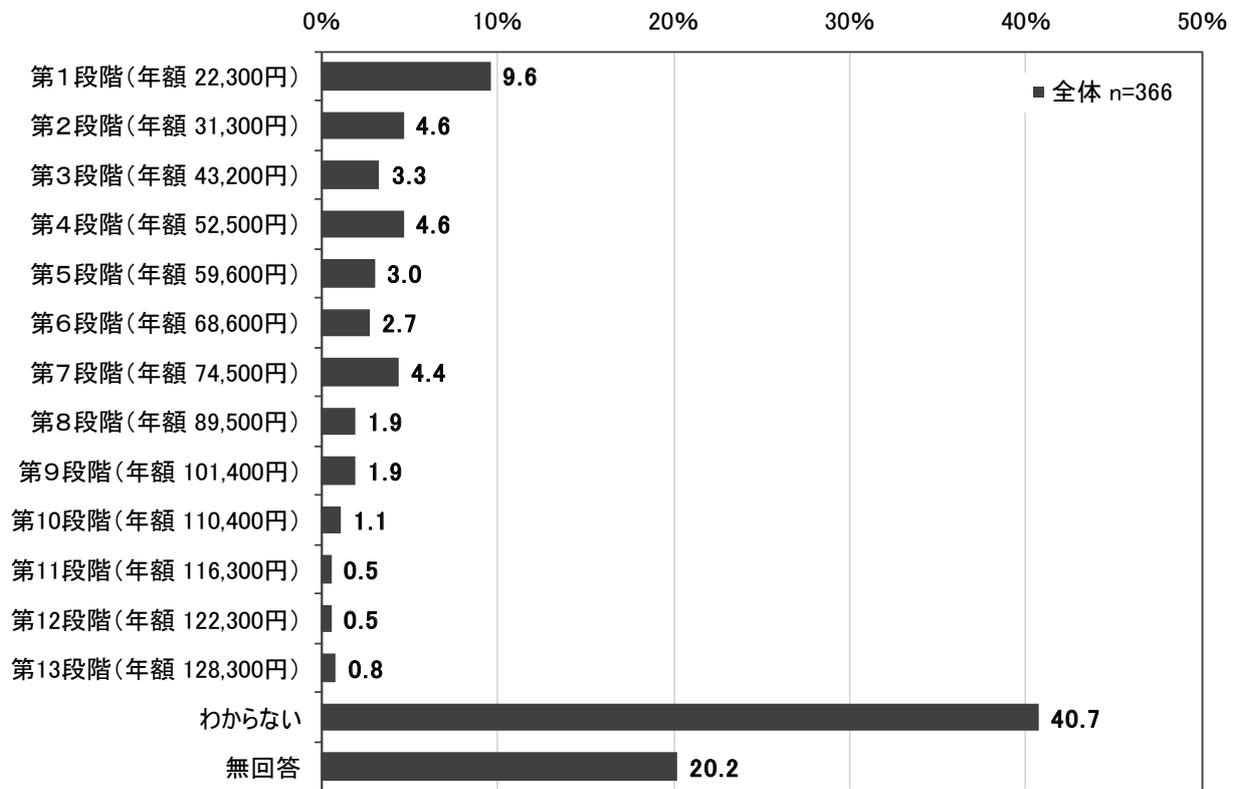
問 53. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 49.7%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 27.9%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 21.8 ポイント上回っています。



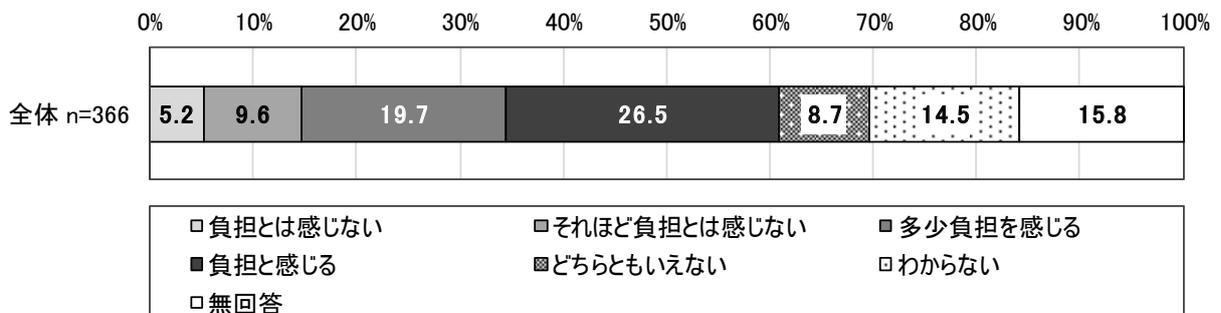
問 54. 介護保険料の段階を教えてください。(回答は1つ)

介護保険料の段階については、「わからない」が40.7%で最も高く、次いで「第1段階(年額 22,300円)」が9.6%、「第2段階(年額 31,300円)」「第4段階(年額 52,500円)」がともに4.6%となっています。



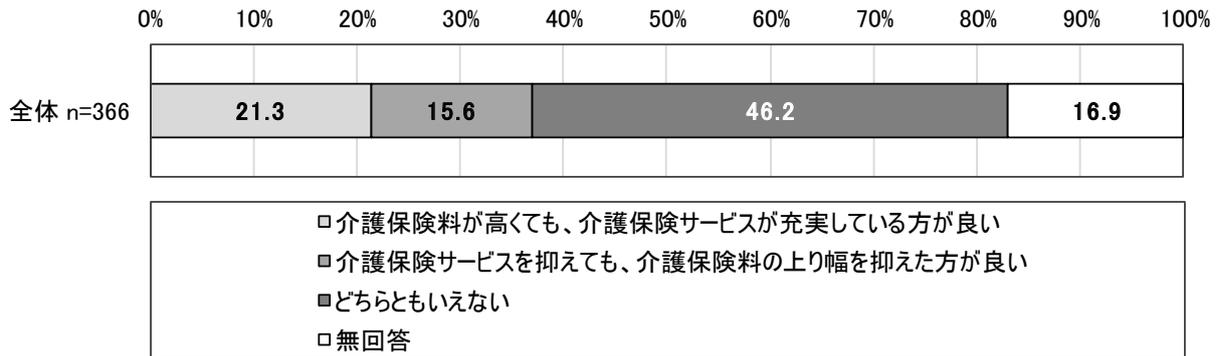
問 55. 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

介護保険料に対する負担感については、「負担と感じる」が26.5%で最も高く、次いで「多少負担を感じる」が19.7%、「わからない」が14.5%となっています。



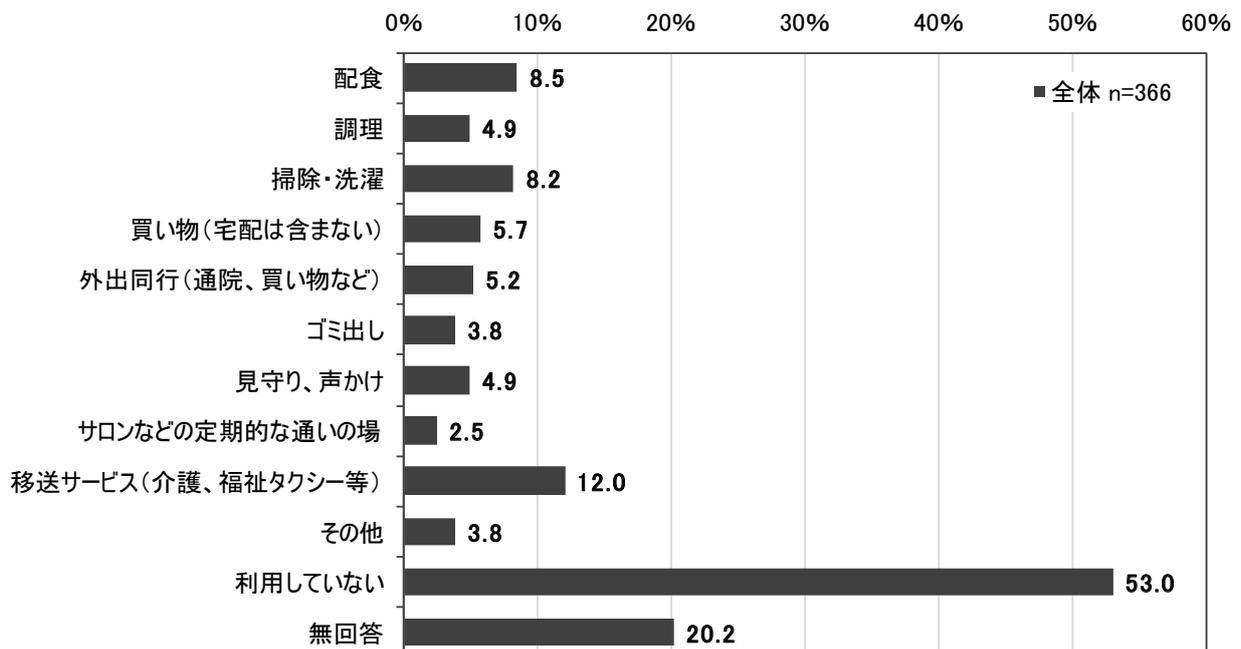
問 56. 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

介護保険サービスと介護保険料について、どのように考えているかについては、「どちらともいえない」が46.2%で最も高く、次いで「介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い」が21.3%、「介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い」が15.6%となっています。



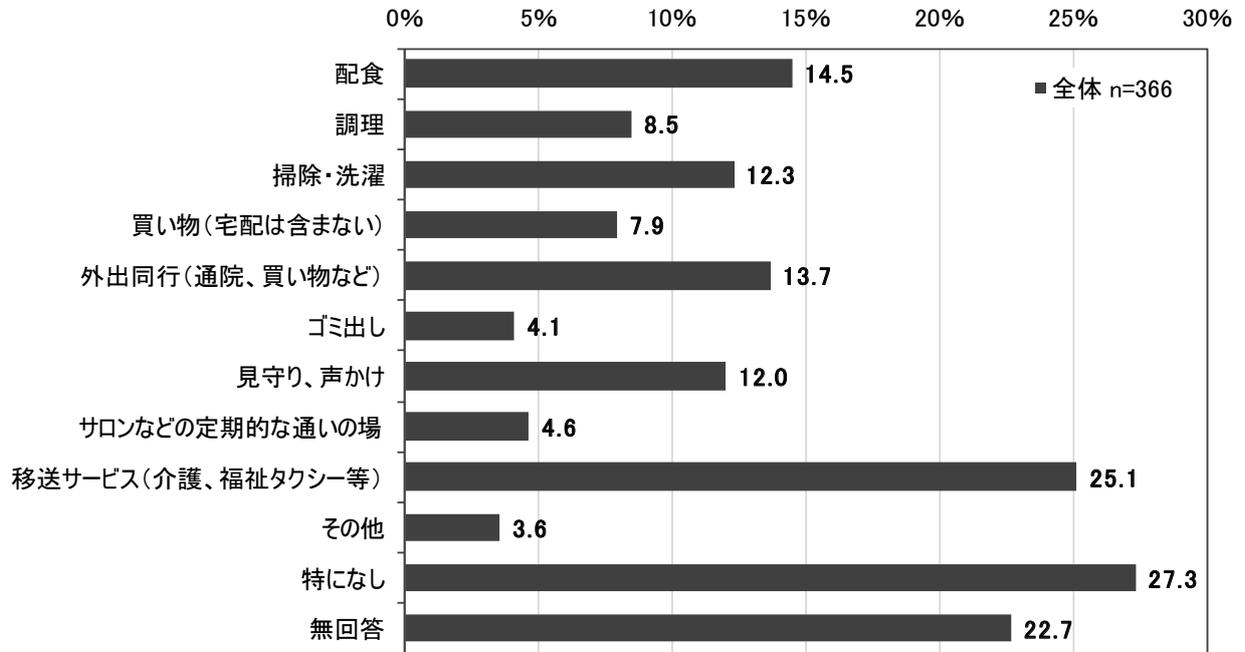
問 57. 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。(あてはまるものすべてに回答) ★

現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「利用していない」が53.0%で最も高く、次いで「移送サービス(介護、福祉タクシー等)」が12.0%、「配食」が8.5%となっています。



問 58. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてお答えください。（回答は3つまで） ★

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が27.3%で最も高く、次いで「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が25.1%、「配食」が14.5%となっています。

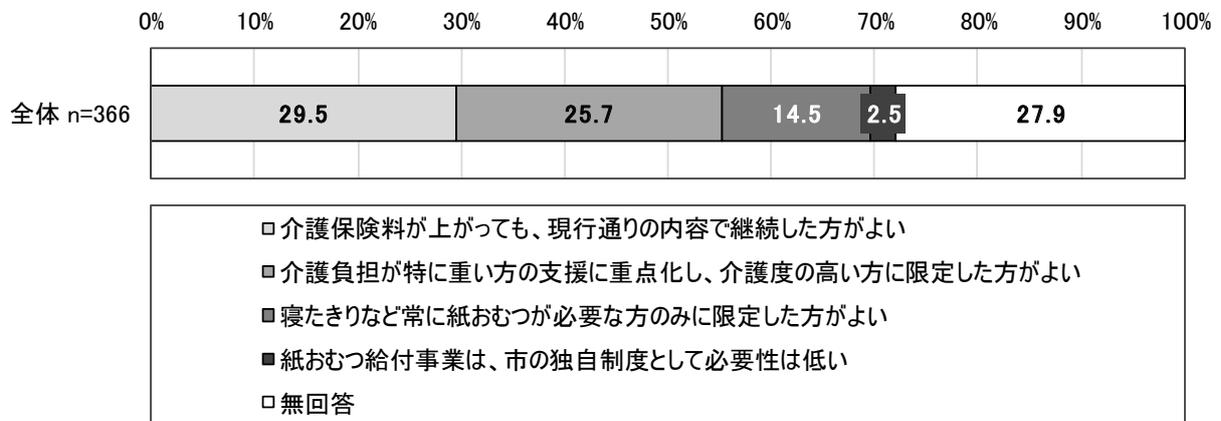


問 59. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者（介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方）については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。

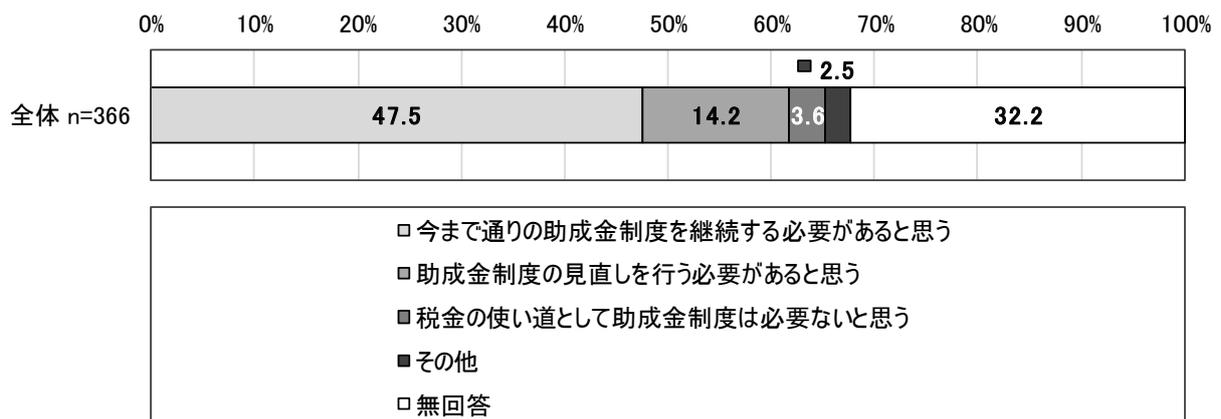
今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（回答は1つ）

紙おむつ給付事業の見直しを行う場合に、どのようなことに重点を置くべきだと思うかについては、「介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい」が29.5%で最も高く、次いで「介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい」が25.7%、「寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい」が14.5%となっています。



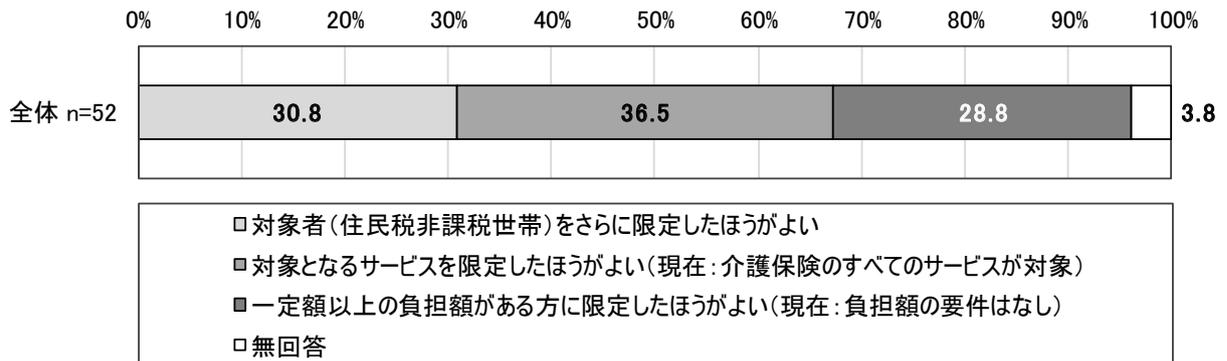
問 60. 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用している住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「低所得者助成金制度」を実施しています。これは市の財源から助成を行っておりますが、今後もこの助成金制度が必要だと思いますか。（回答は1つ）

低所得者助成金制度が今後も必要だと思うかについては、「今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う」が47.5%で最も高く、次いで「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」が14.2%、「税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う」が3.6%となっています。



**問 60-1. 【問 60 で「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」と回答した方におたずねします。】
 どのような観点から見直しが必要だと思いますか。（回答は1つ）**

低所得者助成金制度は、どのような観点から見直しが必要だと思うかについては、「対象となるサービスを限定したほうがよい」が 36.5%で最も高く、次いで「対象者（住民税非課税世帯）をさらに限定したほうがよい」が 30.8%、「一定額以上の負担額がある方に限定したほうがよい」が 28.8%となっています。



第2章 要介護高齢者 各機能の評価結果

1. 各機能の評価項目

本調査には、各機能の評価する設問が設けられており、回答結果をもとに、各機能の評価することができます。

①運動機能の評価

以下の5項目のうち、3項目以上に該当した場合、運動機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できない
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない
問10	15分位続けて歩いていますか。	できない
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある
問12	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である／やや不安である

②転倒リスクの評価

以下の項目に該当した場合、転倒リスクに高い傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある

③閉じこもりの評価

以下の項目に該当した場合、閉じこもりの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問13	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない／週1回

④認知機能の評価

以下の項目に該当した場合、認知機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問21	物忘れが多いと感じますか。	はい

⑤うつの評価

以下の2項目のうち、いずれかに該当した場合、うつの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問39	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい
問40	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい

⑥手段的自立度（IADL）の評価

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が5問設けられています。このうち、手段的自立度（IADL）については、各設問について「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した場合を1点とし、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 22	バスや電車を使って、1人で外出していますか。
問 23	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。
問 24	自分で食事の用意をしていますか。
問 25	自分で請求書の支払いをしていますか。
問 26	自分で預貯金の出し入れをしていますか。

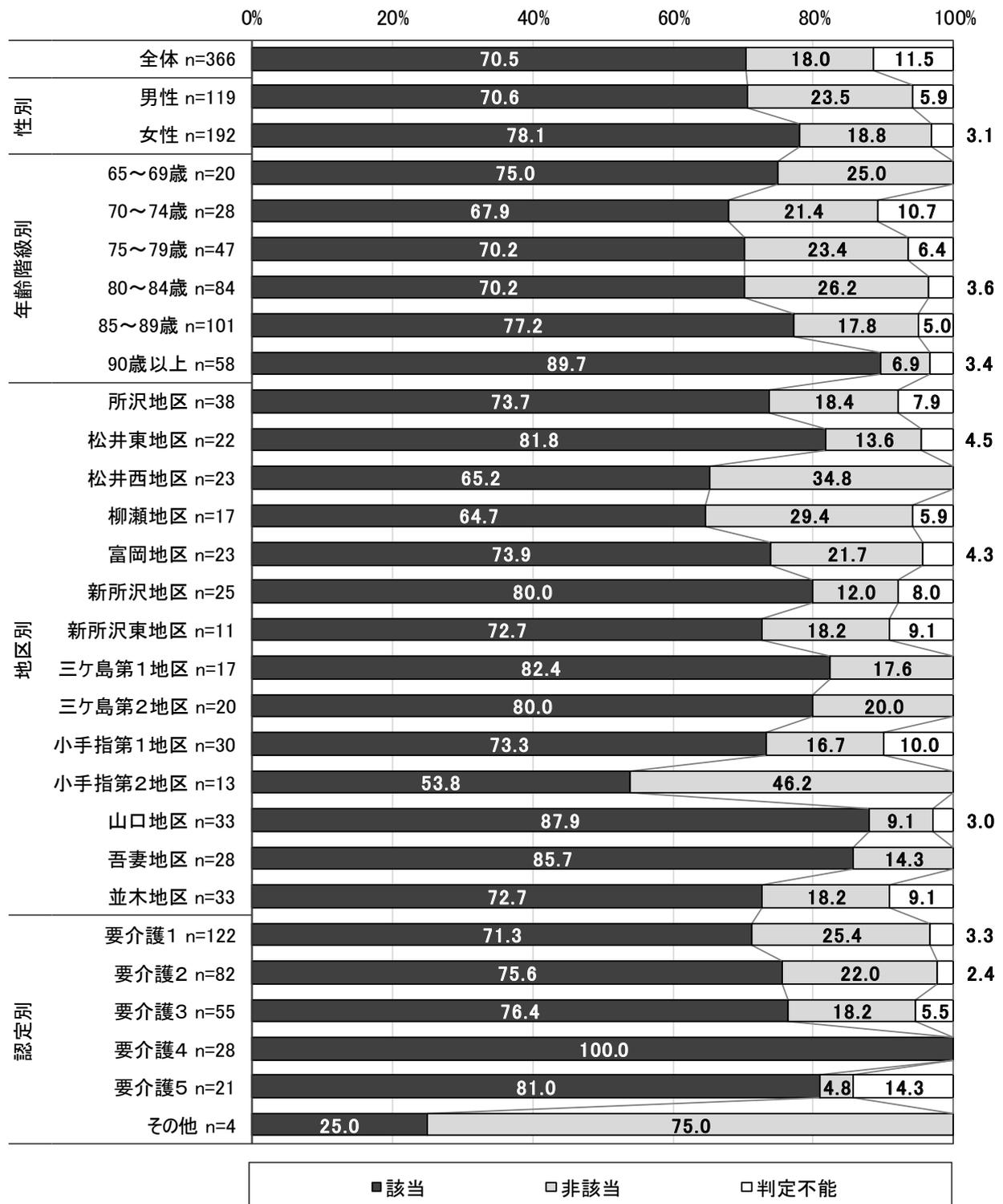
2. 各機能の評価結果

各機能の評価結果について、年齢階級別、地区別、認定別は、回答者数が少数のため、本文中では触れていません。

①運動機能の評価結果

運動機能についての結果をみると、運動機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で70.5%となっています。

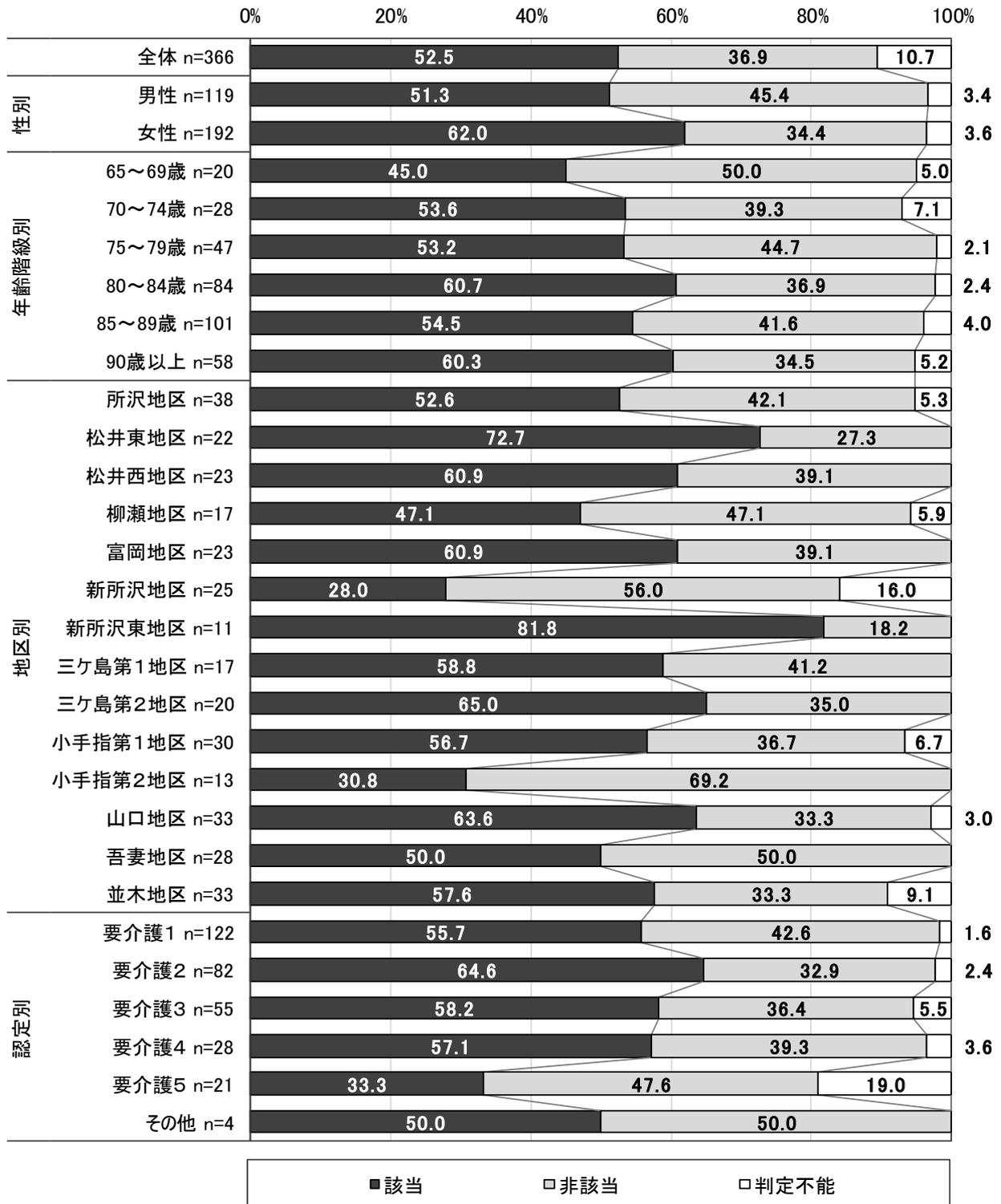
性別では、男性が70.6%、女性が78.1%で、女性が7.5ポイント上回っています。



②転倒リスクの評価結果

転倒リスクについての結果をみると、転倒リスクが高い傾向があると判定された方は、全体で52.5%となっています。

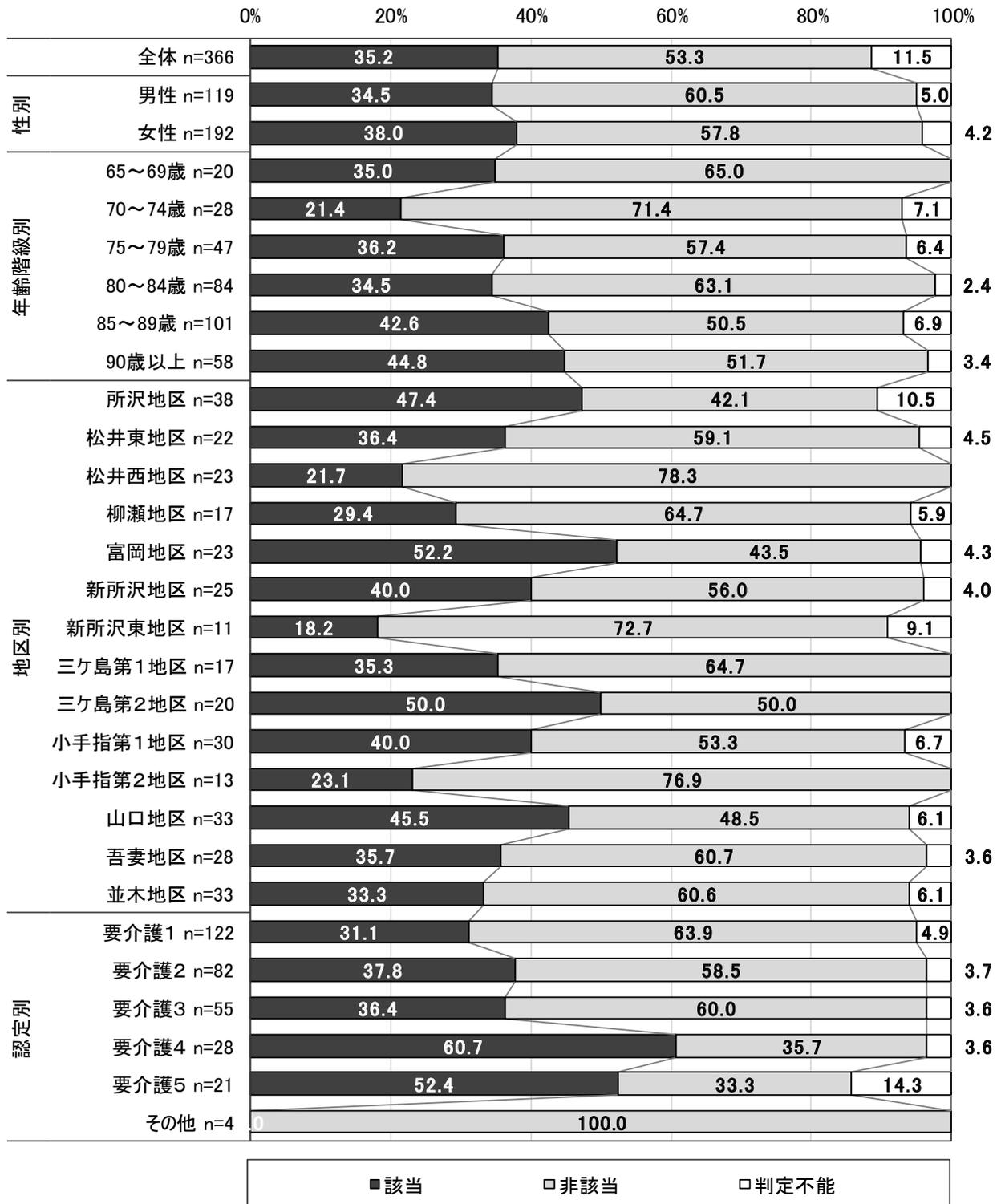
性別では、男性が51.3%、女性が62.0%で、女性が10.7ポイント上回っています。



③閉じこもりの評価結果

閉じこもりについての結果をみると、閉じこもりの傾向がみられると判定された方は、全体で35.2%となっています。

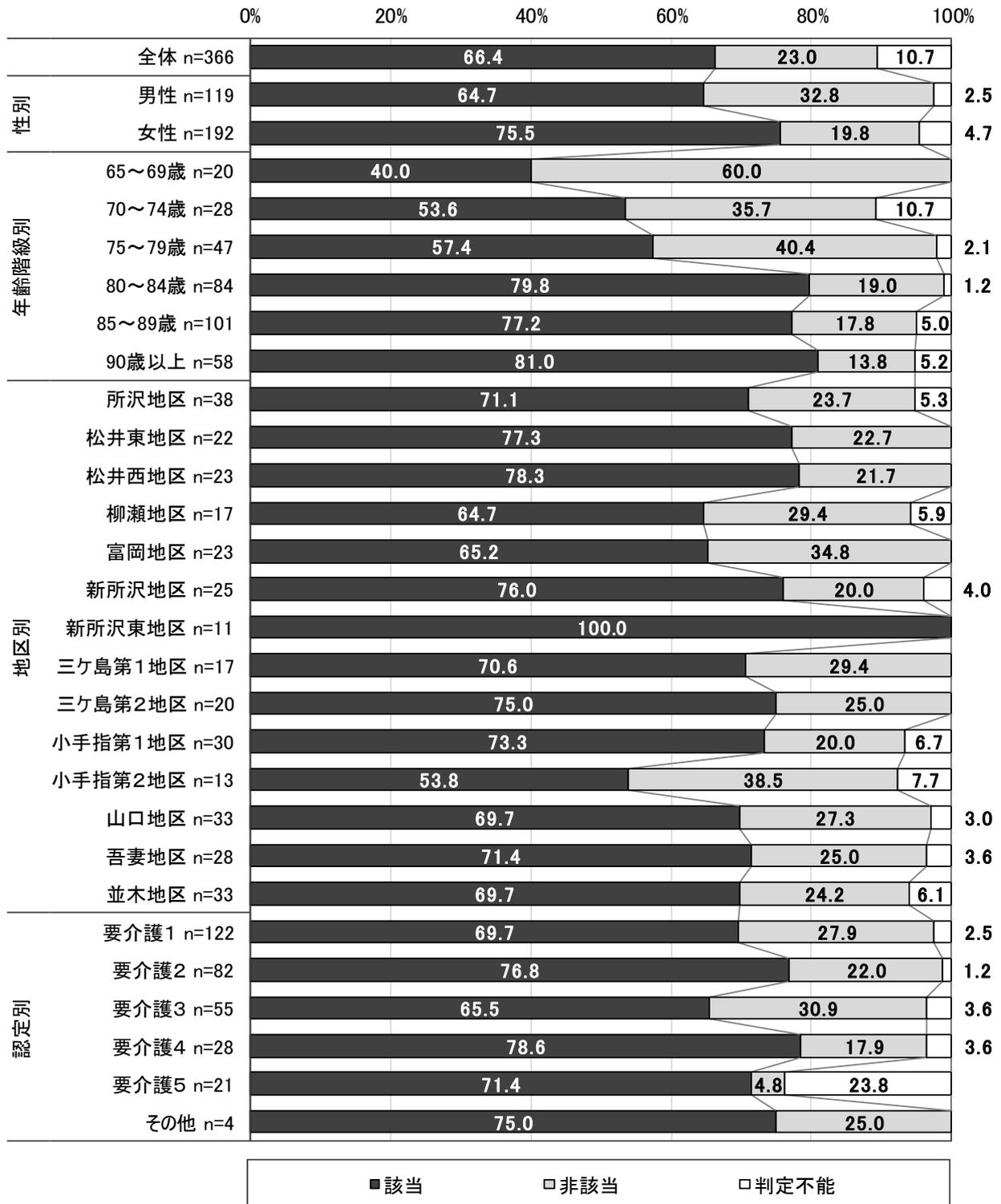
性別では、男性が34.5%、女性が38.0%で、女性が3.5ポイント上回っています。



④認知機能の評価結果

認知機能についての結果をみると、認知機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で66.4%となっています。

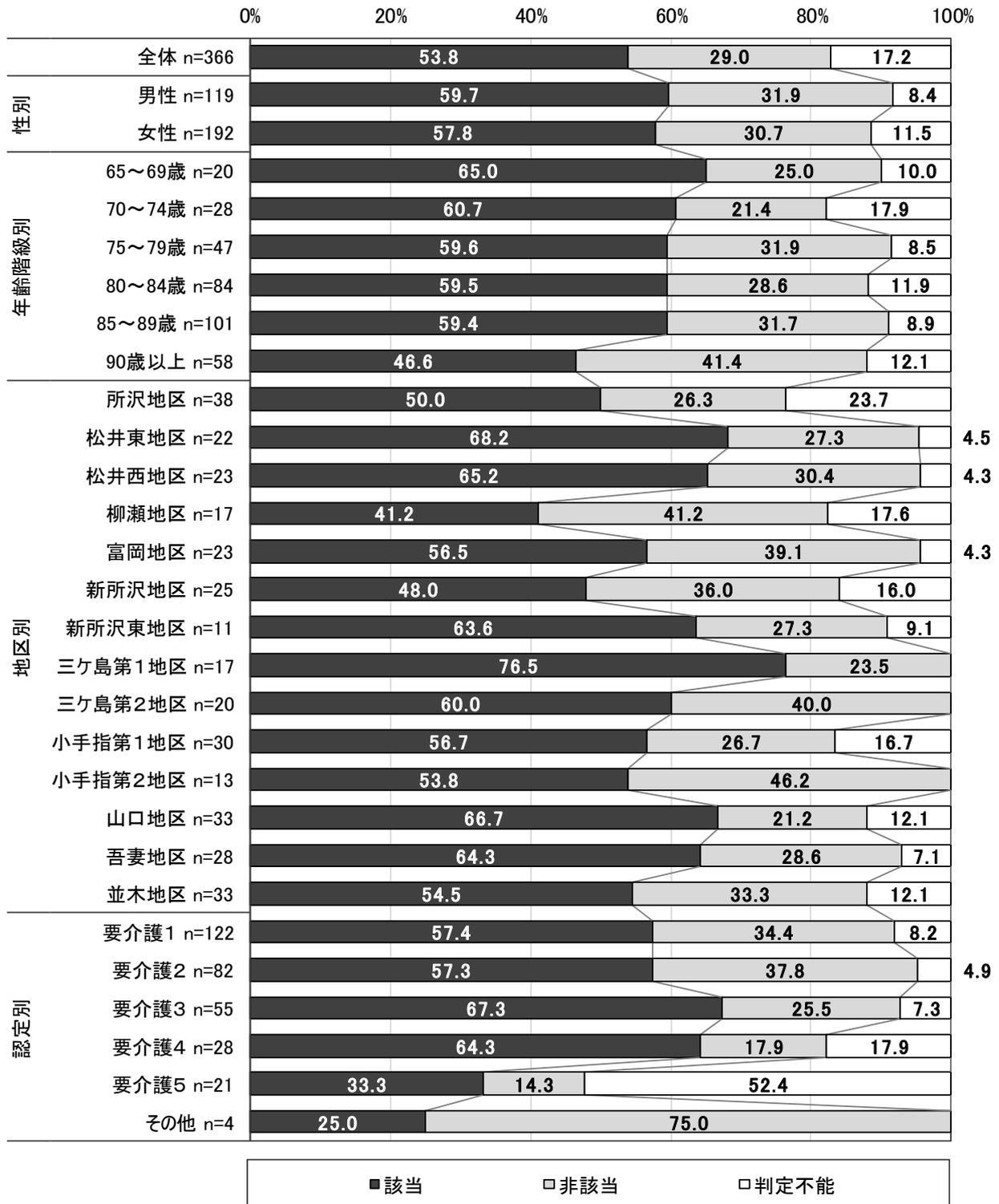
性別では、男性が64.7%、女性が75.5%で、女性が10.8ポイント上回っています。



⑤うつの評価結果

うつについての結果をみると、うつの傾向がみられると判定された方は、全体で53.8%となっています。

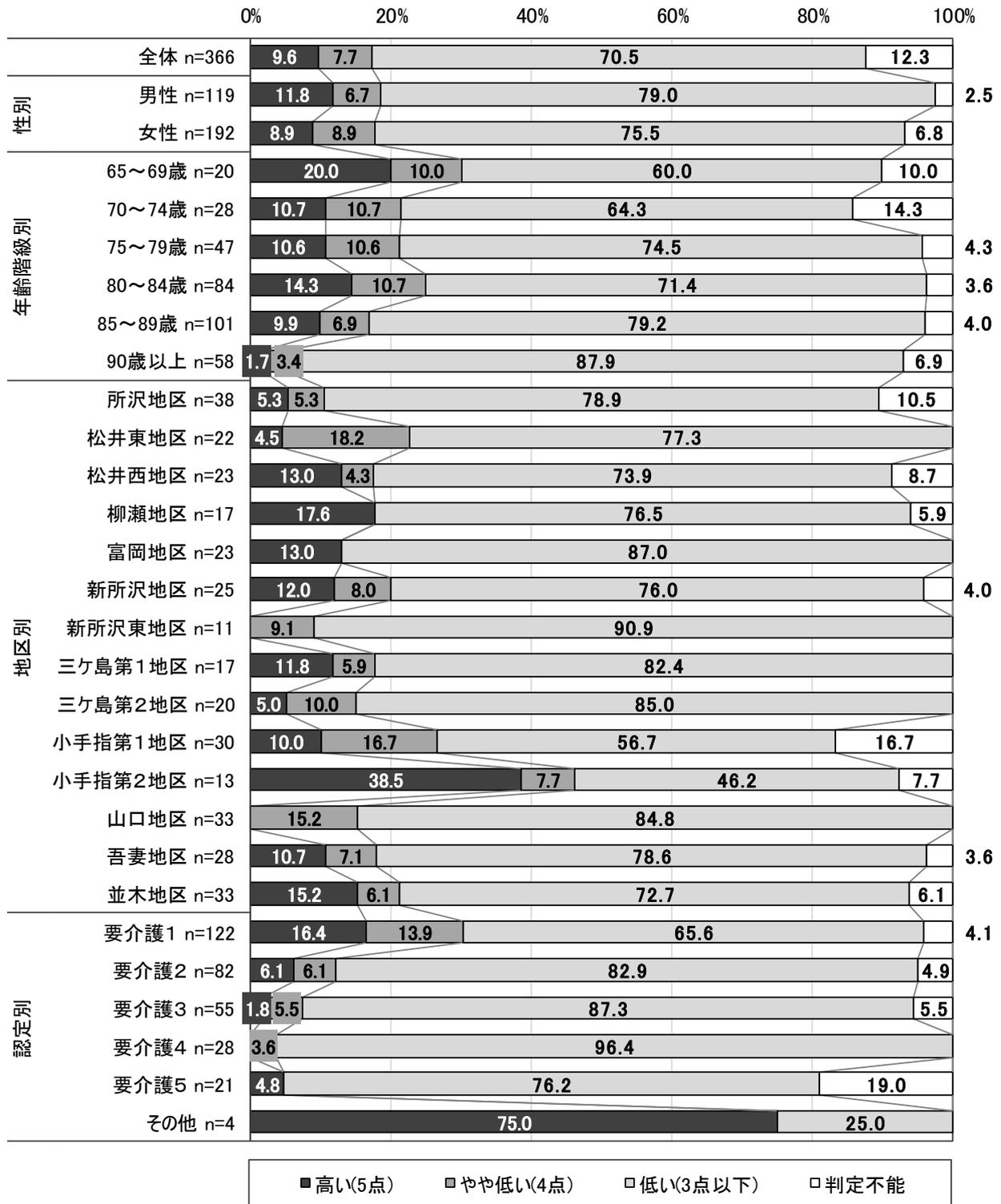
性別では、男性が59.7%、女性が57.8%で、男性が1.9ポイント上回っています。



⑥手段的自立度（IADL）の評価結果

手段的自立度（IADL）についてみると、手段的自立度が「高い」と判定された方は、全体で9.6%となっています。

性別では、男性が11.8%、女性が8.9%と、男性が2.9ポイント上回っています。



第3章 要介護高齢者 クロス集計でみる傾向

1. 地区別の傾向

①家族構成について

・問3 選択肢：1人暮らし

	1人暮らしの割合が高い傾向にある地区	1人暮らしの割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第2地区	山口地区
2位	新所沢東地区	柳瀬地区／三ヶ島第1地区
3位	小手指第1地区	富岡地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
18.4%	22.7%	13.0%	5.9%	8.7%	16.0%	27.3%	5.9%	20.0%	23.3%	30.8%	3.0%	17.9%	12.1%
6	4	9	12	11	8	2	12	5	3	1	14	7	10

②経済状況について

・問6 選択肢：大変苦しい／やや苦しい(合計値)

	経済状況で苦しいと感じている割合が高い傾向にある地区	経済状況で苦しいと感じている割合が低い傾向にある地区
1位	松井東地区	三ヶ島第1地区
2位	小手指第2地区	三ヶ島第2地区
3位	並木地区	松井西地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
42.2%	59.1%	26.0%	41.1%	39.1%	40.0%	45.5%	23.5%	25.0%	33.4%	53.8%	30.3%	35.7%	51.6%
5	1	12	6	8	7	4	14	13	10	2	11	9	3

③外出の状況について

・問 15 選択肢：はい（外出を控えている）

	外出を控えている割合が高い傾向にある地区	外出を控えている割合が低い傾向にある地区
1位	新所沢東地区	新所沢地区
2位	富岡地区	小手指第2地区
3位	所沢地区	吾妻地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
60.5%	54.5%	52.2%	52.9%	65.2%	40.0%	72.7%	58.8%	55.0%	53.3%	46.2%	57.6%	50.0%	51.5%
3	7	10	9	2	14	1	4	6	8	13	5	12	11

④外出時の移動手段について

・移動手段別の上位3位（黒の塗りつぶし／白抜き文字）

単位：%

	所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n 値	38	22	23	17	23	25	11	17	20	30	13	33	28	33
徒歩	21.1	13.6	30.4	41.2	21.7	24.0	36.4	23.5	45.0	26.7	61.5	24.2	17.9	36.4
自転車	2.6	4.5	0.0	5.9	0.0	4.0	0.0	5.9	5.0	6.7	15.4	3.0	0.0	0.0
バイク	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自動車(自分で運転)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.0
自動車(人に乗せてもらう)	44.7	54.5	73.9	41.2	82.6	44.0	45.5	76.5	60.0	43.3	53.8	63.6	46.4	45.5
電車	7.9	9.1	8.7	11.8	4.3	8.0	0.0	0.0	15.0	10.0	30.8	12.1	3.6	12.1
路線バス	5.3	9.1	8.7	23.5	8.7	4.0	0.0	0.0	5.0	10.0	23.1	12.1	14.3	21.2
病院や施設のバス	18.4	18.2	13.0	47.1	21.7	44.0	36.4	47.1	25.0	13.3	23.1	15.2	25.0	39.4
車いす	21.1	18.2	4.3	23.5	8.7	28.0	18.2	11.8	20.0	23.3	23.1	18.2	25.0	18.2
電動車いす(カート)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0
歩行器・シルバーカー	13.2	13.6	30.4	5.9	13.0	8.0	18.2	11.8	10.0	13.3	7.7	9.1	14.3	12.1
タクシー	23.7	40.9	26.1	23.5	30.4	20.0	18.2	35.3	30.0	20.0	23.1	51.5	32.1	42.4
その他	5.3	9.1	0.0	5.9	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	3.3	0.0	3.0	7.1	3.0
無回答	13.2	4.5	0.0	5.9	8.7	8.0	0.0	0.0	5.0	20.0	0.0	3.0	7.1	9.1

※「バイク」「自動車(自分で運転)」「電動車いす(カート)」「その他」については、割合が低いため地区別順位の色付けはしていません。

⑤地域との関係に対する考え方

・問 32 選択肢：かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい

	自分なりに生活していきたいと考える割合が 高い傾向にある地区	自分なりに生活していきたいと考える割合が 低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第1地区	
2位	新所沢地区	
3位	柳瀬地区	

(構成比/地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
5.3%	4.5%	13.0%	23.5%	8.7%	24.0%	0.0%	29.4%	15.0%	16.7%	0.0%	21.2%	10.7%	9.1%
11	12	7	3	10	2	13	1	6	5	13	4	8	9

⑥健康状態について

・問 37 選択肢：あまりよくない/よくない(合計値)

	健康状態がよくないと感じている割合が 高い傾向にある地区	健康状態がよくないと感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第1地区	新所沢地区
2位	山口地区	富岡地区
3位	並木地区	柳瀬地区

(構成比/地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
36.8%	54.5%	52.2%	35.3%	34.8%	32.0%	54.6%	64.7%	50.0%	50.0%	38.5%	60.6%	42.9%	57.6%
11	5	6	12	13	14	4	1	7	7	10	2	9	3

⑦幸福感について

・問 38 選択肢：8点／9点／10点（合計値）

	幸福感を感じている割合が 高い傾向にある地区	幸福感を感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	松井西地区	小手指第2地区
2位	松井東地区	新所沢地区
3位	吾妻地区	富岡地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
31.6%	40.9%	47.7%	29.5%	17.3%	16.0%	27.3%	29.4%	25.0%	30.0%	15.4%	18.1%	32.1%	24.3%
4	2	1	6	12	13	8	7	9	5	14	11	3	10

⑧運動機能について

・運動機能に低下の傾向がみられる割合

	運動機能に低下の傾向がみられる割合が 高い傾向にある地区	運動機能に低下の傾向がみられる割合が 低い傾向にある地区
1位	山口地区	小手指第2地区
2位	吾妻地区	柳瀬地区
3位	三ヶ島第1地区	松井西地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
73.7%	81.8%	65.2%	64.7%	73.9%	80.0%	72.7%	82.4%	80.0%	73.3%	53.8%	87.9%	85.7%	72.7%
8	4	12	13	7	5	10	3	5	9	14	1	2	10

⑨手段的自立度（IADL）について

・手段的自立度（IADL）が高い割合

	手段的自立度（IADL）の高い割合が高い傾向にある地区	手段的自立度（IADL）の高い割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第2地区	新所沢東地区／山口地区
2位	柳瀬地区	松井東地区
3位	並木地区	三ヶ島第2地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
5.3%	4.5%	13.0%	17.6%	13.0%	12.0%	0.0%	11.8%	5.0%	10.0%	38.5%	0.0%	10.7%	15.2%
10	12	4	2	4	6	13	7	11	9	1	13	8	3

2. 個別クロス集計の結果

①外出頻度×外出する際の移動手段

外出頻度による外出する際の移動手段については、外出頻度が多いほど、「徒歩」の割合が高い傾向にあります。

また、ほとんど外出しない、週1回では、「タクシー」の割合が、他の区分に比べて高い傾向にあります。

	ほとんど外出しない n=90	週1回 n=39	週2～4回 n=147	週5回以上 n=48
徒歩	14.4%	25.6%	28.6%	62.5%
自転車	1.1%	2.6%	2.7%	10.4%
バイク	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(自分で運転)	0.0%	0.0%	1.4%	2.1%
自動車(人に乗せてもらう)	47.8%	66.7%	60.5%	52.1%
電車	5.6%	7.7%	9.5%	22.9%
路線バス	3.3%	7.7%	12.9%	25.0%
病院や施設のバス	16.7%	28.2%	32.0%	25.0%
車いす	31.1%	15.4%	16.3%	10.4%
電動車いす(カート)	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	8.9%	17.9%	16.3%	6.3%
タクシー	35.6%	35.9%	29.9%	18.8%
その他	3.3%	2.6%	3.4%	4.2%
無回答	13.3%	2.6%	3.4%	0.0%

②主な外出先×外出する際の移動手段

主な外出先への移動手段について回答者が多い項目をみると、「買い物をする場所」では、『自動車（人に乗せてもらう）』が61.9%で最も高く、次いで『徒歩』が58.3%、『タクシー』が29.8%となっています。

「病院、診療所」では、『自動車（人に乗せてもらう）』が63.9%で最も高く、次いで『徒歩』が36.1%、『病院や施設のバス』が35.2%となっています。

「デイサービスなどの通所施設」では、『自動車（人に乗せてもらう）』が59.8%で最も高く、次いで『病院や施設のバス』が36.0%、『タクシー』が26.8%となっています。

	買い物をする場所 n=84	会合・サークル活動・学習のための施設 n=5	体操等、地域の通いの場 n=8	病院、診療所 n=108	飲食店 n=21	公園、遊歩道 n=20
徒歩	58.3%	60.0%	50.0%	36.1%	57.1%	70.0%
自転車	9.5%	20.0%	12.5%	3.7%	4.8%	5.0%
バイク	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車（自分で運転）	3.6%	0.0%	0.0%	1.9%	9.5%	0.0%
自動車（人に乗せてもらう）	61.9%	100.0%	75.0%	63.9%	57.1%	75.0%
電車	25.0%	20.0%	50.0%	15.7%	14.3%	15.0%
路線バス	26.2%	40.0%	37.5%	21.3%	19.0%	20.0%
病院や施設のバス	22.6%	60.0%	0.0%	35.2%	9.5%	25.0%
車いす	7.1%	0.0%	0.0%	13.0%	23.8%	10.0%
電動車いす（カート）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	15.5%	0.0%	0.0%	14.8%	0.0%	15.0%
タクシー	29.8%	60.0%	25.0%	34.3%	23.8%	25.0%
その他	2.4%	0.0%	12.5%	1.9%	0.0%	0.0%
無回答	1.2%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%

	家族・親戚や友人・知人の家 n=14	文化・娯楽施設 n=1	行楽地、観光地 n=1	スポーツ施設 n=1	宗教的な施設・場所 n=3
徒歩	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
自転車	7.1%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
バイク	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(自分で運転)	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(人に乗せてもらう)	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
電車	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
路線バス	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
病院や施設のバス	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
車いす	14.3%	0.0%	100.0%	0.0%	33.3%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
タクシー	28.6%	100.0%	100.0%	0.0%	33.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	農園 n=2	職場 n=1	入浴施設 n=2	デイサービスな どの通所施設 n=164	その他 n=13
徒歩	50.0%	0.0%	0.0%	26.2%	53.8%
自転車	0.0%	0.0%	50.0%	3.7%	0.0%
バイク	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(自分で運転)	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
自動車(人に乗せてもらう)	100.0%	0.0%	0.0%	59.8%	76.9%
電車	50.0%	100.0%	0.0%	7.3%	7.7%
路線バス	50.0%	0.0%	0.0%	9.1%	7.7%
病院や施設のバス	50.0%	0.0%	50.0%	36.0%	23.1%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	17.1%	15.4%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.0%	0.0%	0.0%	17.1%	0.0%
タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	26.8%	30.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	7.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%

③生活機能総合評価／介護度×地域活動へ参加者として参加する意向

生活機能総合評価による地域活動への参加意向については、生活機能総合評価が高い方は、地域活動へ参加者として「参加してもよい」の割合が高い傾向にあります。

また、生活機能総合評価の低い方は、地域活動へ参加者として「参加したくない」の割合が高い傾向にあります。

介護度別にみると、すべての介護度において地域活動へ参加者として「参加したくない」が5割を超え、要介護1から要介護3では「参加してもよい」が2割を超えています。

	高い n=35	やや低い n=28	低い n=258	判定不能 n=45
是非参加したい	0.0%	3.6%	1.6%	2.2%
参加してもよい	57.1%	25.0%	19.8%	2.2%
参加したくない	34.3%	53.6%	62.0%	8.9%
既に参加している	2.9%	7.1%	1.6%	2.2%
無回答	5.7%	10.7%	15.1%	84.4%

	要介護1 n=122	要介護2 n=82	要介護3 n=55	要介護4 n=28	要介護5 n=21	その他 n=4
是非参加したい	0.8%	3.7%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
参加してもよい	24.6%	20.7%	25.5%	7.1%	9.5%	100.0%
参加したくない	60.7%	61.0%	50.9%	67.9%	57.1%	0.0%
既に参加している	2.5%	0.0%	1.8%	7.1%	0.0%	0.0%
無回答	11.5%	14.6%	18.2%	17.9%	33.3%	0.0%

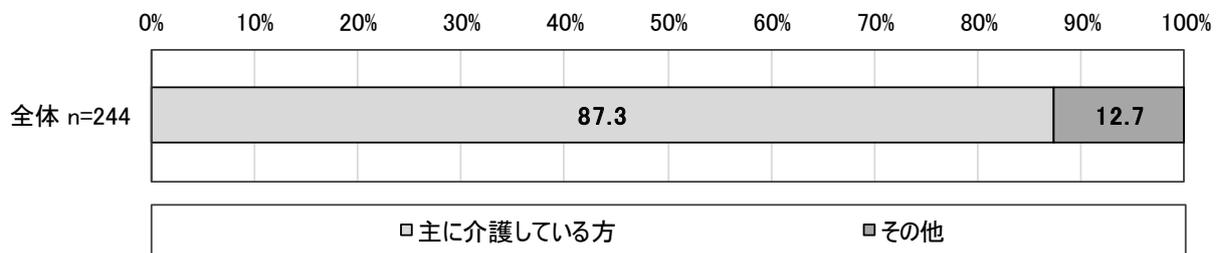
第4章 要介護高齢者(介護者) 調査結果

本調査は、調査対象者を介護している方の生活状況などを把握するために設けられた調査項目となります。

調査結果については、各設問にご回答いただいた方を母数として構成比を算出しています。

1. 調査票を記入される方について

調査票を記入される方については、「主に介護している方」が87.3%、「その他」が12.7%となっています。



2. 介護をしている方について

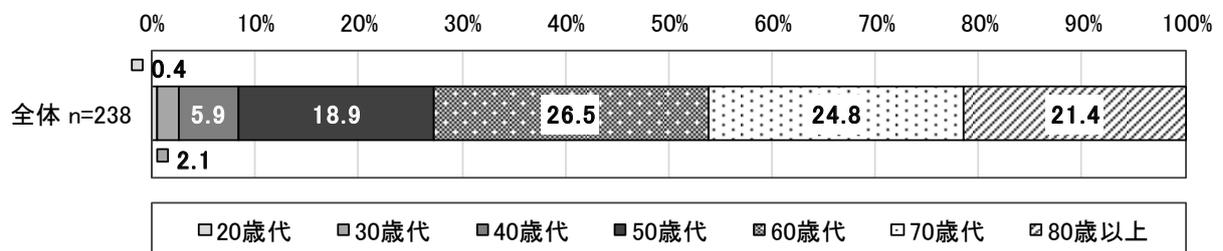
「2. 介護をしている方について」は、回答者の属性、介護の期間、介護者の要介護認定状況を把握するための項目となっています。

問1. 以下は主に介護をしている方についてお答えください。(令和2年1月1日現在) ★

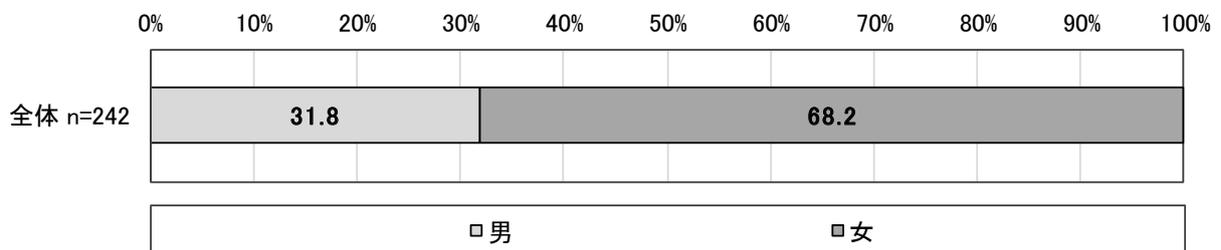
年齢については、「60歳代」が26.5%で最も高く、次いで「70歳代」が24.8%、「80歳以上」が21.4%となっています。

性別については、「男」が31.8%、「女」が68.2%となっています。

【年齢】

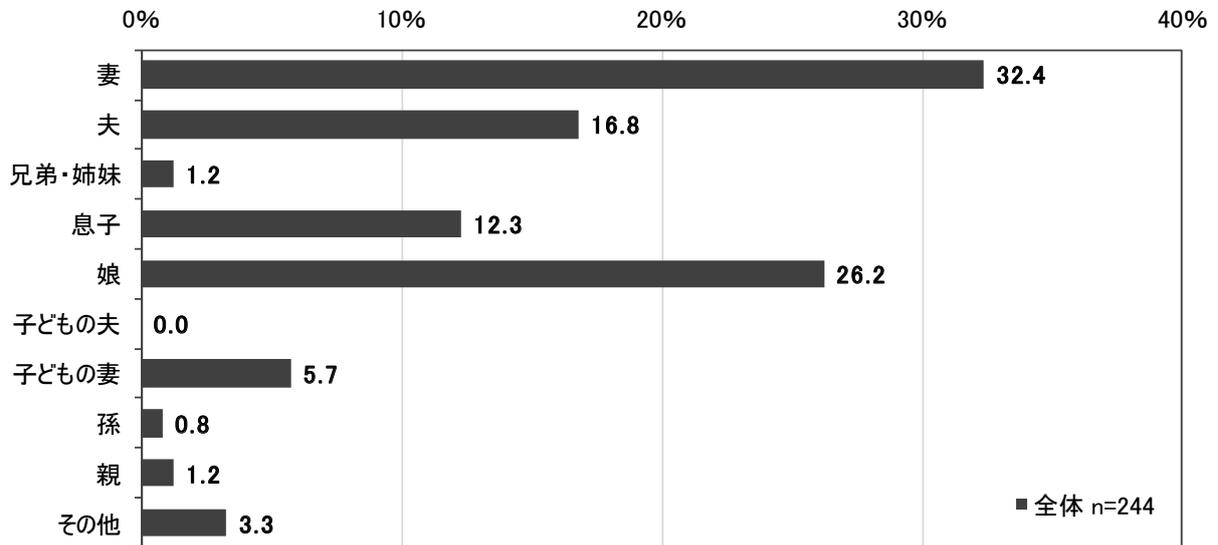


【性別】



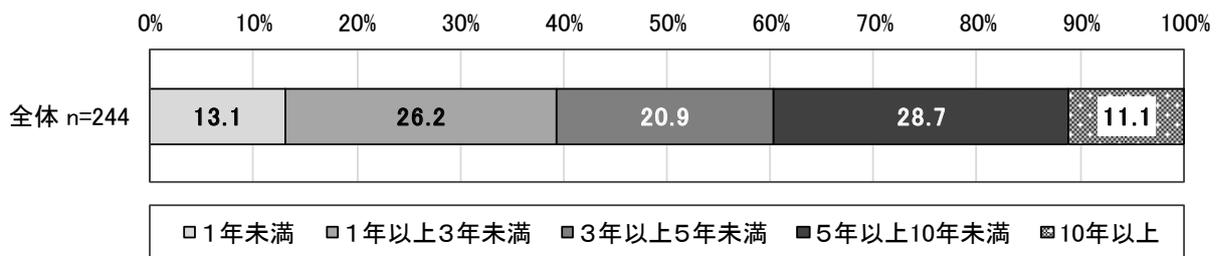
問2. 介護を受けている方からみたあなたの続柄をお答えください。(回答は1つ)

介護を受けている方からみたあなたの続柄については、「妻」が32.4%で最も高く、次いで「娘」が26.2%、「夫」が16.8%となっています。



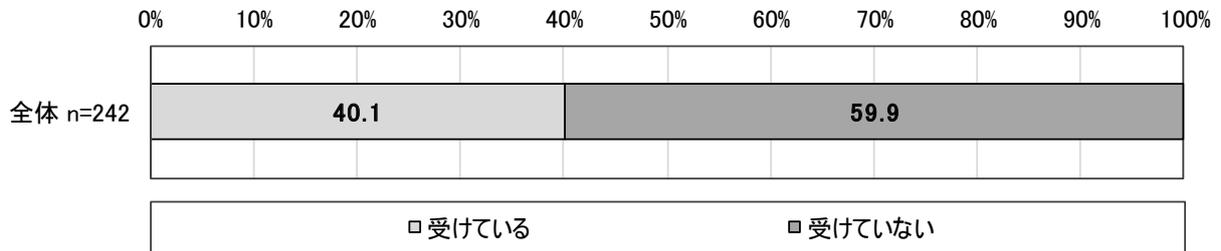
問3. どのくらいの期間、介護をしていますか。(回答は1つ)

介護をしている期間については、「5年以上10年未満」が28.7%で最も高く、次いで「1年以上3年未満」が26.2%、「3年以上5年未満」が20.9%となっています。



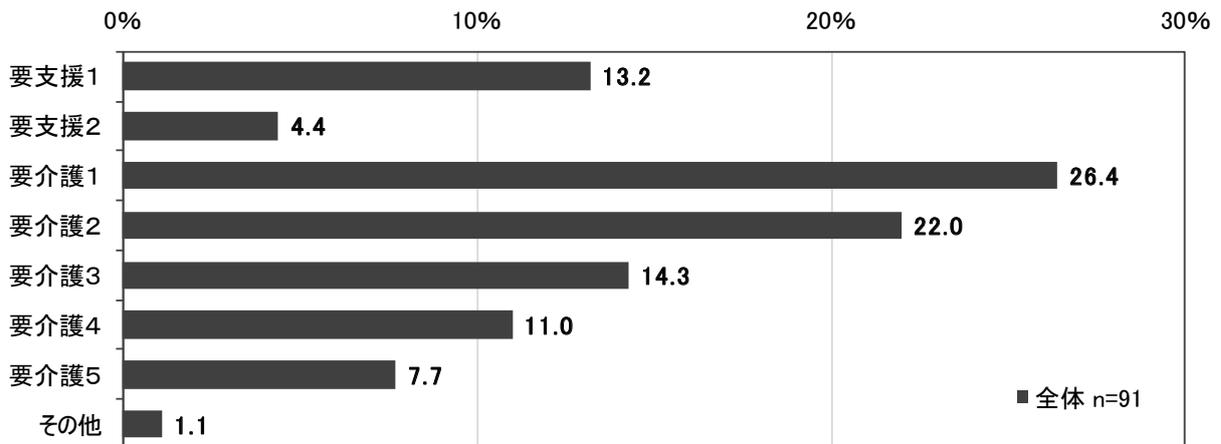
問4. あなた（介護している方）は、要介護認定を受けていますか。（回答は1つ）

介護認定の状況については、「受けている」が40.1%、「受けていない」が59.9%で、「受けていない」が19.8ポイント上回っています。



**問4-1. 【問4で「受けている」と回答した方におたずねします。】
あなた（介護している方）の要介護度についてお答えください。（回答は1つ）**

要介護度については、「要介護1」が26.4%で最も高く、次いで「要介護2」が22.0%、「要介護3」が14.3%となっています。

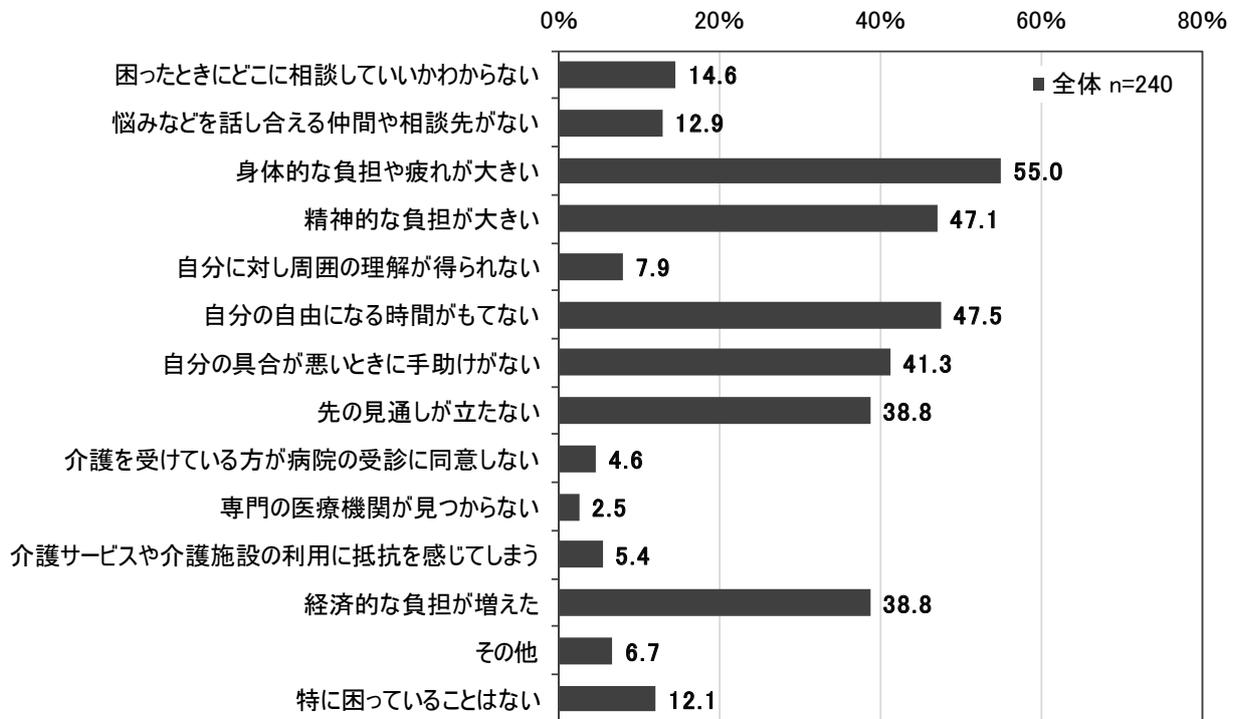


3. 主に介護している方の生活状況について

「3. 主に介護している方の生活状況について」は、介護をするうえで困っていること、介護に対する相談相手、今後の生活で心配なこと、現在の生活を継続するうえで不安に感じることに、介護への負担感、介護を行ううえでの必要な支援、家族会への参加状況等を把握するための項目となっています。

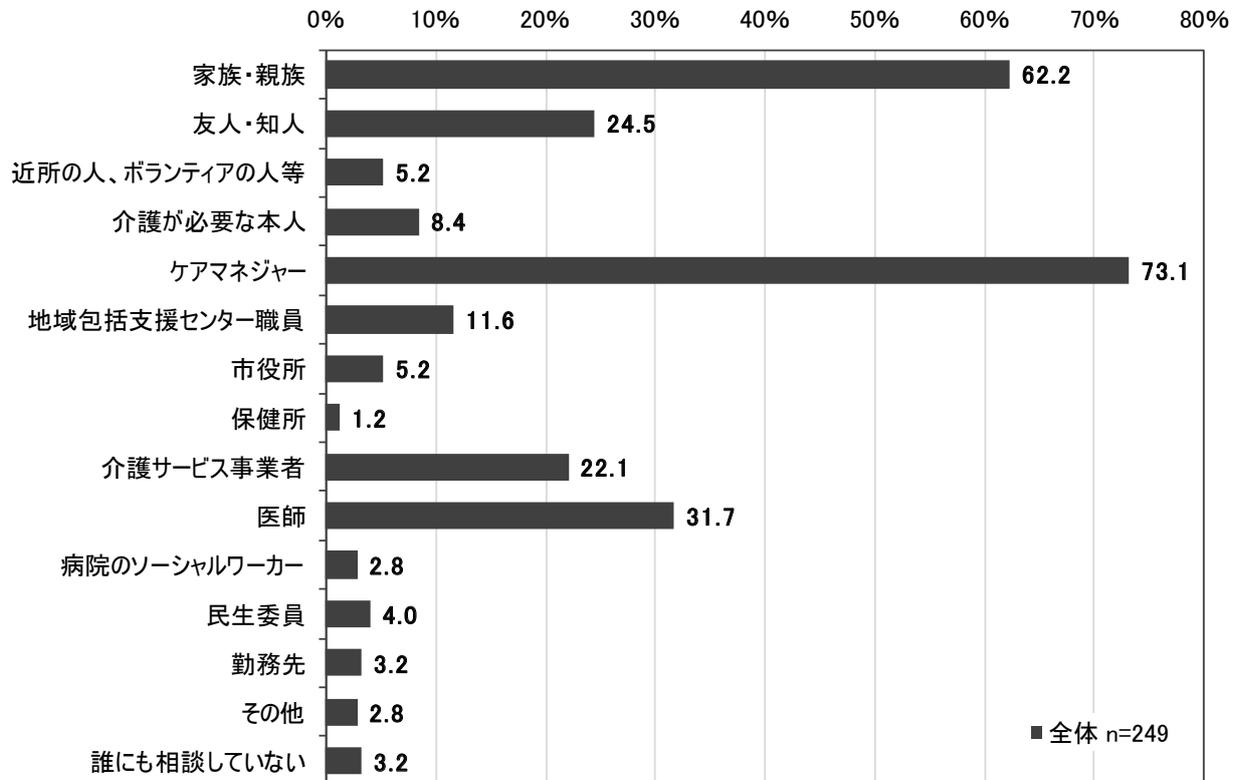
問5. 介護をするうえで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護をするうえで困っていることについては、「身体的な負担や疲れが大きい」が 55.0%で最も高く、次いで「自分の自由になる時間がもてない」が 47.5%、「精神的な負担が大きい」が 47.1%となっています。



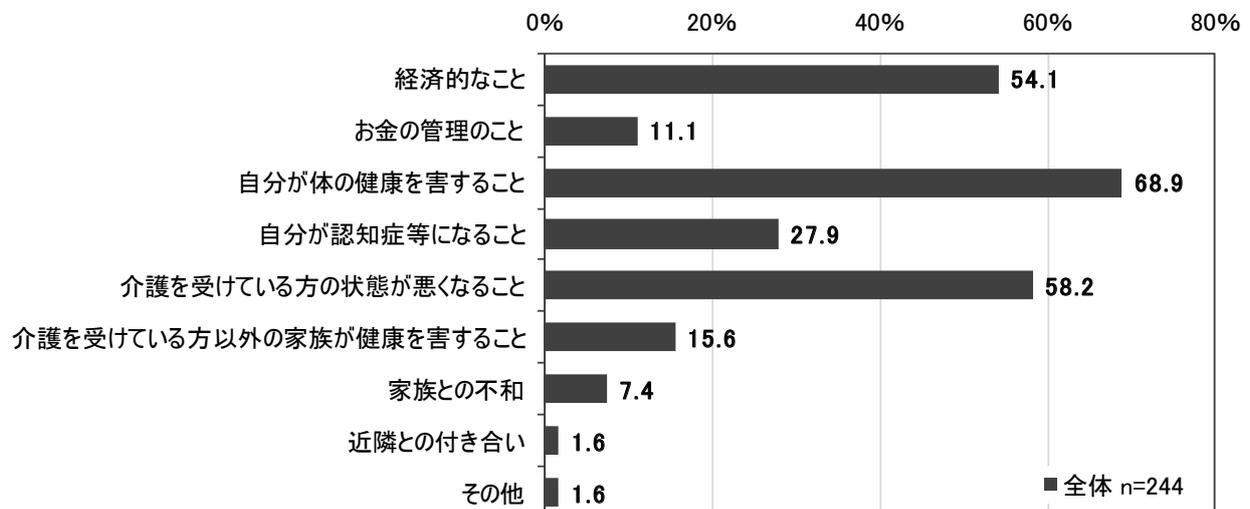
問6. あなたは、介護について誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護の相談相手については、「ケアマネジャー」が73.1%で最も高く、次いで「家族・親族」が62.2%、「医師」が31.7%となっています。



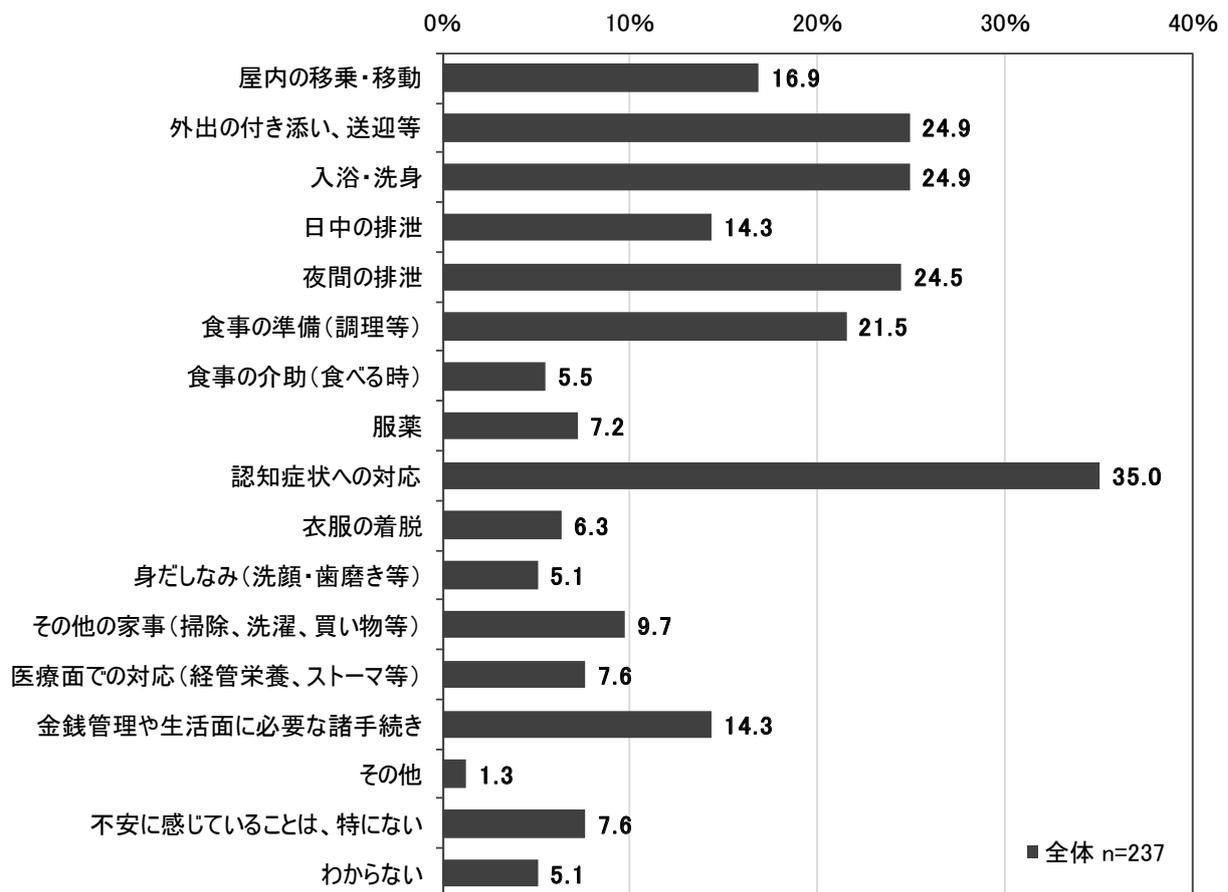
問7. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分が体の健康を害すること」が68.9%で最も高く、次いで「介護を受けている方の状態が悪くなること」が58.2%、「経済的なこと」が54.1%となっています。



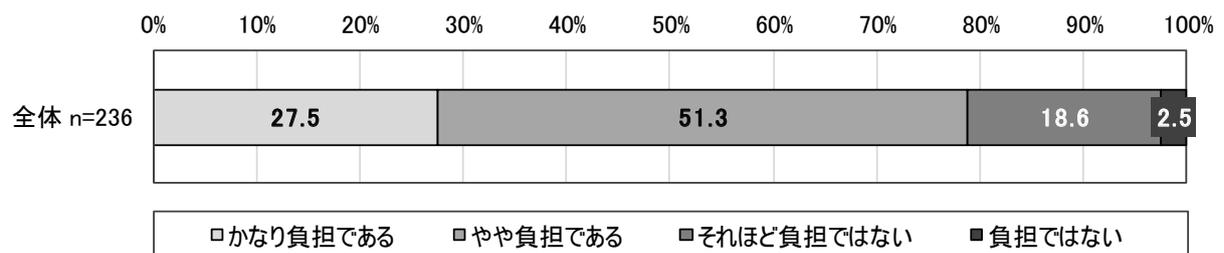
問8. 現在の生活を継続していくにあたって、不安を感じる介護等についてお答えください。
 (回答は3つまで) ★

現在の生活を継続していくうえで、不安を感じる介護等については、「認知症状への対応」が35.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」がともに24.9%、「夜間の排泄」が24.5%となっています。



問9. あなたが感じている介護の負担感はどの程度ですか。(回答は1つ)

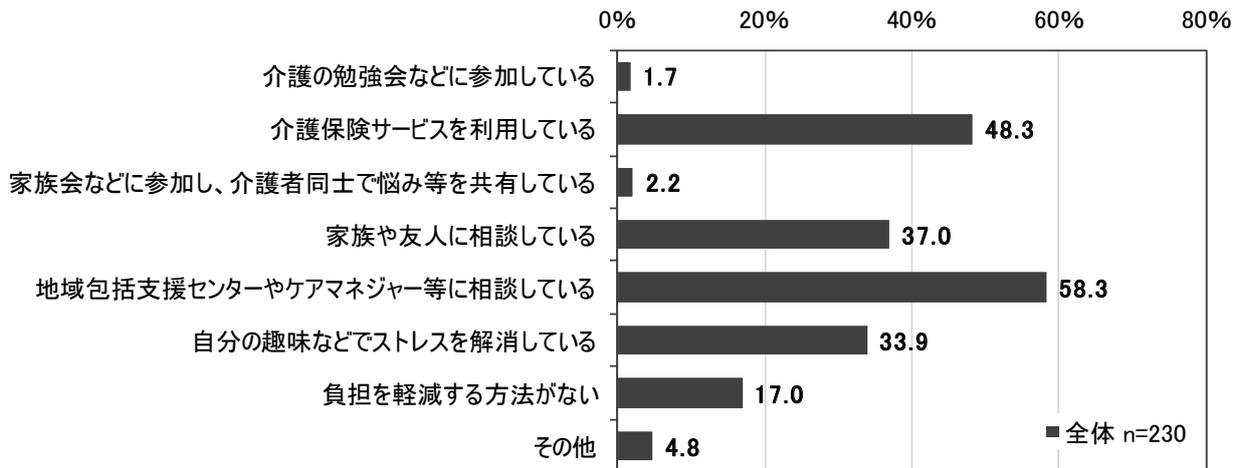
介護の負担感については、「やや負担である」が51.3%で最も高く、次いで「かなり負担である」が27.5%、「それほど負担ではない」が18.6%となっています。



問9-1.【問9で「かなり負担である」、「やや負担である」、「それほど負担ではない」と回答した方におたずねします。】

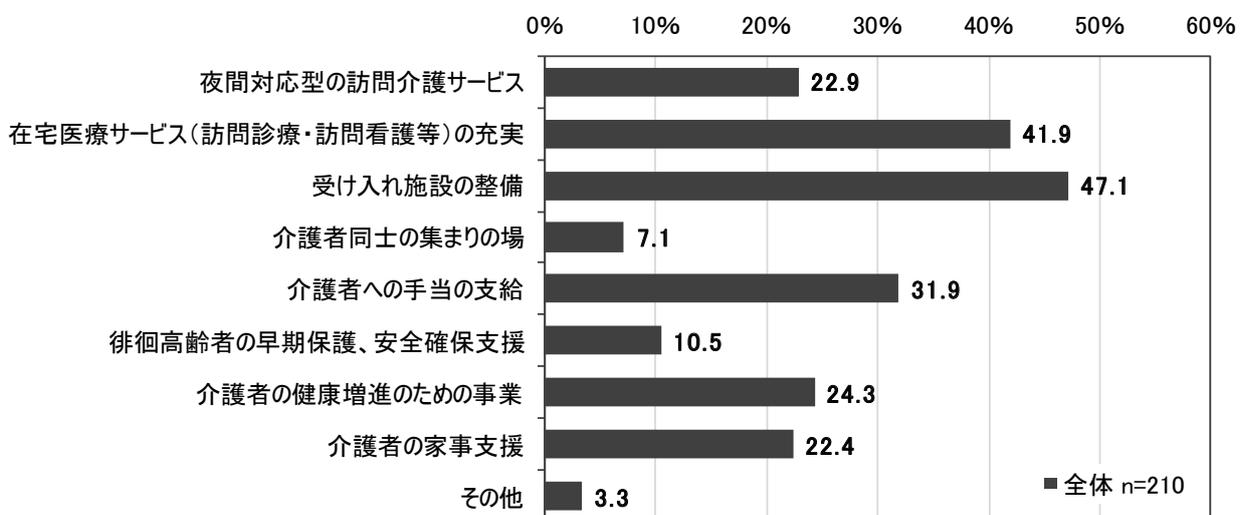
介護の負担を軽減するために、普段どのようなことをされていますか。
(あてはまるものすべてに回答)

介護の負担を軽減するための取組については、「地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している」が58.3%で最も高く、次いで「介護保険サービスを利用している」が48.3%、「家族や友人に相談している」が37.0%となっています。



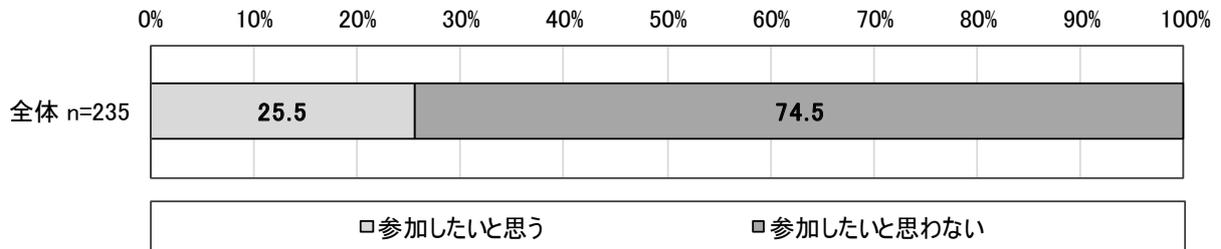
問10. 介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思いますか。(回答は3つまで)

介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思うかについては、「受け入れ施設の整備」が47.1%で最も高く、次いで「在宅医療サービス（訪問診療・訪問看護等）の充実」が41.9%、「介護者への手当の支給」が31.9%となっています。



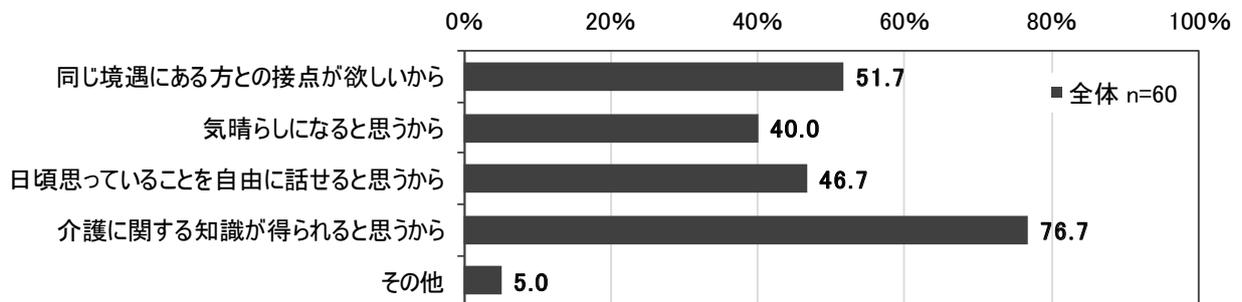
問 11. 家族会など（介護者の集いや認知症カフェなど）、同じ立場の人たちの集まりに参加したいと思いますか。（回答は1つ）

家族会などへの参加意向については、「参加したいと思う」が 25.5%、「参加したいと思わない」が 74.5%で、「参加したいと思わない」が 49.0 ポイント上回っています。



**問 11-1. 【問 11 で「参加したいと思う」と回答した方におたずねします。】
参加したいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答）**

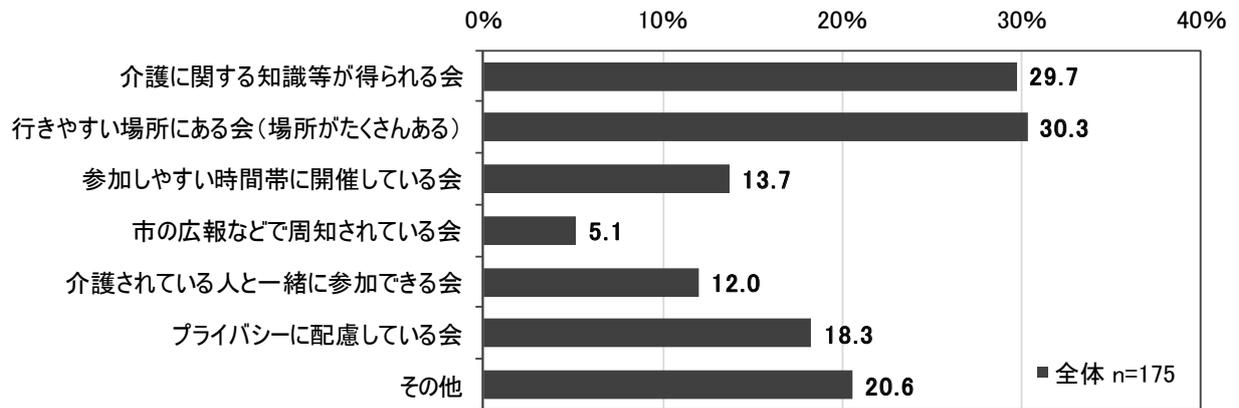
参加したいと思う理由については、「介護に関する知識が得られると思うから」が 76.7%で最も高く、次いで「同じ境遇にある方との接点が欲しいから」が 51.7%、「日頃思っていることを自由に話せると思うから」が 46.7%となっています。



問 11-2.【問 11 で「参加したいと思わない」と回答した方におたずねします。】

どのような会であれば参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに回答)

どのような会であれば参加したいと思うかについては、「行きやすい場所にある会（場所がたくさんある）」が 30.3%で最も高く、次いで「介護に関する知識等が得られる会」が 29.7%、「その他」が 20.6%となっています。

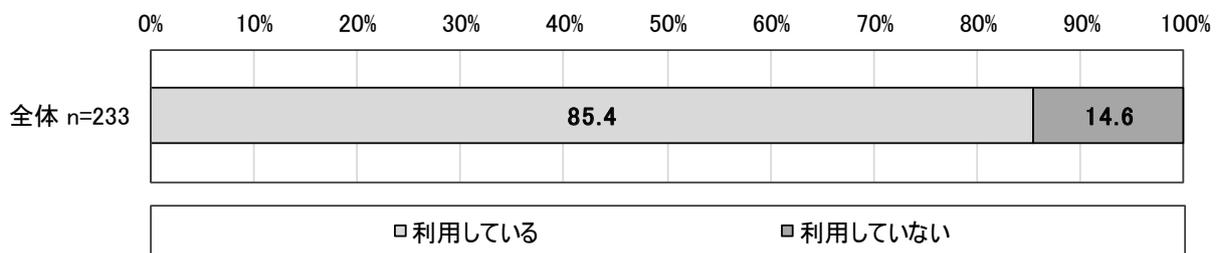


4. 介護保険サービスについて

「4. 介護保険サービスについて」は、介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスを利用した結果による状況、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス、今後の介護に対する考え方、終末期に対する考え方を把握するための項目となっています。

問 12. 介護を受けている方は、介護保険サービスを利用していますか。(回答は1つ) ★

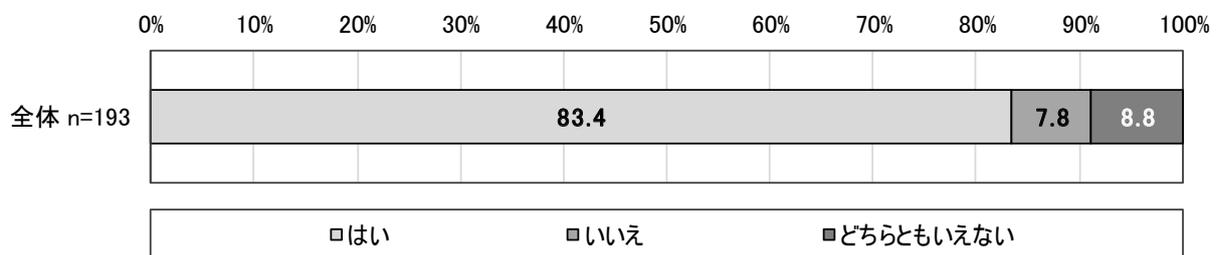
介護を受けている方の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が85.4%、「利用していない」が14.6%で、「利用している」が70.8ポイント上回っています。



問 12-1. 【問 12で「利用している」と回答した方におたずねします。】 介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。 (回答はそれぞれの項目で1つ)

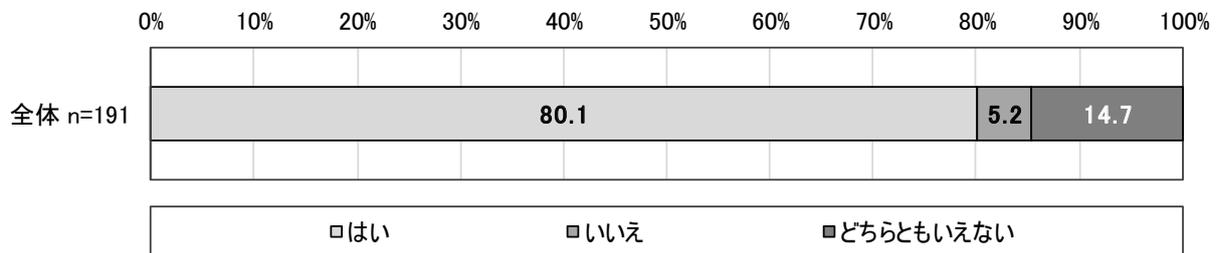
①サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか

サービス事業者や施設を選択できることを知っているかについては、「はい」が83.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が8.8%、「いいえ」が7.8%となっています。



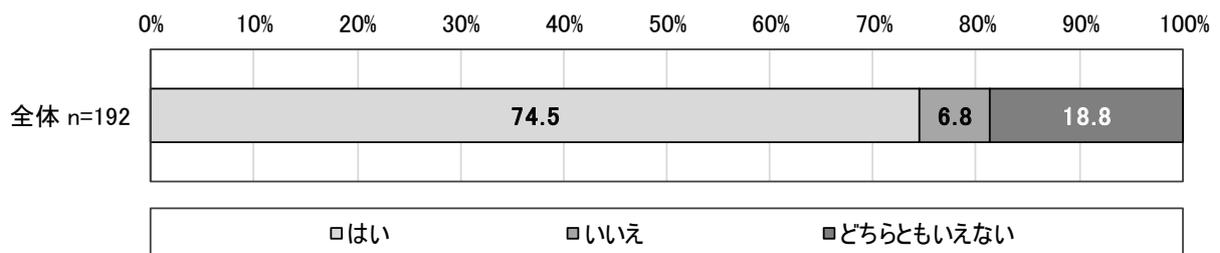
②介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思うかについては、「はい」が80.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が14.7%、「いいえ」が5.2%となっています。



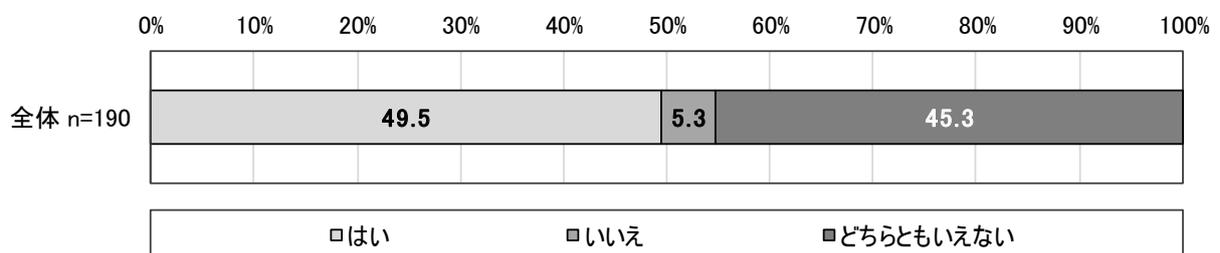
③介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思うかについては、「はい」が74.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が18.8%、「いいえ」が6.8%となっています。



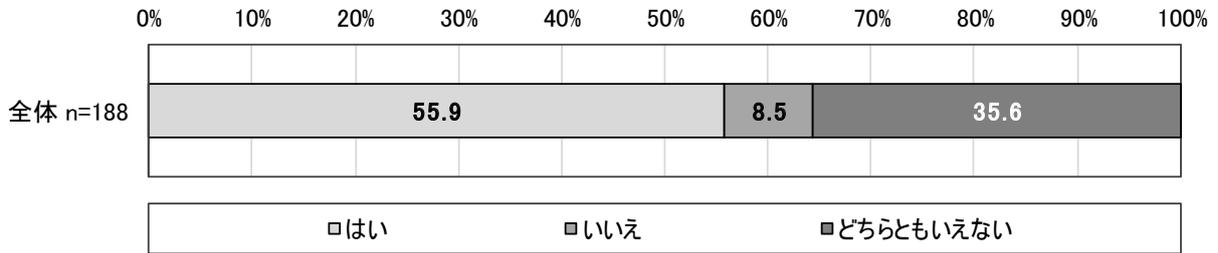
④介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善しましたか

介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善したかについては、「はい」が49.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が45.3%、「いいえ」が5.3%となっています。



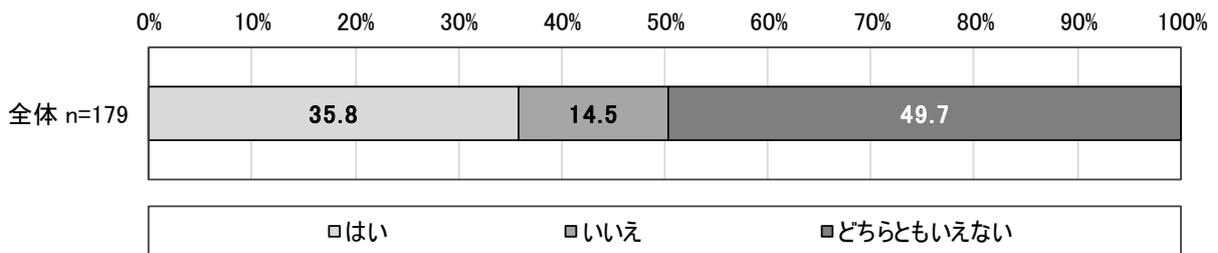
⑤介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減りましたか

介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減ったかについては、「はい」が55.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.6%、「いいえ」が8.5%となっています。



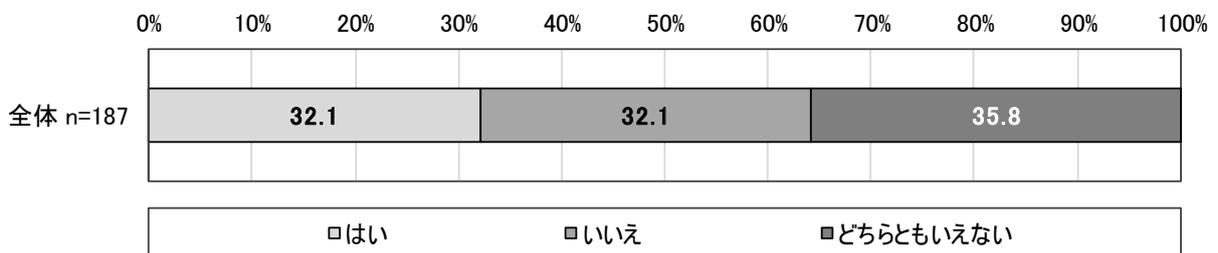
⑥仕事や家事と両立できるようになったと思いますか

仕事や家事と両立できるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が49.7%で最も高く、次いで「はい」が35.8%、「いいえ」が14.5%となっています。



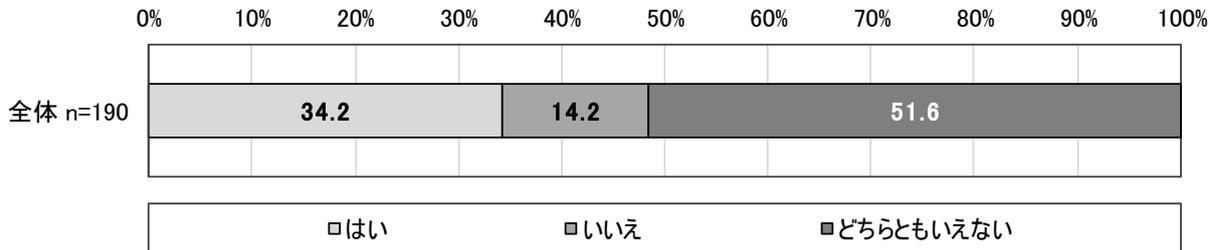
⑦外出する機会が増えたと思いますか

外出する機会が増えたと思うかについては、「どちらともいえない」が35.8%で最も高く、次いで「はい」「いいえ」がともに32.1%となっています。



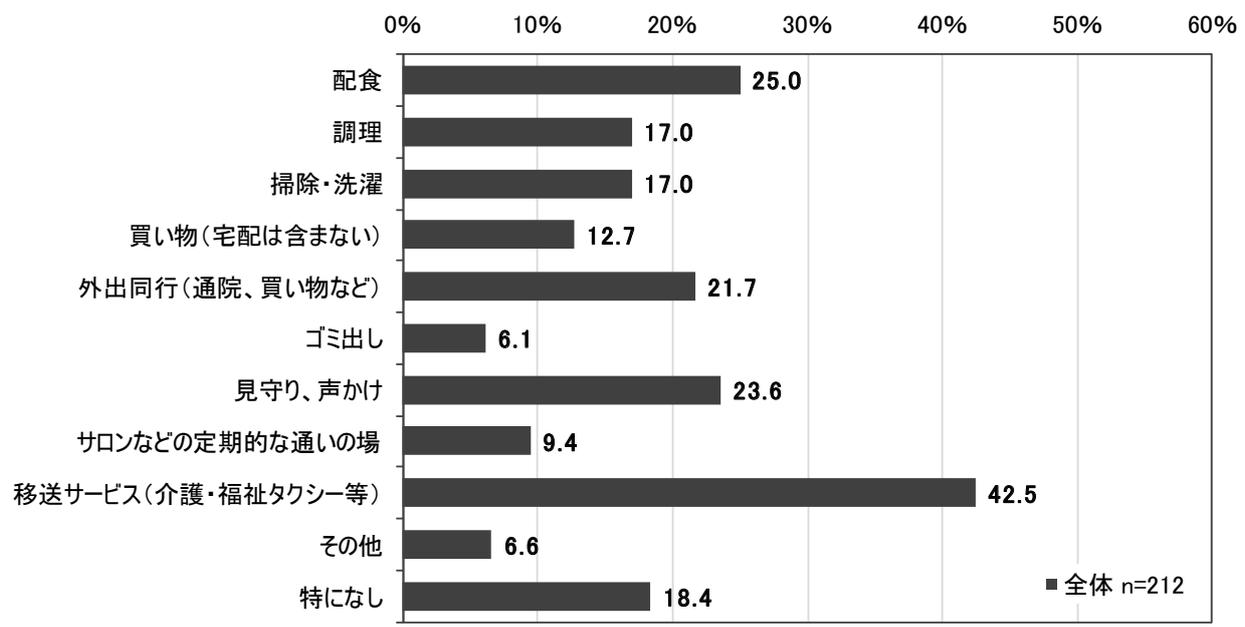
⑧介護の方法がわかるようになったと思いますか

介護の方法がわかるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が51.6%で最も高く、次いで「はい」が34.2%、「いいえ」が14.2%となっています。



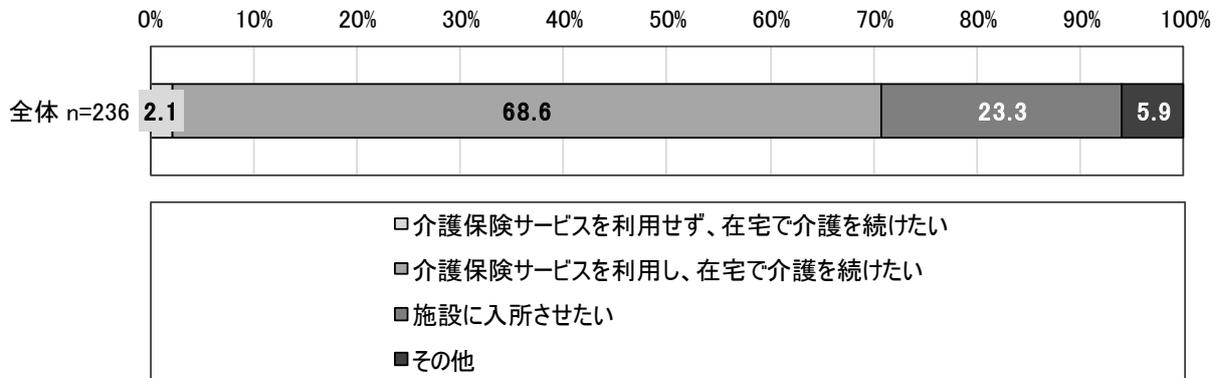
問 13. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてお答えください。（回答は3つまで） ★

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が42.5%で最も高く、次いで「配食」が25.0%、「見守り、声かけ」が23.6%となっています。



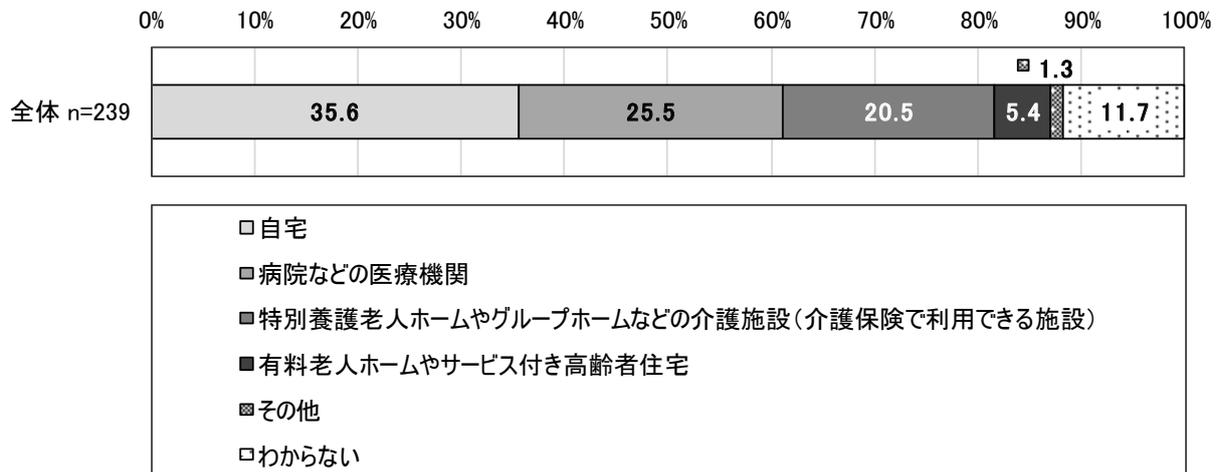
問 14. 今後の介護について、お考えをお答えください。(回答は1つ)

今後の介護についての考えについては、「介護保険サービスを利用し、在宅で介護を続けたい」が68.6%で最も高く、次いで「施設に入所させたい」が23.3%、「その他」が5.9%となっています。



問 15. ご家族が終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）を迎えたときに過ごしてほしい場所はどこですか。(回答は1つ)

終末期を迎えたときに過ごしてほしい場所については、「自宅」が35.6%で最も高く、次いで「病院などの医療機関」が25.5%、「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設（介護保険で利用できる施設）」が20.5%となっています。

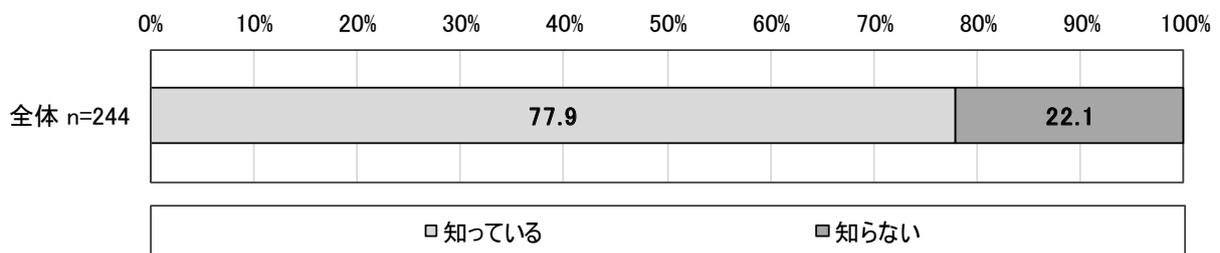


5. 市の施策・事業について

「5. 市の施策・事業について」は、成年後見制度の認知度、避難行動要支援者支援事業の認知度、市の独自制度に対する意向、介護保険施設への意向、高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要なサービスを把握するための項目となっています。

問 16. あなたは、「成年後見制度」をご存知ですか。(回答は1つ)

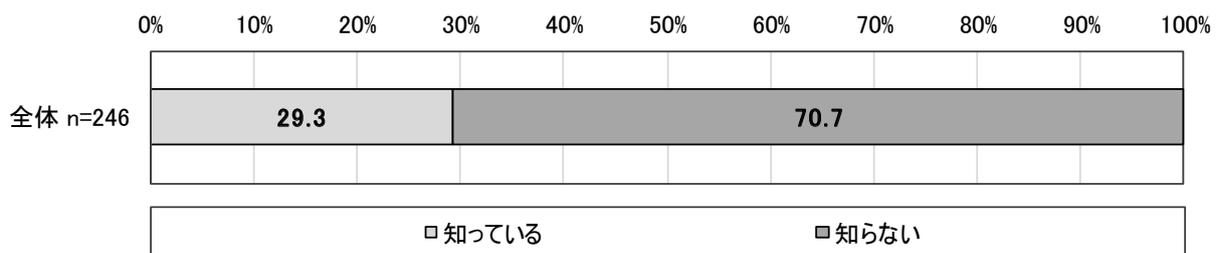
成年後見制度の認知度については、「知っている」が77.9%、「知らない」が22.1%で、「知っている」が55.8ポイント上回っています。



問 17. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

避難行動要支援者支援事業の認知度については、「知っている」が29.3%、「知らない」が70.7%で、「知らない」が41.4ポイント上回っています。

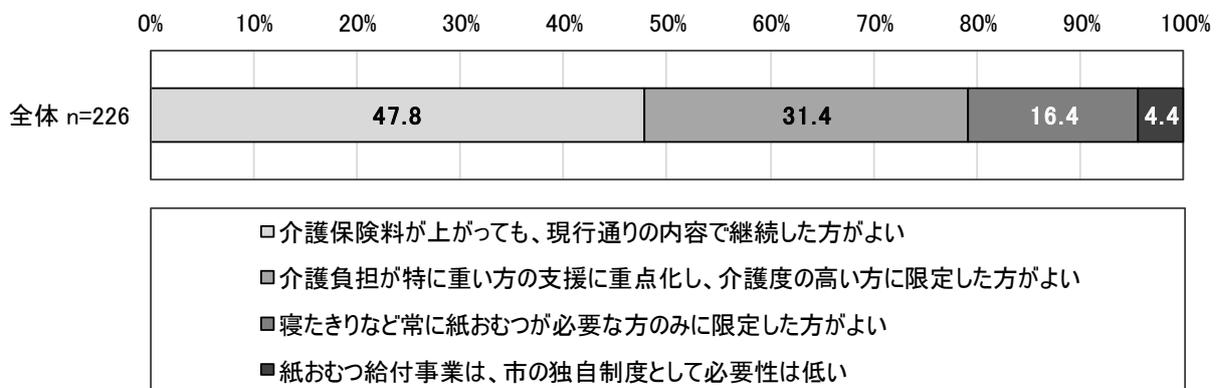


問 18. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者（介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方）については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。

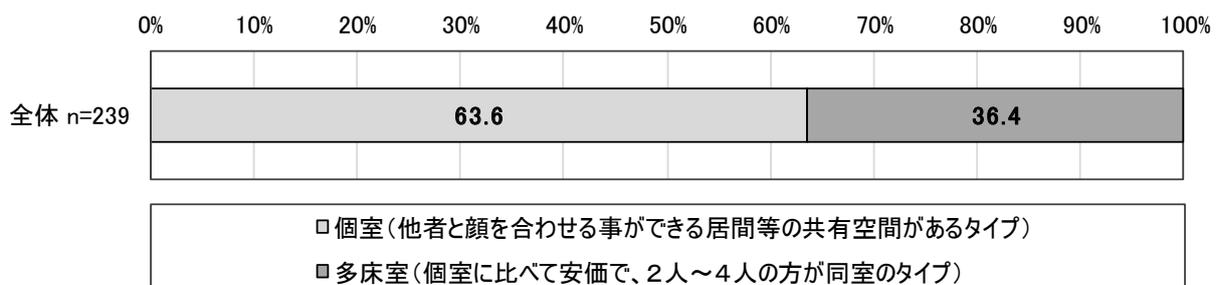
今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（回答は1つ）

紙おむつ給付事業の見直しを行う場合に、どのようなことに重点を置くべきだと思うかについては、「介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい」が47.8%で最も高く、次いで「介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい」が31.4%、「寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい」が16.4%となっています。



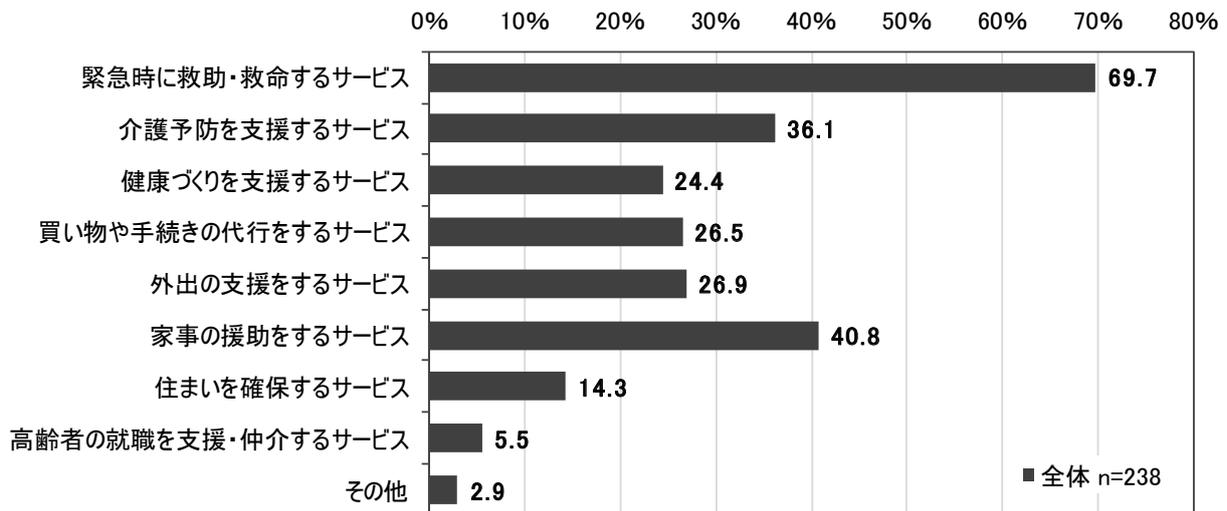
問 19. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。（回答は1つ）

家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が63.6%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が36.4%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が27.2ポイント上回っています。



問 20. 高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するためにはどのようなサービスが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要だと思うサービスについては、「緊急時に救助・救命するサービス」が69.7%で最も高く、次いで「家事の援助をするサービス」が40.8%、「介護予防を支援するサービス」が36.1%となっています。



第5章 要介護高齢者 調査結果のまとめ

【1. 本人について】

回答者の構成において、年齢階級では、後期高齢者の割合が79.2%と非常に高い状況であります。性別では、男性が32.5%、女性が52.5%と、女性からの回答が多い状況であります。

介護度では、要介護1が33.3%、要介護2が22.4%、要介護3が15.0%、要介護4が7.7%、要介護5が5.7%と、要介護1と要介護2の回答で約6割を占めています。

【2. 家族や生活状況について】

家族構成においては、1人暮らしの割合は13.9%と約7人に1人の割合と、高齢者一般及び要支援認定者と比べて低い割合となっています。普段の生活において、現在、何らかの介護を受けているは74.6%と、約7割の方が日常生活を送るために介護を受けており、主に介護をしている方は、配偶者、娘、介護サービスのヘルパーが上位に挙げられています。

介護者が行っている介護等は、その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）、外出の付き添い、送迎等、食事の準備（料理等）、金銭管理や生活面に必要な諸手続きが上位に挙げられており、介護を必要とする方が日常生活を送るうえで欠かせない支援の割合が高い状況であります。

介護・介助が必要となった主な原因では、認知症（アルツハイマー病等）、高齢による衰弱、脳卒中（脳出血・脳梗塞等）が上位に挙げられており、身体機能の低下や認知症、病気など、様々な原因により介護が必要な状況となっています。

介護を受けている頻度では、ほぼ毎日あるが54.9%と、約2人に1人は毎日の介護が必要な状況となっています。

経済状況では、苦しい（大変苦しい、やや苦しい）と感じている割合は35.5%と約3人に1人の割合となっています。

普段の生活において、紙おむつの利用状況をみると、利用していない方が約3割となっていますが、念のため使用している、昼用と夜用を使い分けて使用しているなど、紙おむつを利用している割合は約5割と、多くの方が利用している状況であります。

【3. からだを動かすことについて】

日常生活状況から判定する運動器の評価では、全体の70.5%が該当者と判定され、多くの方に運動機能の低下がみられる状況であります。また、閉じこもりの傾向をみる評価では、全体の35.2%が該当者と判定され、約3人に1人が該当している状況であります。

週に1回以上外出している方の主な外出先は、買い物をする場所、病院、診療所、デイサービスなどの通所施設の割合が高く、その他の項目に対する回答は少数となっていることから、外出先が限定的になっている方が多い状況であります。

現在、外出を控えていると回答した方の外出を控えている理由については、身体的な理由である足腰などの痛みが約5割という結果が出ており、外出をする上で、自身の身体機能が維持されていることが重要であるということがうかがえます。また、トイレの心配（失禁など）についても約3割と、外出時の軽失禁への対策も外出をする上で重要であることがうかがえます。

外出をする際の主な移動手段は、自動車（人に乗せてもらう）、病院や施設のバス、タクシーなど、誰かに付き添われ移動する手段の割合が高くなる傾向がみられます。

【4. 食べることについて】

自身の身長と体重から肥満度を図る指数であるBMIでは、肥満と判定される「BMI=25.0以上」の割合は14.5%と約7人に1人の状況であります。

だれかと食事をする機会においては、日常的に機会（毎日ある、週に何度かある）がある割合は、64.5%と高い結果となっている一方で、機会が少ない（年に何度かある、ほとんどない）は16.4%と、約6人に1人は日常的に1人で食事をしている状況であります。

【5. 毎日の生活について】

毎日の生活において、物忘れが多いと感じている（認知機能該当）割合は66.4%と、運動機能の該当割合と同様に高くなっています。

毎日の生活状況から判定する手段的自立度（IADL）は、70.5%が低いと判定されていることから、日頃の生活において、やはり何らかの介護・介助が必要であることがうかがえます。

日常生活の中で困ったことについては、日常生活全般に関わる項目が高くなっていることから、日常生活を送る上で様々なことに対して困難を感じている状況がうかがえます。

今後の生活で心配なことについては、自分の健康に関することが49.2%と、約2人に1人は自分の健康に対して心配している状況となっており、その他、経済的なこと、自分が認知症になることが上位に挙げられています。

【6. 地域の活動について】

地域の活動への参加状況では、活動全般において参加している割合は低く、高齢者一般及び要支援認定者でも割合が高かった趣味関係のグループにおいても1割未満の状況であります。

地域との関係に対する意向は、何かしらの関わりをもちながら地域と関わっていきたいと考える割合は約7割を占めている一方で、少数ではあるものの地域との関わりをもたずに、自分なりに生活していきたいと回答している方もみられます。また、地域との関わりに対して回答できない無回答が約2割となっています。

【7. たすけあいについて】

心配事や愚痴を聞いてくれる人では、配偶者、別居の子どもが上位に挙げられ、聞いてあげる人では、配偶者が上位に挙げられています。また、聞いてあげる人では、そのような人はいないが約2割となっています。

病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人では、配偶者、同居の子どもが上位に挙げられ、看病や世話をしあげる人では、配偶者が上位に挙げられています。また、そのような人はいないが約3割となっています。

【8. 健康について】

現在の健康状態では、よい（とてもよい、まあよい）と感じている割合は44.0%、よくない（あまりよくない、よくない）と感じている割合は43.1%と、両項目とも同様の割合となっています。

うつの傾向をみる評価では、全体の53.8%が該当と判定され、運動機能、認知機能と同様に高い該当率となっています。

現在、治療中または後遺症のある病気では、高血圧、脳卒中（脳出血・脳梗塞等）、筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）、認知症（アルツハイマー病等）が上位に挙げられています。

【9. 認知症施策について】

認知症に対する認識については、認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いと知っている割合が約6割と、高齢者一般及び要支援高齢者と比べると低い割合となっています。

【10. 市の施策・事業、介護保険制度について】

避難行動要支援者支援事業の認知度では、知らないが約7割と、多くの方が本事業について認知していない状況であります。

施設等への入所・入居の検討状況では、検討していないが約6割、検討しているが約1割の状況であります。

介護保険料への負担感では、負担と感じている割合は約3割の状況であり、高齢者一般に比べて負担と感じている割合は減少しています。また、介護保険サービスと介護保険料の関係については、どちらともいえないと回答している方が約5割と、介護保険サービスと介護保険料の関係について、明確な考えを出すことが難しい状況がうかがえます。

現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスでは、各項目で約1割前後となっています。また、利用していないが約5割となっています。

紙おむつ給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいが29.5%とやや低い割合で、見直しを必要とする意見の割合のほうが高く、介護度の高い方や寝たきりの方などに限定した方がよいと考えている割合が約4割を占めています。今後、何らかの見直しが必要であると考えている方が多い傾向にあります。

低所得者助成金制度では、今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思うが47.5%と、高い傾向にある一方で、見直しが必要であると思うが14.2%で、見直しが必要であると思うと回答した方の見直しの観点としては、対象となるサービスを限定したほうがよいが約4割を占めています。

第6章 要介護高齢者(介護者) 調査結果のまとめ

【1. 調査票への記入者について】

調査票への記入者は、主に介護している方が 87.3%、その他が 12.7%となっています。

【2. 介護をしている方について】

介護者の年齢については、60歳代が 26.5%で最も高く、次いで 70歳代が 24.8%、80歳以上が 21.4%と、60歳以上で約7割を占めています。

性別では、男性が 31.8%、女性が 68.2%と、女性からの回答が多い状況であり、介護を受けている方からみる介護者の続柄は、妻と娘の割合が高くなっています。

介護をしている期間では、3年未満が約4割を占めている状況であり、10年以上の回答は約1割となっています。

【3. 主に介護している方の生活状況について】

介護をするうえで困っていることでは、身体的な負担や疲れが大きい、精神的な負担が大きい、自分の自由になる時間がもてないが上位に挙げられており、介護者自身の健康面に関する困りごとや介護により自分の自由になる時間がとれないことに対して困っている方が多い状況であります。また、特に困っていることはないは約1割と、要支援高齢者の介護者の約4割を下回ることから、要介護高齢者を介護している方は、何かしらの困りごとを抱えている傾向が高いことがうかがえます。

介護についての相談先では、ケアマネジャーが最も高い割合を占め、次いで家族・親族となっています。ケアマネジャーは介護を必要としている方の状況を専門的な知見から、どのような支援が必要であるかなど、介護を必要とする方、介護者、また家族に寄り添いながら進めていくことが、ケアマネジャーに対する信頼がこの結果に表れていると考えられます。

現在の生活を継続していくうえで、不安を感じる介護等では、認知症状への対応、外出の付き添い、送迎等、入浴・洗身、夜間の排泄が上位に挙げられています。日常的な介護に対する不安を抱える介護者が多い状況がうかがえるとともに、認知症状への対応に不安を抱える介護者が多く、認知症状によりコミュニケーションが取りにくくなることも不安になる大きな要因と考えられます。

介護の負担感では、負担ではないは1割未満と、9割以上の方は負担感を感じている状況であります。また、負担感を解消するための取組としては、地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談しているが最も高く、次いで介護保険サービスを利用しているとなっています。要支援高齢者の介護者では、家族や友人に相談する、自分の趣味などでストレスを解消する項目が上位に挙げられており、要支援高齢者の介護者と要介護高齢者の介護者では異なる傾向がみられます。要介護高齢者では、相談先の状況と同様に、専門的な知見からの支援を必要としている状況がうかがえます。

家族会への参加意向では、参加したいと思うが 25.5%、参加したいと思わないが 74.5%と、参加したいと思わない方が約7割となっています。参加したいと思わない方がどのような会であれば参加したいと思うかでは、介護に関する知識等が得られる会、行きやすい場所にある会が上位に挙げられ、身近なところで介護に関する知識が得られればと考えている介護者が多い状況であります。

【4. 介護保険サービスについて】

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、移送サービスが42.5%と、他の項目を大きく上回り、移動手段の支援が求められている状況がうかがえます。

今後の介護に対する考えでは、介護保険サービスを利用し、在宅で介護を続けたいとの回答が約7割を占め、多くの方が現在の生活を続けていきたいと考えている一方で、施設に入所させたいと回答している方は約2割と、介護への負担感などが影響していると考えられます。

【5. 市の施策・事業について】

成年後見制度の認知度では、知っているが77.9%と、認知している割合が高い傾向にあります。

避難行動要支援者支援事業の認知度では、知っているが29.3%と、認知している割合が低い傾向にあるものの、要支援高齢者の介護者の割合は上回っています。

紙おむつ給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいが47.8%と継続を求める割合が約5割、見直しを必要とする意見の割合も約5割となっています。

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要なサービスでは、緊急時に救助・救命するサービスが69.7%と、他の項目を大きく上回り、介護者の立場として、緊急時に対する不安が大きいことがうかがえます。